

岡崎消防

令和7年 消防年報



令和8年 刊行

岡 崎 市 消 防 本 部

は じ め に

この年報は、岡崎市の消防の現況と令和7年及び令和7年度中における火災
予防消防活動のあらましをまとめたもので、これを比較検討し将来における消
防行政の参考資料に供する目的をもって編集しました。

令和8年7月

岡崎市消防長

稲垣 和人





岡崎市消防本部

～ 一目統計 ～

令和8年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面 積	人 口	世 帯	気象(令和7年)
	 岡崎市			
	387.20km ²	男 192,812 人 女 187,579 人 計 380,391 人	173,687 世帯	年平均気温 17.2℃ 年平均湿度 68.8% 総降水量 1138.0mm

消防予算 構成・人員	消防費予算	署 所 数	消防吏員数	消防団員数
				
	48億9,638万円	1 本部 3 本署 2 分署 5 出張所	416人 平均年齢(37.9歳)	1,464人 平均年齢(43.1歳)

消防車両 水 利	ポンプ車等	特殊車両等	救 急 車	消防水利
				
	化学消防ポンプ車2台 ポンプ車5台・タンク車10台 小型動力ポンプ付水槽車4台	救助工作車3台・消防二輪車3台 はしご車4台・高所活動車1台 大型水陸両用車1台・支援車1台	救急車16台	消火栓 4,050基 防火水槽 905基

災害件数 (令和7年)	火 災	救 急	救 助	119番受付
				
	84件	出場件数 19,384件 搬送人員 17,943人	出場件数 270件 救助人員 104人	26,211件

予 防	防火対象物数 (令和7年12月末現在)	危険物施設数 (令和7年12月末現在)	消防同意数 (令和7年中)	外郭団体
				女性防災クラブ 28クラブ 519人
	13,839件	製造所 5 件 貯蔵所 370 件 取扱所 269 件 計 644 件	539件 (敷地別)	危険物保安連絡協議会 217会員
				少年消防クラブ 21中学校 10,829人 48小学校 7,095人 幼年消防クラブ 78園 7,921人

目 次

岡崎消防の概況	1 頁
岡崎消防の沿革	2
岡崎市及び岡崎消防のあらまし	16
消 防 庁 舎	17
1 消防本部・中消防署本署	17
2 中消防署北分署	18
3 中消防署花園出張所	18
4 東消防署本署	19
5 東消防署南分署	20
6 東消防署青野出張所	20
7 東消防署額田出張所	21
8 東消防署本宿出張所	21
9 東消防署形埜出張所	22
10 西消防署本署	23
令和7年度消防のあゆみ	24
消 防 予 算	30
消 防 機 構	31
事 務 分 掌	32
消 防 現 勢	33
1 職員現有人員	33
2 職員の配置状況	34
3 消防吏員の勤務年数状況	35
4 消防吏員の年齢状況	35

5 消防吏員の免許等資格所有状況	36 頁
消防機械配備状況	37
1 配備状況一覧表	37
2 消防本部・消防署機械配備	38
3 消防団機械配備	42
消 防 水 利	50
さく泉防火水槽	51
耐震性貯水槽	51
消防音楽隊	52
1 隊員の編成	52
2 編成	53
3 音楽隊参加行事	53
消防職員教養実施状況	54
1 一般教養	54
2 委託教養	54
令和7年度消防訓練状況	55
協定・協約等	56
1 消防相互応援協定	56
2 協定	56
3 業務協約	56
出動状況	57
予 防 業 務	58
火災の実態	59

1	令和7年中の火災状況と前年との比較	59 頁
2	出火率（人口1万人あたりの出火件数）	59
3	月別出火状況	60
4	曜日・時間別出火状況	61
5	建物火災火元用途別焼損状況	62
6	原因別出火状況	63
7	最近10年間の推移	64
8	管轄区域別出火状況	65
9	最近5年間の主要火災	66
10	高速道路火災	67
(1)	東名高速道路	67
ア	区間別火災状況	67
イ	月別火災状況	67
ウ	原因別等状況	67
(2)	新東名高速道路	68
ア	区間別火災状況	68
イ	月別火災状況	68
ウ	原因別等状況	68

予 防 69

1	防火管理	69
(1)	防火対象物の状況	69
(2)	管轄区域別予防査察等状況	70
(3)	防火管理者を必要とする防火対象物の状況	71
(4)	防火管理講習等の状況	72
(5)	消防用設備等の点検報告の状況	73
(6)	階別防火対象物状況（3階建以上）	74
(7)	高さ31mをこえる建築物又は11階以上の建築物	75
(8)	火災予防条例諸届出状況	76
(9)	消防訓練等実施状況	77
(10)	起震車稼働状況	77
(11)	月別消防訓練等実施状況	78
2	消防同意	79

(1) 管轄区域別建築物同意状況（敷地別）	79 頁
(2) 建築物構造別同意状況（棟別）	80
(3) 建築物工事別同意状況（棟別）	81
3 危険物規制	82
(1) 管轄区域別危険物施設状況	82
(2) 危険物施設の推移	83
(3) 月別危険物施設許可・検査状況	84
(4) 危険物施設許可件数等の推移状況	85
(5) 危険物施設等届出状況	85

外 郭 団 体	86
1 岡崎市危険物保安連絡協議会	86
2 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会	88
3 岡崎市少年消防クラブ運営指導協議会	90
4 岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会	91

通 信

消 防 通 信	93
1 通信施設状況	94
2 緊急通報覚知別月別状況	97
3 119番月別受信状況	98
(1) 指令台	98
(2) 他都市転送	99
4 緊急通報装置月別受信状況	99
5 第三者緊急通報月別受信状況	99
6 聴覚・言語機能障がい者用緊急通報 各通報月別受信状況	100
(1) メール119・FAX119月別受信状況	100
(2) Net119（令和元年10月1日運用開始）	100
(3) 最近5年間の聴覚・言語障がい者用緊急通報システムの通報件数の推移	100
7 最近5年間119番通報件数の推移	101
(1) 固定電話	101
(2) 携帯電話	101
(3) IP電話	101

気 象	-----	102 頁
1 月別気象状況	-----	102
2 月別降水量	-----	102
3 最近5年間の気象状況	-----	102

救急・救助

救 急 出 場	-----	104
1 事故種別出場状況（前年との比較）	-----	104
2 管内、管外別出場状況	-----	105
3 管外出場状況	-----	105
4 事故種別不搬送理由	-----	106
5 時間帯別出場状況	-----	106
6 最近10年間における管轄区域別救急出場状況	-----	107

傷病者の搬送	-----	108
1 年齢別搬送人員	-----	108
2 収容所要時間	-----	109
3 医療機関別搬送状況	-----	109
4 傷病程度別搬送状況	-----	110
5 時間帯別搬送状況	-----	110
6 救急隊員の行った応急処置	-----	111

救 助 出 動	-----	112
1 管内、管外事故種別出動状況	-----	112
2 発生場所別出動状況	-----	113
3 発生場所別活動状況	-----	113
4 発生場所別救助人員	-----	114
5 最近10年間における出動状況	-----	114
6 時間帯別出動状況	-----	115
7 救助工作車事故種別出動件数	-----	115

高速道路救急救助出場	-----	116
-------------------	-------	-----

1 東名高速道路	116 頁
(1) 救急出場状況（前年との比較）	116
(2) 区間別救急出場状況	116
(3) 最近10年間の救急、救助出場件数	117
2 新東名高速道路	118
(1) 救急出場状況（前年との比較）	118
(2) 区間別救急出場状況	118
(3) 最近5年間の救急、救助出場件数	119
救急法の講習会	120
消 防 団	121
消 防 団	122
1 消防団現勢	122
2 消防団員階級別勤務年数調	123
3 消防団員階級別年齢調	123
消防団員報酬	124
出 動 報 酬	124
消防団員退職報償金	124
公務災害補償基礎額	125
消防団員等救慰金	125
1 障害者救慰金	125
2 負傷者等救慰金	126
3 殉職者救慰金	126
4 殉職者特別救慰金	126

岡崎消防の概況



岡崎消防の沿革

徳川末期から明治の中期まで消防組の制度が続いた。

明治32年	岡崎に 1 組 3 部112人の公設消防組を設置した。
明治39年	三島村などを合併して 5 部制とした。
大正 3 年	広幡町の合併で 6 部制となる。
大正 5 年	7 月 1 日市制施行、岡崎市消防組 1 組 6 部定員 270人となる。
昭和 3 年	町村の合併によって 3 組14部定員 406人となる。 消防ポンプ自動車 4 台、手引ガソリンポンプ 4 台、腕用ポンプ13台とする。
昭和 6 年	岡崎消防組 9 部198人、南消防組 3 部115人、東消防組 5 部181人に改編した。
昭和14年	従来 of 組織を改組統合し、岡崎市警防団が発足する。
昭和19年	分団制を廃止し、7 警防団1,260人に改める。 大東亜戦争激しく、消防も戦時体制に入る。
昭和20年	空襲により市街地の大半を焼失した。
昭和22年	警防団を廃止し、9 消防団1,145人に改める。
昭和23年	消防組織法が制定され、警察機関から分離して、岡崎市消防本部、消防署を設置する。（職員18人、ポンプ自動車 1 台） 6 月三島消防団から六名消防団が分離し、各小学校単位に消防団を置き、10 消防団1,185人となる。
昭和24年	10消防団1,213人、ポンプ自動車13台、三輪ポンプ車 1 台、手引動力ポンプ 2 台、腕用ポンプ49台となった。
昭和25年	職員28人に増員する。
昭和26年	消防庁舎を新築し、機構を改めて、消防本部に 3 課、7 係を設置、職員69人とする。救急業務を開始する。
昭和30年	隣接 8 か町村（福岡町、岩津町、竜谷村、藤川村、山中村、本宿村、河合村常磐村）を合併、18消防団2,795人となる。 矢作町を合併、19消防団3,038人となる。
昭和35年	機構の一部改正により消防本部に 3 課、7 係を設け、消防署に 2 係を併設する。職員を75人とする。
昭和37年	六ッ美町合併によって、20消防団 2,083人、ポンプ自動車29台、三輪ポンプ車 2 台、小型動力ポンプ79台、積載車 9 台、腕用ポンプ20台となる。
昭和38年	救急自動車及び消防自動車（各 1 台）の特別寄贈を受ける。
昭和39年	屈折はしご付消防ポンプ自動車（1 台）を購入する。
昭和40年	消防署北部出張所を開設する。
昭和41年	消防署南部出張所開設、職員96人とする。救急自動車及び広報車（各 1 台）の特別寄贈を受ける。

昭和42年	救急自動車、救助器具等の特別寄贈を受ける。
昭和43年	水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 救急自動車及び救助車（各1台）の特別寄贈を受ける。
昭和44年	消防署東部出張所用地を購入する。 北部、南部出張所に赤バイ（各1台）を購入する。 山林火災用超小型ポンプを配備する。
昭和45年	常備消防は、消防本部1、消防署1、出張所2、職員121人となる。 広報車（1台）の特別寄贈を受け、救急自動車（1台）を購入する。
昭和46年	消防署東部出張所開設、職員15人を増員する。 岡崎市消防音楽隊を設置する。 32mはしご付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 消防ポンプ自動車及び連絡車（各2台）を購入する。 消防署東部出張所に赤バイ（1台）を購入する。
昭和47年	職員19人増員に伴い、消防本部の機構改正をする。 予防課（調査係を廃止し、危険物係、指導係を新設）消防本部3課8係とする。 消防署南部出張所に救急自動車（1台）を購入する。 広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 連絡車（1台）を購入する。
昭和48年	消防署組織の改正に伴い、東部出張所を東分署に昇格させる。 南部、北部出張所を南出張所、北出張所と名称を改め、西出張所を開設、職員30人に増員する。 救急自動車（2台）及び広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 消防ポンプ自動車（1台）、救急自動車（3台）及び連絡車（3台）を購入する。
昭和49年	職員30人を増員、消防署組織の一部を改正する。 本署に通信第1、第2係を設置する。 西出張所を西分署に昇格、救急自動車（1台）、ラジコン飛行機（1機）、水槽付消防ポンプ自動車（1台）及び消防ポンプ自動車（2台）を購入する。 ラジコンヘリコプター（2機）の特別寄贈を受ける。 照明車及び指揮車各（1台）を購入する。
昭和50年	4月 職員10人増員、定員210人とする。 5月 40mはしご付消防ポンプ自動車の特別寄贈を受ける。 8月 消防ポンプ自動車（1台）南出張所へ更新配備する。
昭和51年	3月 広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 8月 アクアラング（2組）の特別寄贈を受ける。 10月 水槽付消防ポンプ自動車（1台）及び消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
昭和52年	2月 救急自動車（1台）、防災車（1台）の特別寄贈を受ける。 7月 救助工作車（1台）の特別寄贈を受ける。

昭和52年	10月	新消防本部庁舎を（昭和52～53年度継続事業）建設する。
	11月	大型化学消防自動車（1台）及び小型動力ポンプ付大型水槽車（1台）を購入する。 岡崎市防火防犯協会連絡会を岡崎市防災防犯協会連絡会に改組する。
昭和53年	1月	耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	4月	消防団再編成により定員1,777人とする。（甲種略衣支給）
	7月	防災連絡車（1台）の特別寄贈を受ける。
	10月	新消防本部庁舎竣工、業務を開始する。
	11月	水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
昭和54年	3月	新北出張所庁舎を建設する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	4月	北出張所を分署に昇格させ、業務を開始する。 職員10人増員、定員220人とする。 本署に救急第1、第2係を設置する。 高圧ガス製造事業所（空気）を設置する。
	12月	レンジャー用舟形担架（1台）の特別寄贈を受ける。 水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ付大型水槽車（1台）を購入、岡崎市消防のあゆみを発刊する。
昭和55年	3月	耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	12月	防災用小型動力ポンプ（1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 救急自動車（1台）を購入する。
昭和56年	1月	25m級屈折（3節）はしご付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	2月	耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	3月	消防署南分署竣工、業務を開始する。
	4月	職員7人増員、定員227人とする。
	6月	人員輸送車（マイクロバス 1台）の特別寄贈を受ける。
	9月	広報連絡車（2台）を購入する。 広報車（1台）を購入する。
	10月	化学消防ポンプ自動車（1台）の特別寄贈を受ける。 小型動力ポンプ（8台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	11月	起震車（マグマ号 1台）を購入する。
	12月	救急自動車（2B型 2台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-II型ホースカー付 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（I型 1台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
昭和57年	1月	消防ポンプ自動車（BS-I型 3台）を購入する。

昭和57年	3月	広報連絡車（2台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	4月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ積載車（6台）を購入する。 小型動力ポンプ車台付（6台）を購入する。 岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会を（5クラブ、105人）発足する。 小型動力ポンプ車台付（ラビットP205A型 5台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。
	11月	広報車（2台）の特別寄贈を受ける。
	12月	消防ポンプ自動車（CD-II型ホースカー付 1台）を購入する。
昭和58年	5月	広報連絡車（1台）を購入する。
	8月	防災用小型動力ポンプ（1台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ車台付（B-3級 5台）を購入する。 小型動力ポンプ車台付（ラビットP 205B型 5台）を購入する。 婦人自主防災クラブ結成（5クラブ）10クラブ 205人となる。 小型動力ポンプ車台付（トーハツV 10 D 5台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（6台）を購入する。
昭和59年	2月	消防ポンプ自動車（BS-I型 1台）を購入する。
	3月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。 電源照明車（1台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	6月	連絡車（1台）を購入する。
	8月	小型動力ポンプ積載車（7台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 防災用小型動力ポンプ（C-1級 1台）を購入する。 小型動力ポンプ車台付（D-1級 5台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。
昭和60年	1月	消防ポンプ自動車（BS-I型 1台）を購入する。
	2月	婦人自主防災クラブ結成（5クラブ）15クラブ305人となる。
	3月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（高圧ポンプ付 1台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	9月	小型動力ポンプ（B-3級 1台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ積載車（22台）を購入する。
	12月	高発泡車（1台）を購入する。
昭和61年	1月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。 連絡車（1台）を購入する。

昭和61年	2月	婦人自主防災クラブ結成（5クラブ）20クラブ405人となる。
	3月	小型動力ポンプ車台付（D－1級 10台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。 消防署青野出張所の庁舎竣工。
	4月	消防署青野出張所の業務を開始する。 消防署組織規程を改正する。（消防署の構成を本署、分署、出張所とする。 救急第1、第2係を改め救助救急第1、第2係とする。） 職員5人増員、定員232人とする。
	8月	広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ積載車（16台）を購入する。 救急自動車（2B型 1台）を購入する。
昭和62年	2月	婦人自主防災クラブ結成（4クラブ）24クラブ485人となる。
	3月	広報車（1台）を購入する。
	5月	広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 指揮車（1台）を購入する。
	7月	小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。
	8月	救急自動車（2B型 1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
昭和63年	1月	消防ポンプ自動車（BS－I型 3台）を購入する。 消防ポンプ自動車（水I－A型 1台）を購入する。
	2月	婦人自主防災クラブ結成（6クラブ）30クラブ605人となる。
	12月	小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（3台）を購入する。
平成元年	3月	消防ポンプ自動車（BS－I型 3台）を購入する。 救急自動車（2B型 1台）の特別寄贈を受ける。
	8月	発動発電機（1.2kw 20台）を購入する。 広報車（1台）を購入する。 防災車（1台）を購入する。
	9月	小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。
	12月	防火広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
平成2年	1月	30m級はしご付消防自動車（1台）を購入する。
	2月	小型動力ポンプ積載車（2台）を購入する。
	3月	消防ポンプ自動車（BS－I型 2台）を購入する。
	7月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	8月	消防指揮広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	9月	小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。
平成3年	1月	消防ポンプ自動車（CD－II型 1台）を購入する。

平成3年	2月	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型 2台）を購入する。
	5月	人員輸送車（1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ（Ｂ－3級 4台）を購入する。
		小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。
		消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅱ型 1台）を購入する。
平成4年	3月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
		救急自動車（2Ｂ型 1台）を購入する。
		消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型 2台）を購入する。
		市町村波を1波増波し、2波とする。
	5月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	8月	救急自動車（2Ｂ型 1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（2台）を購入する。
		小型動力ポンプ（Ｂ－3級 5台）を購入する。
		広報連絡車（1台）を購入する。
		救助工作車（1台）を購入する。
平成5年	2月	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型 2台）を購入する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－Ａ型 1台）を購入する。
		救急自動車（高規格 1台）の特別寄贈を受ける。
	4月	職員8人を増員、定員240人とする。
		女性消防吏員2人を採用する。
	8月	小型動力ポンプ（Ｂ－3級 2台）を購入する。
		広報連絡車（1台）を購入する。
		消防広報車（1台）を購入する。
	11月	高規格救急資器材（1台分）を購入する。
		救急資器材（Ⅱ課程 2台分）を購入する。
	12月	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅱ型 1台）を購入する。
		化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型 1台）を購入する。
平成6年	3月	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型 2台）を購入する。
	4月	女性消防吏員1人を採用する。
		本署に救助救急司令を設ける。
	7月	小型動力ポンプ（Ｂ－2級 1台）を購入する。
	8月	広報連絡車（1台）を購入する。
		救急資器材（Ⅱ課程 2台分）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ（Ｂ－3級 1台）を購入する。
		はしご付消防自動車（50m級 1台）を購入する。
		水槽付消防ポンプ自動車（ⅠＡ型 1台）を購入する。
平成7年	3月	救急自動車（2Ｂ型 Ⅱ課程対応車両 1台）を購入する。
		消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型 1台）を購入する。
		小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。

平成7年	4月	本署に本署司令長を設ける。 分署に分署長補佐を設ける。 救助救急司令を救急救助司令に改める。 救助救急係を救急係及び救助係とする。
	7月	小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。
	9月	広報連絡車（1台）を購入する。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（I B型 2台）を購入する。 救助工作車（II型 1台）の特別寄贈を受ける。
平成8年	3月	救急自動車（高規格 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BD－I型 1台）を購入する。 消防用救助器具115セットを消防団へ配備する。 消防用無線機21基を消防団車庫警備室へ配備する。 消防用無線機21基を消防団車両へ配備する。
	4月	職員7人を増員、定員247人とする。 予防課に調査係を設ける。 消防署の通信係を廃止し、消防本部通信課とする。 分署に救急係を設ける。 新通信指令システムの運用を開始する。
	6月	広報連絡車（1台）を購入する。
	8月	新東分署庁舎を建設する。
	10月	小型動力ポンプ（B－3級 3台）を購入する。
	11月	クローラ式大量送水システムを開発する。
	12月	消防ポンプ自動車（BD－I型 1台）を購入する。
平成9年	3月	救急自動車（2 B II課程対応車両 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（II型 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I－B型 1台）を購入する。
	4月	東分署を消防署に昇格させ2署制とし、業務を開始する。 職員14人を増員、定員261人とする。
	5月	消防広報車の特別寄贈を受ける。
	6月	小型動力ポンプ（B－2級 1台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BD－I型 2台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ積載車（4台）を購入する。
	12月	消防広報車（1台）を購入する。 広報連絡車（1台）を購入する。
平成10年	1月	はしご付消防ポンプ自動車（40m級 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（II型 1台）を購入する。
	3月	救急自動車（2 B II課程対応車両 1台）を購入する。
	4月	岡崎市東消防署額田出張所を開設し出張所長以下17人配置、額田町の消防

平成10年 4月	事務の受託業務を開始する。 職員 9 人を増員、定員270人とする。 出張所に出張所長補佐を設ける。
5月	岡崎市危険物安全協会を岡崎市危険物防火安全協会に改組する。
8月	消防広報車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。
11月	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型 1台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
12月	消防ポンプ自動車（CD－I型 2台）購入する。
平成11年 3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－B型 1台）を購入する。 消防広報用連絡車（1台）を購入する。 中消防署花園出張所の庁舎完工。
4月	中消防署花園出張所の業務を開始する。 職員11人を増員、定員281人とする。 予防課に主幹を設ける。
11月	小型動力ポンプ（B－3級 5台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD－I型 1台）を購入する。
12月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－B型 1台）を購入する。 小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型 1台）を購入する。
平成12年 2月	小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
3月	はしご付消防ポンプ自動車（40m級 1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）を購入する。
4月	小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 職員 5 人を増員、定員286人とする。 消防本部に班体制を導入する。 庶務課、消防課、通信課に主幹を設ける。 分署の分署長補佐を廃止し、警防司令を設ける。 被服の点数制を導入する。
10月	小型動力ポンプ（B－3級 5台）を購入する。 消防広報車 1 台を購入する。
11月	小型動力ポンプ積載車（7台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD－Ⅱ型 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD－I型 1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）購入する。
平成13年 4月	市役所に防災課が設けられ消防職員 2 人出向する。 通信課を通信指令室に改める。 予防課の予防班、調査班を統合し予防調査班とする。 中消防署本署に予防係を設ける。

平成13年	7月	I S O 1 4 0 0 1 を認証取得する。
	10月	消防ポンプ自動車（C D－Ⅱ型 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ型 1台）を購入する。
	12月	はしご付消防ポンプ自動車（40m級 1台）を購入する。
平成14年	2月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 新西分署の庁舎を建設する。 消防広報車の特別寄贈を受ける。
	4月	西分署を消防署に昇格させ3署制とし、業務を開始する。 職員10人を増員、定員294人とする。 消防団再編成により定員1,479人とする。 耐震性貯水槽完成（飲料水兼用100m ³ ）がシビックセンターから移管される。
	12月	救助工作車（Ⅱ型 1台）を購入する。
平成15年	1月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	4月	職員14人を増員、実員308人とする。 救急救助司令を救急司令、救助司令とする。 消防団組織を再編成し94部、定員1,268人とする。
	5月	岡崎市危険物防火安全協会と岡崎市自衛消防隊連絡協議会が合併し岡崎市危険物保安連絡協議会となる。
	10月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 5台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（12台）を購入する。
	11月	防火広報車（1台）を購入する。
	12月	消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ 1台）を購入する。
平成16年	2月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 人員輸送車（1台）を購入する。
	4月	職員12人を増員、実員320人とする。 各消防署本署に救急救助司令長を設ける。 東消防署本署に予防係を設ける。
	10月	小型動力ポンプ積載車（11台）を購入する。
	11月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 5台）を購入する。
	12月	消防広報車（1台）を購入する。
平成17年	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 東消防署本宿出張所の庁舎完工。
	4月	東消防署本宿出張所の業務を開始する。 職員9人を増員、実員329人とする。 各消防署本署に担当署長を設ける。 出張所の出張所長補佐を廃止し、警防司令を設ける。
	9月	連絡車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（12台）を購入する。

平成17年	10月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 6台）を購入する。
	11月	起震車（1台）を購入する。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（水I－B型 2台）を購入する。
平成18年	1月	平成18年1月1日額田町との合併により消防団21団、定員1,517人となる。 防火広報車（1台）を購入する。
	3月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	4月	職員9人を増員、実員338人とする。 庶務課を総務課に改める。 予防課予防調査班を予防班に改める。 中消防署本署及び東消防署本署の予防係を廃止し、中消防署本署に指揮調査係を設置、指揮調査司令長、指揮調査司令を設ける。
	7月	消防広報車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。
平成19年	1月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 4台）を購入する。
	2月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	3月	指揮指令車（1台）を購入する。
	4月	職員5人を増員、実員343人とする。 各消防署本署の担当署長を本署長に改める。 市役所東庁舎7階にて新通信指令システムの運用を開始する。
	9月	小型動力ポンプ積載車（3台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 3台）を購入する。
	10月	広報連絡車（1台）を購入する。
平成20年	1月	小型動力ポンプ軽積載車（1台）を購入する。
	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）の特別寄贈を受ける。 消防用無線機3基を消防団車庫警備室へ配備する。
	4月	職員7人を増員、実員350人とする。 各分署に救急司令を設ける。
	8月	岡崎市消防支援隊を発足する。
	9月	広報車（2台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ積載車（2台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ（B－3級 5台）を購入する。 広報車（1台）を購入する。
	12月	消防二輪車（3台）を購入する。
平成21年	1月	全自動小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ軽積載車（1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I－A型1台）を購入する。

平成21年	3月	救助工作車（Ⅲ型 1台）を購入する。 東消防署形埜出張所の庁舎完工。
	4月	東消防署形埜出張所の業務を開始する。 職員14人を増員、実員364人とする。 各消防署本署の本署長を廃止し、本署課長を設ける。
	9月	救助用資機材、テロ対策用特殊救助資機材、高度救助用資機材（一式）を購入する。
	10月	高度救助隊「岡崎スーパーレスキュー」を発隊する。
	11月	小型動力ポンプ（B－3級 3台）を購入する。
平成22年	2月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 1台）を購入する。 高所活動車（1台）を購入する。
	3月	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅰ型 1台）を購入する。
	4月	各消防署本署の警防司令長及び救急救助司令長を廃止し司令長とする。
	5月	消防本部旗の寄贈を受ける。
	10月	消防団協力事業所表示制度を導入する。
	12月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ軽積載車（B－2級 1台）の特別寄贈を受ける。 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型 1台）を購入する。
平成23年	1月	小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 1台）を購入する。
	2月	支援車（Ⅰ型 1台）が総務省から無償で配備される。
	4月	中消防署本署に管理司令長及び管理司令を設ける。 機能別消防団員制度を岩津消防団の一部地域と額田消防団に導入する。
平成24年	1月	小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。
	3月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 1台）を購入する。 救助工作車（Ⅱ型 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型 2台）を購入する。
	8月	消防旗の寄贈を受ける。
	10月	「メール119」の運用を開始する。
	12月	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 1台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 1台）を購入する。
平成25年	1月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。
	2月	資機材搬送車（1台）が総務省から無償で配備される。
	3月	大型水陸両用車（1台）が総務省から無償で配備される。 大型水陸両用車専用搬送車（1台）が総務省から無償で配備される。 可搬型衛星地球局「VSAT」（1台）が総務省から無償で配備される。
	7月	岡崎市消防団員応援事業所制度を導入する。
平成25年	10月	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 1台）を購入する。
	12月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 2台）を購入する。

平成26年	1月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	2月	小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。 救助資機材搭載型車両（1台）及び消防団拠点資機材（一式）が 総務省から無償で貸付される。
	3月	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅰ型 1台）を購入する。
	4月	通信指令室にシステム担当を設ける。 各消防署本署の警防司令を警防救助司令に改める。 指揮調査司令を廃止する。
	5月	幼年消防クラブを発足する。
	9月	消防広報車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型 1台）を購入する。 軽消防広報車（1台）を購入する。 機能別消防団員制度を常磐消防団の一部地域に導入する。
平成27年	2月	小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 1台）を購入する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－B型 1台）を購入する。 はしご付消防自動車（54m級 1台）を購入する。
	4月	職員5人を増員、実員369人とする。 消防課の消防班及び教養班を統合し消防企画班とする。 各消防署本署の警防係及び救助係を統合し警防救助係とする。 中消防署の管理司令長及び管理司令を廃止する。 防災防犯協会の業務を予防課から市長公室防災危機管理課に移管する。
	9月	消防広報車（2台）を購入する。
	10月	特別消火隊を発隊する。
	11月	小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。 高規格救急自動車（2台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型 1台）を購入する。
平成28年	1月	額田消防団第8部小型動力ポンプ軽積載車（1台）を消防本部に移管する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－B型 1台）を購入する。
	4月	職員3人を増員、実員372人とする。 予防課に特別査察班を設置する。 消防救急デジタル無線の運用を開始する。
	8月	消防広報車（1台）を購入する。 額田消防団第6部消防ポンプ自動車（1台）を額田消防団第9部に移管する。
	10月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	11月	消防広報車（2台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ（B－2級 1台）を購入する。
平成29年	1月	小型動力ポンプ（B－3級 7台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	4月	職員3人を増員、実員375人とする。 消防本部の班制を係制に移行する。

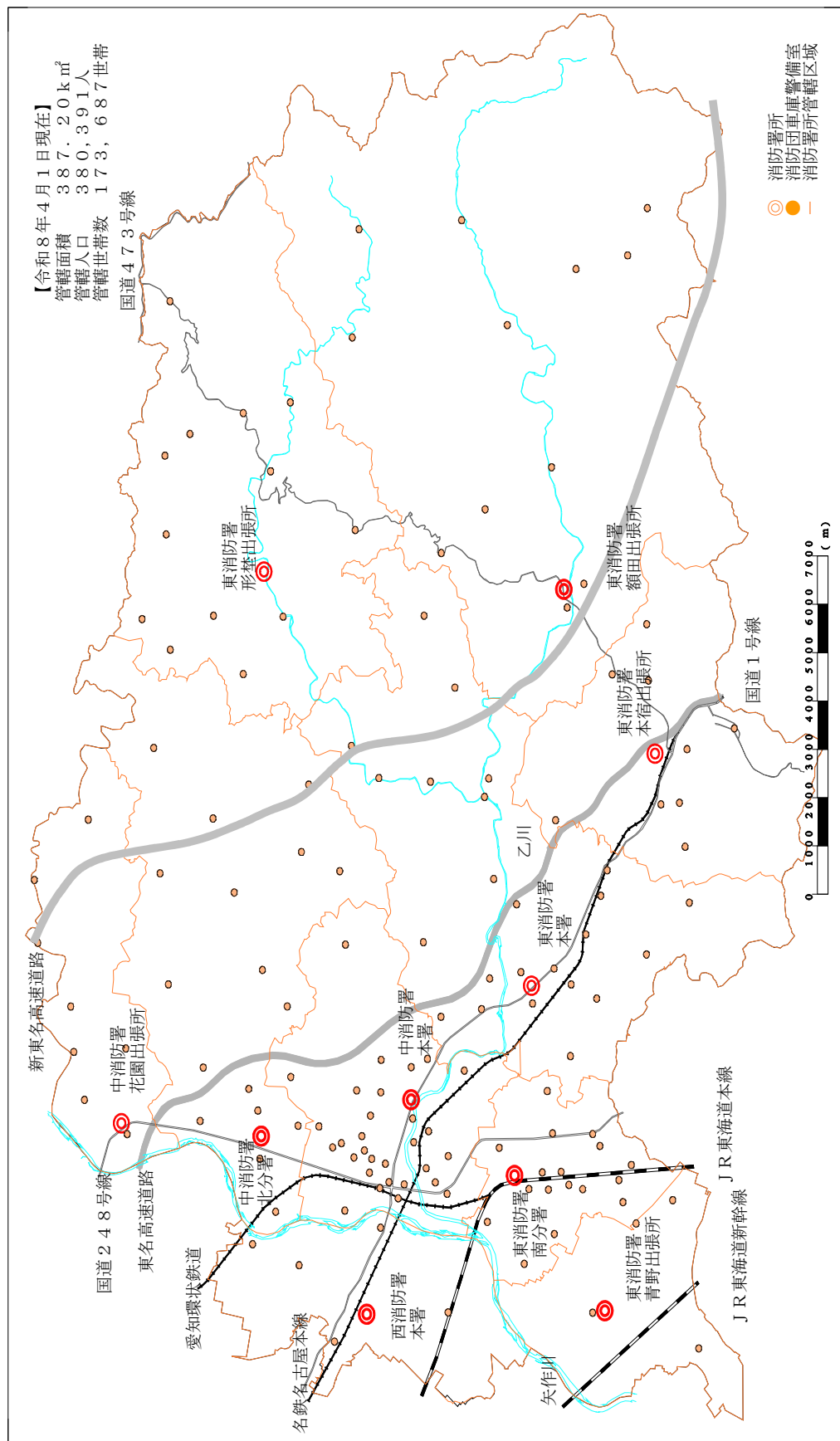
平成29年 4月	警防救助司令、警防司令、救急司令を廃止する。 消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
平成29年 10月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 はしご付消防自動車（40m級 1台）を購入する。
平成30年 1月	小型動力ポンプ（B－3級 5台）を購入する。
3月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型 1台）を購入する。
4月	通信指令室を共同通信課とし、幸田町と消防指令業務の共同運用を開始する。 職員7人を増員、実員382人とする。 (幸田町から共同通信課への出向者4名を含む。市民生活部防災課への出向者3人を除く。) 指揮調査司令長を廃止する。 東消防署本署に指揮調査係を設置する。 消防団大学生等活動認証制度を導入する。
9月	消防広報車（1台）を購入する。
11月	消防広報車（1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）を購入する。
12月	小型動力ポンプ（B－3級 6台）を購入する。
平成31年 4月	中消防署本署及び東消防署本署に予防管理係を設置する。 職員4人を増員、実員386人とする。
令和元年 11月	屈折はしご付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
12月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
令和2年 1月	小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 6台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 1台）を購入する。
3月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
4月	中消防署本署の警防救助係を警防係及び救助係に再編する。 職員1人を増員、実員387人とする。 共同通信課を3係編成とする。
8月	消防広報車（1台）を購入する。
12月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。
令和3年 1月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－B型 1台）を購入する。
3月	無人航空機（ドローン）（1台）の特別寄贈を受ける。
4月	職員1人を増員、実員388人とする。
10月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
令和4年 3月	小型動力ポンプ積載車（6台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。
4月	西消防署本署に予防管理係を設置する。 職員1人を増員、実員389人とする。 高規格救急自動車（1台）の特別寄贈を受ける。TUWA号

令和4年	6月	消防課連絡車（1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
令和5年	3月	小型動力ポンプ付積載車（2台）を購入する。 指揮指令車（1台）を購入する。 広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	4月	職員3人を増員、実員392人とする。
	10月	人員輸送車（1台）を購入する。
	11月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 救助工作車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ（B－3級 3台）を購入する。
令和6年	1月	小型動力ポンプ（B－1級 1台）を購入する。 先端屈折式はしご付消防自動車（1台）を購入する。
	2月	小型動力ポンプ軽積載車（4台）を購入する。
	4月	総務課に消防団係を設置する。 消防課を消防救急課とし、救急対策係を設置する。 職員4人を増員、実員396人とする。 男川消防団第2部及び第5部を統廃合し106部となる。 機能別消防団員制度を男川消防団の一部地域に導入する。
	6月	小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。
	7月	小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。
	12月	指揮指令車（1台）を購入する。
令和7年	1月	小型動力ポンプ軽積載車（4台）を購入する。
	2月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 3台）を購入する。
	3月	小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。
	4月	職員7人を増員、実員403人とする。
	10月	消防連絡車（1台）を購入する。 消防広報車（1台）を購入する。
	11月	消防連絡車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ軽積載車（5台）を購入する。 高規格救急自動車（2台）を購入する。
令和8年	1月	消防広報車（1台）を購入する。
	2月	水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ付積載車（3台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 3台）を購入する。
	3月	防災車（1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（2台）を購入する。
	4月	職員14人を増員、実員417人（再任用5人含む）とする。 機能別消防団員制度を広幡、岡崎、竜谷、河合及び矢作消防団の一部地域に導入する。 中消防署本署に機動救急係を設置する。

岡崎市及び岡崎消防のあらまし

歴史と伝統に恵まれた岡崎市は、愛知県のほぼ中央に位置し三河高原から連なる丘陵地と矢作川、乙川流域に広がる平野部がらなっており、国道1号線、同248号線、東名高速道路及び新東名高速道路が主幹道路として市内を縦断し、J R東海道本線、愛知環状鉄道、名鉄名古屋本線等交通網が充実しており、教育、文化、産業、経済などさまざまな分野で西三河の中心都市としての役割を果たしています。また、「夢ある新しい岡崎」の実現に向けて発展し続けています。

岡崎消防は、本部1、消防署3、分署2、出張所5、職員417人21消防団1,464人をもって構成し都市の発展に伴って発生する各種災害に備えて、近代消防としての充実に努めています。



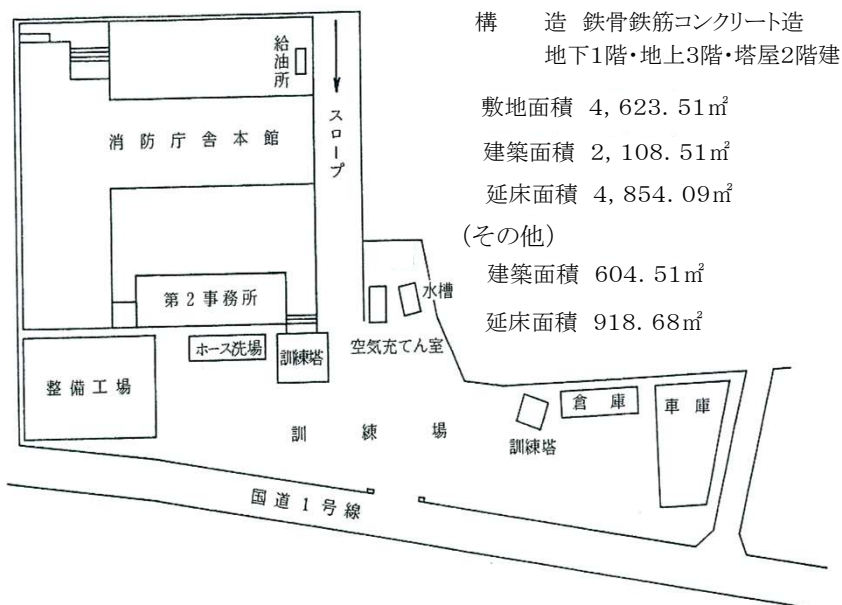
消 防 庁 舎

1 消防本部・中消防署 本署

郵便番号	444-0022		
所在地	岡崎市朝日町3丁目4番地	TEL	(0564)21-5151
メールアドレス	nakasho@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)26-0373



庁舎配置図



2 中消防署 北分署

郵便番号		444-2133				
所在地		岡崎市井ノ口町字楼65番地		T E L	(0564) 24-0119	
メールアドレス		kitafd@city.okazaki.lg.jp		F A X	(0564) 25-9492	
本館	構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建		敷地面積		1, 616. 78㎡
	建築面積	458. 57㎡		その他	建築面積	77. 48㎡
	延 面 積	510. 35㎡			延 面 積	116. 58㎡



3 中消防署 花園出張所

郵便番号		444-2148				
所在地		岡崎市仁木町字川越254番地		TEL	(0564)66-8119	
メールアドレス		hanazonofd@city.okazaki.lg.jp		FAX	(0564)66-8120	
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建		敷地面積		1,411.00㎡
	建築面積	232.23㎡		その他	建築面積	---㎡
	延面積	306.17㎡			延面積	---㎡



4 東消防署 本署

郵便番号	444-0005		
所在地	岡崎市岡町字下河原25番地 4	T E L	(0564) 53-0119
メールアドレス	higashisho@city.okazaki.lg.jp	F A X	(0564) 55-9690



庁舎配置図

(本 館)

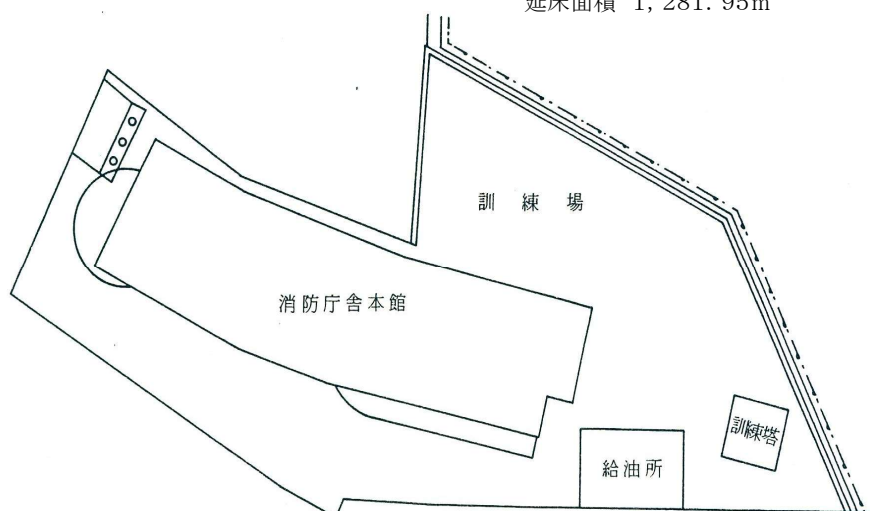
構 造 鉄筋コンクリート造2階建

塔屋訓練塔設置

敷地面積 2,600.70㎡

建築面積 686.82㎡

延床面積 1,281.95㎡



5 東消防署 南分署

郵便番号		444-0836				
所在地		岡崎市中田町2番地2		TEL	(0564)54-0119	
メールアドレス		minamifd@city.okazaki.lg.jp		FAX	(0564)55-9691	
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建		敷地面積		1,269.86㎡
	建築面積	523.12㎡		その他	建築面積	43.41㎡
	延面積	586.76㎡			延面積	86.82㎡



6 東消防署 青野出張所

郵便番号		444-0244				
所在地		岡崎市下青野町字宮東49番地		TEL	(0564)43-6119	
メールアドレス		aonofd@city.okazaki.lg.jp		FAX	(0564)43-1591	
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建		敷地面積		2,117.18㎡
	建築面積	340.21㎡		その他	建築面積	21.00㎡
	延面積	449.10㎡			延面積	21.00㎡



7 東消防署 額田出張所

郵便番号		444-3622				
所在地		岡崎市榎山町字山ノ神21番地12		TEL	(0564)82-4119	
メールアドレス		nukatafd@city.okazaki.lg.jp		FAX	(0564)85-1060	
本館	構造	鉄筋コンクリート造地下1階地上1階建		敷地面積		1,940.77㎡
	建築面積	449.71㎡		その他	建築面積	--- ㎡
	延面積	648.25㎡			延面積	--- ㎡



8 東消防署 本宿出張所

郵便番号		444-3505				
所在地		岡崎市本宿町字西片山30番地1		TEL	(0564)48-1119	
メールアドレス		motojukufd@city.okazaki.lg.jp		FAX	(0564)48-1120	
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建		敷地面積		2,025.70㎡
	建築面積	452.80㎡		その他	建築面積	---㎡
	延面積	586.83㎡			延面積	---㎡



9 東消防署 形埜出張所

郵便番号		444-3443				
所在地		岡崎市鍛埜町字中切22番地 6		TEL	(0564) 85-3119	
メールアドレス		katanofd@city.okazaki.lg.jp		FAX	(0564) 84-3119	
本館	構造	鉄骨造 2 階建		敷地面積		2, 152. 53㎡
	建築面積	424. 22㎡		その他	建築面積	22. 68㎡
	延面積	664. 50㎡			延面積	17. 05㎡



10 西消防署 本署

郵便番号	444-0941		
所在地	岡崎市暮戸町字元社口42番地	TEL	(0564)34-0119
メールアドレス	nishisho@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)31-1099



庁舎配置図

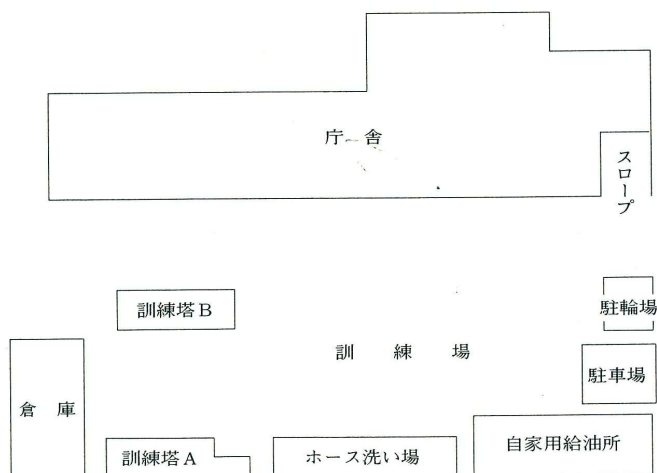
(本館)

構造 鉄筋コンクリート造2階建

敷地面積 2,583.60㎡

建築面積 659.48㎡

延床面積 1,231.99㎡



令和7年度消防のあゆみ

令和7年

4月

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1日 消防団正副団長辞令交付式 | |
| 3日 消防二輪車実技研修（及び4日） | （キョウセイ交通大学） |
| 6日 家康行列消防警備 | |
| 7日 消防職員安全運転実技研修（～10日） | （キョウセイ交通大学） |
| 13日 岡崎市消防団初任者・幹部研修 | （岡崎市福祉会館） |
| 15日 小隊長研修（～30日） | （各消防署所） |
| 17日 岡崎市危険物保安連絡協議会 第1回理事会 | （岡崎市消防本部） |
| 18日 第1回消防団長会議 | |
| 21日 現場指揮官研修（22日、25日及び28日） | （中消防署本署、東消防署本署、西消防署本署） |
| 24日 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会 第1回会長会議 | （岡崎市消防本部） |
| 28日 認定救助隊員選抜試験 | （中消防署本署） |

5月

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 11日 解体予定の市営住宅を使用した火災系救助訓練（～24日） | （市営住宅大平荘） |
| 12日 消防職員救急症例検討会（～31日） | |
| 13日 岡崎市少年消防クラブ指導者説明会 | （岡崎市消防本部） |
| 14日 名古屋市消防航空隊合同水難訓練 | （岡崎城公園乙川河川緑地） |
| 15日 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会 定期総会 | （岡崎市消防本部） |
| 15日 署隊本部対応訓練（及び16日） | （署隊本部室及び消防署所） |
| 16日 愛知県消防長会予防担当課長会議 | （海部南部消防組合） |
| 16日 岡崎市危険物保安連絡協議会 定期総会 | （岡崎市消防本部） |
| 19日 緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練（情報伝達訓練） | （岡崎市消防本部） |
| 23日 警防本部運用訓練（及び30日） | （岡崎幸田消防指令センター等） |
| 26日 潜水基本訓練（～6月22日） | （中消防署本署） |

6 月

- 1 日 集団災害訓練（～30日）
- 7 日 第 1 回危険物取扱者試験予備講習会（岡崎市消防本部）
- 8 日 危険物安全週間（～14日）
- 12日 岡崎市新規採用職員研修（令和 7 年度採用保育職員）（岡崎市消防本部）
- 15日 消防団機関班養成講習（岡崎市消防本部）
- 16日 消防職員救急症例検討会（～30日）
- 22日 第18回消防団員震災・風水害研修（中消防署本署）
- 23日 乙川水難救助訓練（～ 7 月 4 日）（岡崎城公園乙川河川緑地）
- 25日 岡崎市危険物保安連絡協議会 消防機械器具取扱講習会（岡崎市消防本部）
- 27日 岡崎市女性防災クラブ 新クラブ員消防教室（及び28日）（岡崎市消防本部）

7 月

- 1 日 第 2 回消防団長会議
- 6 日 第19回消防団安全運転実技研修（キョウセイ交通大学）
- 7 日 潜水応用救助訓練（～31日）（岡崎城公園乙川河川緑地）
- 13日 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会 第 2 回会長会議・クラブ活動研修会（岡崎市立梅園小学校）
- 16日 第65回愛知県下消防長会救急事業部会員会議（豊川市消防本部）
- 24日 ファイヤーファイターサバイバル研修（～10月31日）（消防署所）
- 24日 第53回消防救助技術東海地区指導会（三重県 鈴鹿市）
- 30日 岡崎市新規採用職員研修（令和 7 年度採用行政職員）（及び31日）（岡崎市消防本部）
- 31日 岡崎市少年消防クラブ員愛知県消防学校一日入校（愛知県消防学校）

8月

- 1日 西三河予防行政研究会 (豊田市消防本部)
- 1日 岡崎市危険物保安連絡協議会 第2回理事会 (書面会議)
- 2日 岡崎城下家康公夏まつり第77回花火大会消防警備
- 6日 一日消防士体験 (及び7日) (岡崎市消防本部)
- 15日 消防職員救急症例検討会 (～31日)
- 22日 第3回消防団長会議
- 30日 第53回全国消防救助技術大会 (兵庫県 三木市)

9月

- 1日 「防災の日」
- 4日 岡崎市少年消防クラブ防火作品審査会 (岡崎市消防本部)
- 6日 岡崎市消防本部救急の日イベント (イオンモール岡崎)
- 7日 一日消防署長 (イオンモール岡崎)
- 8日 名古屋市消防航空隊合同訓練 (岡崎中央総合公園 健康の森)
- 15日 認定救助隊員育成集合教育 (～11月6日) (中消防署本署)
- 22日 集団災害訓練 (岡崎市民病院)
- 27日 女性消防クラブ指導者科1日入校 (愛知県消防学校)
- 29日 西三河地区合同訓練 (岡崎市総合現業事務所)

10月

- 1 日 秋の消防施設整備清掃
- 1 日 消防職員救急症例検討会（～31日）
- 9 日 消防連絡車（1台）更新配備
（防火連絡車）
- 17日 愛知県消防長会予防担当課長会議（名古屋市公館）
- 17日 第4回消防団長会議
- 23日 岡崎市危険物保安連絡協議会 初期消火技術発表会（岡崎中央総合公園）
- 27日 岡崎市地域総合防災訓練（その他11月3日等）
- 29日 緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練（情報伝達訓練及び部隊集結訓練）（岡崎市消防本部・春日井市内津峠パーキングエリア）
- 29日 消防広報車（1台）更新配備
（花園広報車）

11月

- 1 日 藤田医科大学岡崎医療センター及び愛知県ドクターヘリ合同訓練（針崎町 駅南中央公園等）
- 7 日 イオンモール岡崎高所救助訓練（及び8日）（イオンモール岡崎）
- 8 日 第2回危険物取扱者試験予備講習会（岡崎市消防本部）
- 9 日 秋の火災予防運動（～15日）
- 9 日 ラリージャパン2025 消防警備（岡崎中央総合公園等）
- 10日 消防連絡車（1台）更新配備
（総務課連絡2号車）
- 12日 警察消防殉職者慰霊祭（名古屋市 Niterra日本特殊陶業市民会館）
- 14日 岡崎市少年・幼年消防クラブ員防火作品展（～11月28日）（岡崎市役所東庁舎1階ロビー）
- 15日 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練（及び16日）（岐阜県高山市）
- 21日 岡崎市危険物保安連絡協議会 研修会（岡崎市消防本部）
- 23日 消防団員年間訓練効果確認会（岡崎城公園乙川河川緑地）

12月

- 1 日 消防職員救急症例検討会（～31日）
- 3 日 愛知県ドクターヘリ合同訓練（切山町 デンソー額田研修所跡地）
- 5 日 救助隊員再教育 ロープレスキュー訓練（及び8日）（東消防署本署）
- 8 日 名古屋市消防航空隊夜間離発着陸訓練（岡崎中央総合公園多目的広場）
- 10日 第5回消防団長会議
- 14日 小型動力ポンプ軽積載車（5台）更新配備
（三島消防団第2部、藤川消防団第3部、山中消防団第3部、岩津消防団第8部、額田消防団第5部）
- 15日 救助隊技術訓練（～26日）（岡崎中央総合公園 健康の森）
- 22日 災害対応特殊救急自動車（2台）更新配備
（中救急2号車、西救急2号車）
- 25日 岡崎市消防職員意見発表会（岡崎市消防本部）
- 28日 歳末消防特別警戒（～30日）

令和8年

1月

- 11日 岡崎市消防出初・観閲式（岡崎城公園乙川河川緑地他）
- 22日 第66回愛知県下消防長会救急事業部会員会議（江南市消防本部）
- 25日 文化財火災防御訓練（針崎町 勝鬘寺）
- 28日 消防職員研修会（岡崎市消防本部）
- 30日 西三河地区消防職員意見発表会（知立市文化会館）
- 30日 広報車（1台）更新配備
（広報3号車）

2月

- 1日 消防職員安全運転講習会（～28日）
- 1日 消防職員救急症例検討会（～28日）
- 2日 岡崎市危険物保安連絡協議会 第3回理事会（書面会議）
- 4日 岡崎市消防本部救急ミーティング（～3月25日）
- 6日 第6回消防団長会議
- 10日 緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練（後方支援活動訓練）（名古屋市消防学校）
- 12日 部隊運用訓練（及び13日）（宇頭南町 旧西部学校給食センター）
- 13日 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会 第3回会長会議（岡崎市消防本部）
- 15日 滝山寺鬼祭り警備
- 16日 岡崎市危険物保安連絡協議会 普通救命講習（～18日）（岡崎市消防本部）
- 17日 救助隊員再教育 NBC災害救助訓練（及び18日）（中消防署本署）
- 17日 水槽付消防ポンプ自動車（1台）更新配備
（本宿1号車）
- 26日 受援図上訓練（岡崎市消防本部
2階指揮本部室）

3月

- 1日 春の火災予防運動（～7日）
- 1日 消防団ブロック別考案訓練（滝町 常磐学区市民ホーム付近）
- 6日 第2回消防職員研修会（岡崎市消防本部）
- 7日 小型動力ポンプ付積載車（3台）更新配備
（広幡消防団第3部、三島消防団第1部、河合消防団第1部）
- 7日 小型動力ポンプ（3台）更新配備
（羽根消防団第3部、竜谷消防団第3部、額田消防団第5部）
- 9日 防災車（1台）更新配備
- 18日 消防ポンプ自動車（2台）更新配備
（東2号車、西2号車）

消 防 予 算

近年の消防を取り巻く環境として、複雑多様化する災害や救急出動件数の増大、南海トラフ巨大地震及び局地的な豪雨などの自然災害への対応が挙げられる。これらの諸災害に迅速かつ的確に対処するため、消防体制の充実強化に万全を期す。

常備消防にあつては、職務遂行に必要な知識の習得、技術の錬磨を図るため、引き続き職員研修等を実施し資質の向上に努めるとともに、水槽付消防ポンプ自動車及び救急自動車の更新配備をはじめ、災害活動用機械器具の整備充実を図る。

非常備消防については、小型動力ポンプや救助用資機材の配備等消防力の充実を図るとともに、消防団員の処遇改善を行うなど士気の高揚を図る。

その他、消火栓及び防火水そう等消防水利の新設を行うなど消防施設の充実強化に努めるとともに、各種訓練、出前講座及び啓発活動などを通じて自主防災組織の育成・強化及び市民の防災意識高揚を図る。

1 当初予算額の比較

(単位：千円)

年 度 区 分		令和 7 年度当初予算	令和 8 年度当初予算	増減比 (%)
市 一 般 会 計 歳 出 予 算 額		153,690,000	154,850,000	0.8
消 防 費		4,637,804	4,896,387	5.6
内 訳	常 備 消 防 費	3,738,484	4,013,547	7.4
	非 常 備 消 防 費	213,921	231,016	8.0
	消 防 施 設 費	393,868	353,160	△ 10.3
	災 害 対 策 費	265,883	290,213	9.2
	水 防 費	25,648	8,451	△ 67.1

△印は減を示す

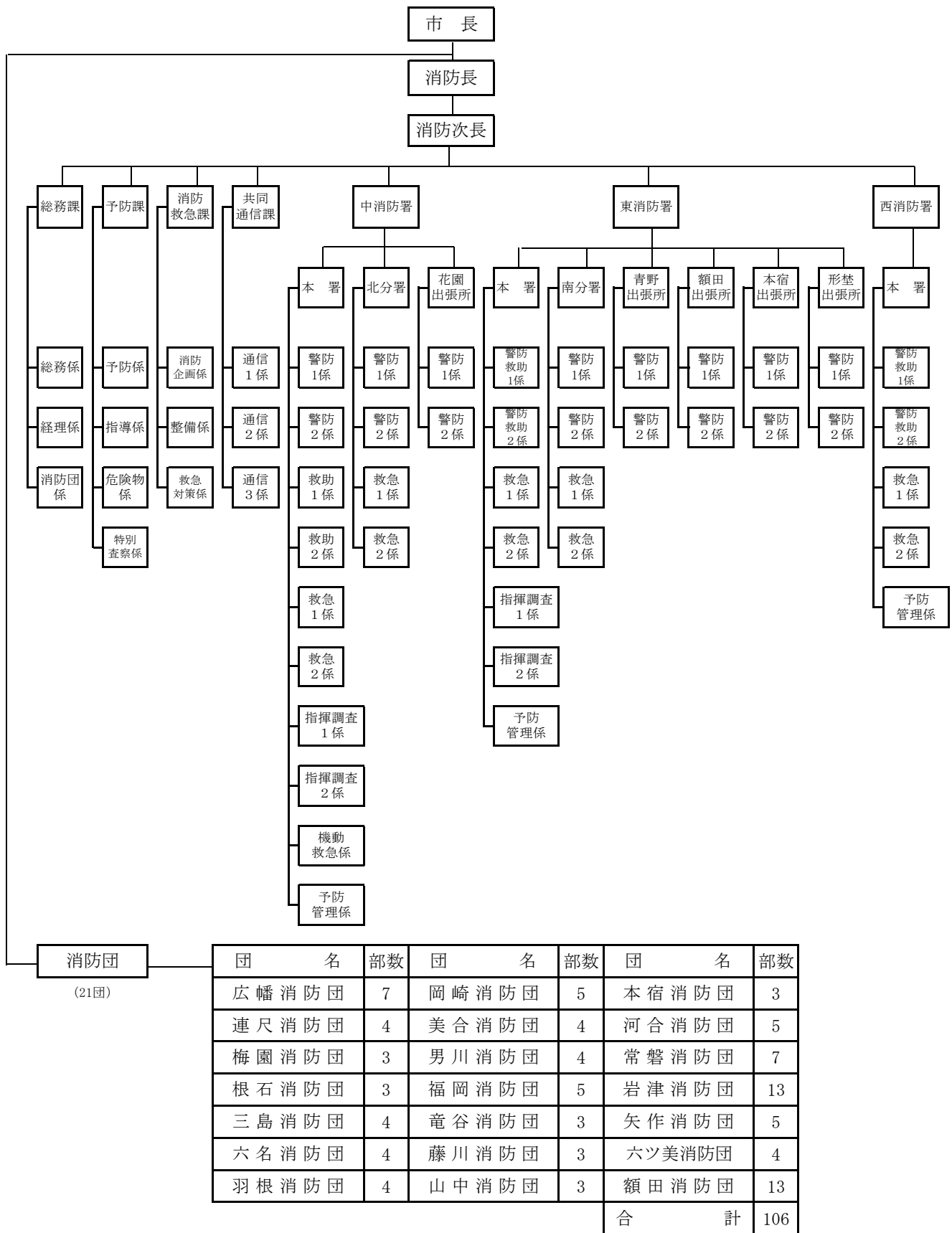
2 最近 5 年間にける一般会計との比較

(単位：千円)

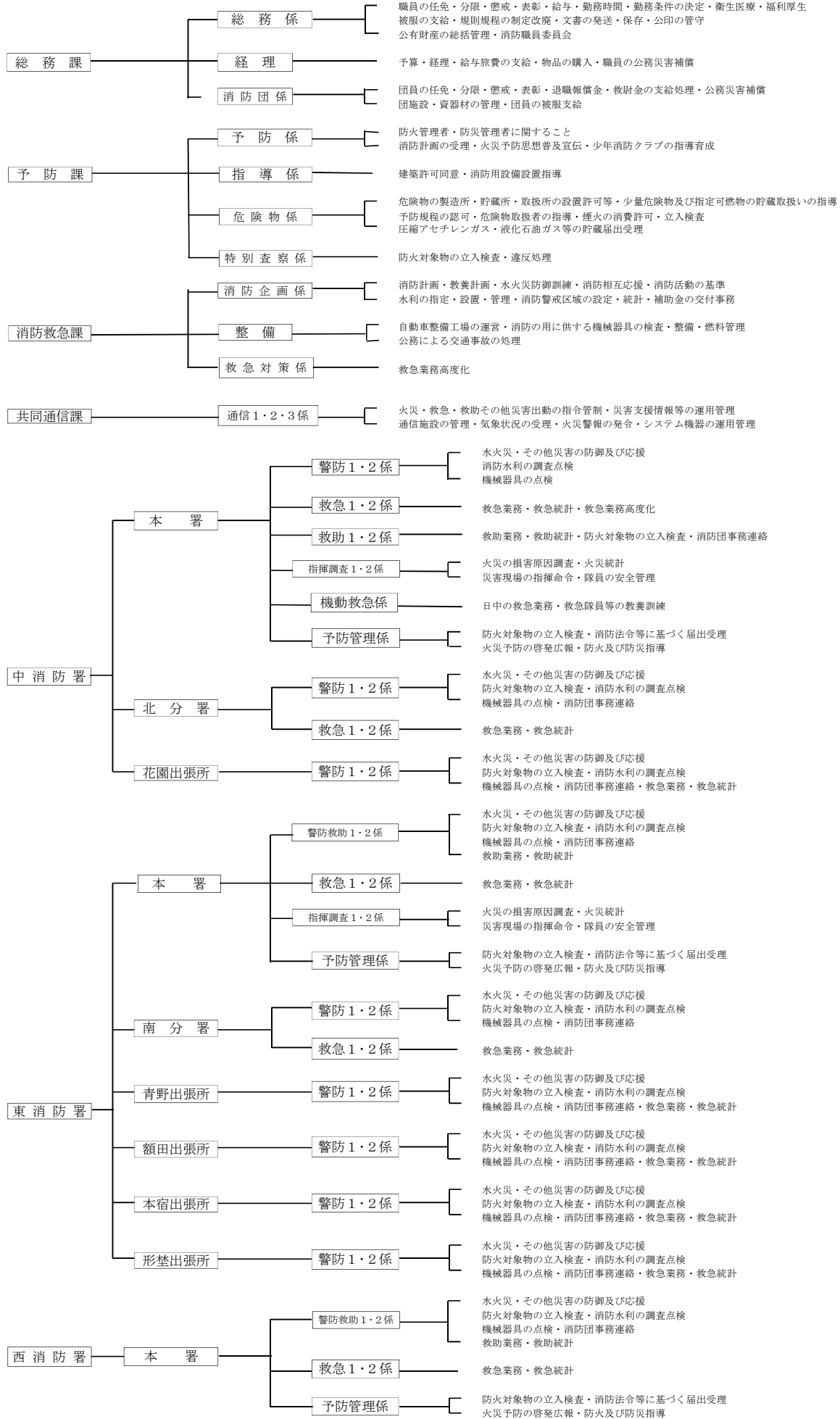
年 度	区 分	市一般会計歳出決算額	消防費歳出決算額	構成比 (%)
令和 2 年度		170,969,073	3,967,973	2.3
令和 3 年度		140,662,822	3,825,989	2.7
令和 4 年度		142,982,918	4,312,220	3.0
令和 5 年度		143,602,430	4,483,352	3.1
令和 6 年度		148,542,565	4,377,201	2.9

消 防 機 構

令和8年4月1日現在



事務分掌



消 防 現 勢

1 職員現有人員

令和8年4月1日現在

区 分	実 員
消 防 本 部	83人
中 消 防 署	120人
東 消 防 署	167人
西 消 防 署	47人
合 計	417人

※幸田町消防本部から共同通信課への出向者4人を含む。

※市民安全部防災課への出向者4人を含む。

※再任用職員（短時間勤務）を除く

2 職員の配置状況

令和8年4月1日現在

階 級 別 所 属 別			消 防 吏 員								計			
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		そ の 他 の 職 員		
消 防 本 部	消 防 長		1								1			
	消 防 次 長			1							1			
	総務課	課 長		1	1	2	1				19			
		総 務 係			1	1	1							
		経 理 係				1	1							
		消 防 団 係			1	1		1						
	予防課	出 向 者 長		1			3	3				18		
		課 長		1										
		予 防 係			1	1		2			1			
		指 導 係					1	2	1					
	消防救急課	危 険 物 係					1	1	2			17		
		特 別 査 察 係				2	1		1					
		課 長		1										
消 防 企 画 係				1		4	1							
共同通信課	整 備 係					3	2				27			
	救 急 対 策 係					3	2							
	課 長		1											
	通 信 1 係			2		4	5	1						
中 消 防 署	中 消 防 署 長			1							78			
	本 署	副署長兼務1課長			1									
		警 防 1 係			1	1	2	4	1	6				
		救 急 1 係				1	1	3	1					
		救 助 1 係				1	1	2	3					
		指 揮 調 査 1 係				1	2	2						
		予 防 管 理 係				1	1			1				
		機 動 救 急 係				3			2					
		2 課 長			1									
		警 防 2 係			1	1	2	4	1	6				
	救 急 2 係					2	2	3						
	救 助 2 係			1		1	2	3						
	北分署	指 揮 調 査 2 係			1	1	2	1	1				25	
		分 署 長			1									
		警 防 1 係					2	1	2	2				
		救 急 1 係				1	1	1	1	1				
	花園出張所	警 防 2 係					2	1	2	2			17	
		救 急 2 係				1	1	1		2				
		出 張 所 長			1									
		警 防 1 係				1	1	2	2	2				
	東 消 防 署	東 消 防 署 長			1								56	
		本 署	副署長兼務1課長			1								
			警 防 救 助 1 係			1	1	1	4	3		5		
救 急 1 係					1		1	1	2					
指 揮 調 査 1 係					1		2	2						
予 防 管 理 係							2	1						
2 課 長					1									
警 防 救 助 2 係					1	1	1	4	3	5				
救 急 2 係						1	1	2	1					
指 揮 調 査 2 係				1		2	1	1						
南 分 署		分 署 長			1							33		
		警 防 1 係				1	1	3	2	3				
		救 急 1 係				1	1	2	2					
		警 防 2 係				1	1	3	2	3				
青野出張所		救 急 2 係				1	1	2	2			23		
		出 張 所 長			1									
		警 防 1 係				1	2	3	2	3				
		警 防 2 係				1	2	3	2	3				
額田出張所		出 張 所 長			1							23		
		警 防 1 係				1	2	3	3	2				
本宿出張所		警 防 2 係				1	2	3	2	3		17		
		出 張 所 長			1									
		警 防 1 係				1	2	2	2	1				
	警 防 2 係				1	2	2	2	1					
形埜出張所	出 張 所 長			1							15			
	警 防 1 係					2	2	2	1					
	警 防 2 係					2	2	1	2					
	救 急 2 係					2	2	1	2					
西 消 防 署	西 消 防 署 長			1							47			
	本 署	1 課 長			1									
		警 防 救 助 1 係			1	1	1	4	3	4				
		救 急 1 係				1	2	2	2					
		予 防 管 理 係				1	1	1						
		副署長兼務2課長			1									
		警 防 救 助 2 係			1	1	1	3	4	4				
		救 急 2 係				1	1	2	2					
合 計			1	9	26	39	89	111	75	66	1	417		

3 消防吏員の勤務年数状況

令和8年4月1日

階級別 年 数	計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
人 員	416	1	9	26	39	89	111	75	66
平 均 年 数	16.9	40	31.9	31.5	29.3	22.6	16.5	9.6	2.3
1 年 未 満	11								11
1 年 以 上 5 年 未 満	47								47
5 " 10 "	43							35	8
10 " 15 "	74						35	39	
15 " 20 "	81					20	60	1	
20 " 25 "	64			1	3	49	11		
25 " 30 "	46		3	9	21	13			
30 " 35 "	28		4	10	13	1			
35 年 以 上	22	1	2	6	2	6	5		

4 消防吏員の年齢状況

令和8年4月1日

階級別 年 齢	計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
人 員	416	1	9	26	39	89	111	75	66
平 均 年 齢	37.9	58.0	53.8	52.9	50.1	44.3	38.1	29.6	22.5
18 歳 以 上 20 歳 未 満	4								4
20 " 25 "	48								48
25 " 30 "	47							33	14
30 " 35 "	66						24	42	
35 " 40 "	62					2	60		
40 " 45 "	79					57	22		
45 " 50 "	43			2	17	24			
50 " 55 "	44		6	18	20				
55 " 60 "	12	1	3	6	2				
60 歳 以 上	11					6	5		

5 消防吏員の免許等資格所有状況

令和8年4月1日

階級別 種 別	計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
大 型 特 殊 自 動 車 免 許	119	1	4	13	19	35	41	5	1
大 型 自 動 車 免 許	358	1	9	26	38	89	106	74	15
中 型 自 動 車 免 許	221	1	9	26	39	87	55	3	1
準 中 型 自 動 車 免 許	113				1	1	55	55	1
普 通 自 動 車 免 許	80							20	60
自 動 2 輪 車 免 許	207	1	5	17	23	54	59	32	16
小 型 船 舶 操 縦 士	65	1	3	7	10	23	17	4	
危 険 物 取 扱 者 免 状	210	1	6	17	19	61	62	34	10
第 1 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	9			1		5	3		
第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	301			7	9	80	105	72	28
第 3 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	60		7	14	30	6	2		1
2 級 自 動 車 整 備 士	13		1	1	3	5	3		
3 級 自 動 車 整 備 士	29		1	4	6	11	6		1
予 防 技 術 資 格 者	44		4	5	7	14	11	3	
救 急 救 命 士	129	1	2	16	16	32	32	19	11
救 急 科 救 急 II 課 程 ・ 標 準 課 程 ・ 救 急 課 程	339	1	9	26	39	88	98	59	19
救 助 隊 員 資 格	78	1	4	14	18	23	15	3	
潜 水 士 免 許	131	1	2	10	18	41	35	21	3
水 上 安 全 法 救 助 員 適 任 証	4			1		1	2		
酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者 証 講 習 修 了	44			7	6	10	17	3	1
小 型 移 動 式 ク レ ーン 技 能 講 習 証 修 了	171	1	2	7	19	46	59	31	6
玉 掛 技 能 講 習 修 了 証	329	1	2	10	20	79	106	75	36
衛 生 管 理 者 免 許	18	1	1	3		7	5	1	

消防吏員416人

消防機械配備状況

1 配備状況一覧表

令和8年4月1日

種 別 所属別		計	はしご付消防自動車 54m	はしご付消防自動車 40m	先端屈折式はしご付消防自動車 30m	屈折はしご付消防ポンプ自動車 25m	高所活動車	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付水槽車	救助ポンプ自動車	救急自動車	広報自動車	連絡自動車	指揮指指令車	支援車	大型水陸両用車	大型水陸両用車専用搬送車	起震車	資材運搬車	本部輸送車	人員輸送車	消防二輪車	小型動力ポンプ
計		86	1	1	1	1	1	10	5	2	4	3	16	21	6	2	1	1	1	1	3	1	1	3	4
消防本部	総務課	4												1	2							1			
	予防課	6												4	1					1					
	消防救急課	8												5	1						2				1
	共同通信課	0																							
中消防署	本 署	19	1					1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1		1		1	1	
	北 分 署	5					1	1	1				1	1											1
	花園出張所	3						1					1	1											
東消防署	本 署	11				1		1	1		1	1	2	2		1									1
	南 分 署	6			1			1	1				2	1											
	青野出張所	3						1					1	1											
	額田出張所	4						1			1		1	1											
	本宿出張所	3						1					1	1											
	形埜出張所	3						1					1	1											1
西消防署本署		11		1				1	1	1	1	1	2	1	1									1	

2 消防本部・消防署機械配備

指揮指令車2台、消防ポンプ車15台、救急車16台、はしご車4台、高所活動車1台、化学車2台、水槽車4台、救助工作車3台、支援車1台、大型水陸両用車1台、消防二輪車3台、その他広報車等34台を配備している。

令和8年4月1日

種別 所属	名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名 型 式	購 入 年 月	経過 年数	艀 装 社名等
消 防 本 部	本 部 車	岡 崎 300す9304	乗 用 車	トヨタ DBA-GRS202	H20. 5	17	愛 知 トヨタ
	総務課連絡1号車	岡 崎 500せ7469	連 絡 車	三 菱 DBA-Z23W	H20. 10	17	愛知中央 三 菱
	総務課連絡2号車	岡 崎 532も12	〃	ニッサン 5BA-NC28	R7.11	0	三 河 日 産
	消防救急課連絡車	岡 崎 300は8526	〃	ニッサン 3BA-KS8E26	R4. 6	3	三河日産
	広報1号車	岡 崎 800さ3360	広 報 車	三 菱 5LA-GL3W	R5. 3	3	ミヤセ 自動車
	広報2号車	岡 崎 800さ2599	〃	トヨタ LDF-KDY231	H30. 9	7	愛 知 トヨタ
	広報3号車	岡 崎 800さ3966	〃	ニッサン 5BA-C28	R8.1	0	愛 知 日 産
	広報4号車	岡 崎 880あ44	〃	三菱 GBD-U62V改	H21. 1	17	平和機械
	広報5号車	岡 崎 800さ2273	〃	トヨタ DBA-ZRR85G	H28. 11	9	ネットヨタ 愛知
	広報6号車	岡 崎 800さ474	〃	トヨタ TC-TRY220	H17. 3	20	江川工業所
	予防1号車	岡 崎 800さ2908	〃	トヨタ 6AA-NHP170G	R2. 8	5	ネットヨタ 愛知
	予防2号車	岡 崎 880あ166	〃	ダイハツ EBD-S211P	H26. 12	11	三 河 ダイハツ
	予防4号車	岡 崎 800さ2337	〃	三 菱 DBA-GA4W	H29. 4	8	中部三菱
	予防5号車	岡 崎 800さ2274	〃	トヨタ DBA-ZRR85G	H28. 11	9	ネットヨタ 愛知
	起 震 車	岡 崎 800さ85	起 震 車	い す ゞ PB-FRR35H3	H17. 11	20	カヤバ
	防火連絡車	岡 崎 430な20	連 絡 車	トヨタ 5BF-S413M	R7.10	0	豊富自動車
	防 災 車	岡 崎 800さ3993	資 材 運 搬 車	い す ゞ 2PG-NP88AR	R8.3	0	江川工業所
	資機材運搬車	岡 崎 100さ644	〃	三 菱 PA-FE82DE	H18. 9	19	〃
			小型動力ポンプ	シバウラ FZ700	H28. 12	9	
			〃	トーハツ VC52B	H17. 9	20	

種別 所属	名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経過	機 装 社名等
				型 式			
中 本 消 署 防 署	中はしご車	岡 崎 800は141	はしご付消防 自動車 (54m)	日 野 QPG-FW1AXEG改	H27. 3	11	モリタ
	中 1 号 車	岡 崎 800は237	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 2KG-GX2ABA	R3. 1	5	日 本 ドライ
	中 2 号 車	岡 崎 800さ2797	消防ポンプ自動車	日 野 2RG-XZU640M	R2. 1	6	〃
	中 水 槽 車	岡 崎 800は155	小型動力ポンプ 付水槽車 (10t)	い す ゞ QDG-FVZ34U2	H27. 12	10	〃
			小型動力ポンプ	シバウラ FZ700	H27. 12	10	
	中 化 学 車	岡 崎 800は77	化 学 消 防 ポンプ自動車	日 野 BDG-GX7JGWA改	H21. 1	17	〃
	中救助工作車	岡 崎 800は82	救 助 工 作 車	日 野 BDG-GX7JGWA改	H21. 3	17	平和機械
	中救急1号車	岡 崎 800さ2622	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ CBF-TRH226S	H30. 11	7	愛 知 トヨタ
	中救急2号車	岡 崎 800さ3951	〃	ニッサン 3BF-CS8E26改	R7. 12	0	愛 知 日 産
	中救急3号車	岡 崎 800さ2440	〃	ト ヨ タ CBF-TRH226S	H29. 10	8	愛 知 トヨタ
	中救急4号車	岡 崎 800さ2441	〃	ト ヨ タ CBF-TRH226S	H29. 10	8	愛 知 トヨタ
	人員輸送車	岡 崎 200さ350	マイクロバス 26人乗	ト ヨ タ 2KG-GDB70	R5. 10	2	愛 知 トヨタ
	中 広 報 車	岡 崎 800さ118	広 報 車	ニッサン CBF-VHNY11	H18. 7	19	三河日産
	中 連 絡 車	岡 崎 480あ2044	連 絡 車	三 菱 GBD-U61V	H19. 4	19	中部三菱
	中指揮指令車	岡 崎 800さ3722	指揮指令車	ト ヨ タ 3BF-TRH226S	R6. 12	1	平和機械
	支 援 車	岡 崎 800は107	支 援 車	日 野 BDG-FQ1EWYG	H23. 2	15	第一実業
	大型水陸両用車	岡 崎 900さ33	大型水陸両用車	STK Kinetics 不 明	H25. 3	13	いすゞ 首都圏
	大型水陸両用車	岡 崎 800は122	大型水陸両用車 専用搬送車	い す ゞ QKG-CYH77A	H25. 3	13	〃
	資機材搬送車	岡 崎 800さ1662	資 材 運 搬 車	三 菱 TKG-FGB70	H25. 2	13	第一実業
	中消防二輪車	1 岡 崎 あ 1588	消防二輪車	ヤ マ ハ JBK-DG17J	H20. 12	17	ヤマハ 発 動 機
	北 分 署	北高所活動車	高所活動車	日 野 BDG-XZU334M	H22. 2	16	平和機械
		北 1 号 車	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H24. 3	14	日 本 ドライ
		北 2 号 車	消防ポンプ自動車	日 野 TKG-XZU640M	H25. 10	12	小 川 ポンプ
		北救急1号車	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ CBF-TRH226S	R1. 12	6	愛 知 トヨタ
		北 広 報 車	広 報 車	三 菱 ABF-KB9T	H20. 9	17	愛知中央 三 菱

種別 所属		名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経過	機 装 社名等	
					型 式				
中 消 防 署	北分署			小型動力ポンプ	トーハツ VC52B	H17. 9	20		
		花園出張所	花園1号車	岡 崎 800は139	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H27. 3	11	日 本 ドライ
	花園救急1号車		岡 崎 800さ3745	高 規 格 救 急 自 動 車	ニッサン 3BF-CS8E26改	R7. 2	1	愛 知 日 産	
	花園広報車		岡 崎 880あ450	広 報 車	三 菱 ZAB-U69V	R7.10	0	江川工業所	
東 消 防 署	本署	東屈折はしご車	岡 崎 800は218	屈折はしご付消防 ポンプ自動車 (25m)	日 野 2PG-FH1AGA改	R1. 11	6	モリタ	
		東 1 号 車	岡 崎 800は201	水槽付消防 ポンプ自動車	いすゞ 2PG-FSS90S2	H30. 3	7	日 本 ドライ	
		東 2 号 車	岡 崎 800さ4002	消防ポンプ自動車	日 野 2DG-XZU685M	R8.3	0	平和機械	
		東 水 槽 車	岡 崎 800は134	小型動力ポンプ 付水槽車 (10t)	日 野 LDG-GK8JLAA	H26. 12	11	日 本 ドライ	
				小型動力ポンプ	トーハツ VF63AS	H26. 12	11		
		東救助工作車	岡 崎 800は117	救 助 工 作 車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H24. 3	14	平和機械	
		東救急1号車	岡 崎 800さ3744	高 規 格 救 急 自 動 車	ニッサン 3BF-CS8E26改	R7. 2	1	愛 知 日 産	
		東救急4号車	岡 崎 800さ2270	〃	トヨタ CBF-TRH226S	H28. 10	9	愛 知 トヨタ	
		東指揮指令車	岡 崎 800さ3364	指揮指令車	トヨタ 3BF-TRH226S	R5. 3	3	平和機械	
		東広報1号車	岡 崎 800さ2081	広 報 車	トヨタ LDF-KDY231	H27. 9	10	愛 知 トヨタ	
		東広報2号車	岡 崎 800さ2820	〃	トヨタ DBA-NSP170G	R2. 3	6	〃	
		東消防二輪車	1 岡 崎 あ 1589	消防二輪車	ヤ マ ハ JBK-DG17J	H20. 12	17	ヤ マ ハ 発 動 機	
			小型動力ポンプ	トーハツ VE90AS	R6. 1	2			
	南 分 署	南分署	南はしご車	岡 崎 800は265	先端屈折式はしご付 消防自動車 (30m)	日 野 2DG-PR1APJF	R6. 1	2	モリタ
			南 1 号 車	岡 崎 800は116	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H24. 3	14	日 本 ドライ
			南 2 号 車	岡 崎 800さ1634	消防ポンプ自動車	日 野 SKG-XZU640M	H24. 12	13	〃
			南救急1号車	岡 崎 800さ3189	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R4. 3	3	愛 知 トヨタ
			南救急2号車	岡 崎 800さ2954	〃	トヨタ 3BF-TRH226S	R2. 12	5	〃
			南 広 報 車	岡 崎 800さ1921	広 報 車	ホンダ DAA-GP3	H26. 8	10	ホンダ ^{カース} 三 河
		青野出張所	青野1号車	岡 崎 800は106	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 BDG-GX7JGWA改	H22. 12	15	日 本 ドライ
			青野救急1号車	岡 崎 800さ3124	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R3. 10	4	愛 知 トヨタ
青野広報車			岡 崎 800さ2227	広 報 車	トヨタ LDF-KDY231	H28. 8	9	〃	

種別 所属		名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経過	機 装 社名等
					型 式			
東 <								

3 消防団機械配備

消防団に消防ポンプ車(A-2級)1台、小型動力ポンプ付積載車(B-2級)34台、小型動力ポンプ積載車50台、軽積載車26台、小型動力ポンプ(B-1級)1台、小型動力ポンプ(B-2級)2台、小型動力ポンプ(B-3級)79台を分散配備している。

令和8年4月1日

種別 所属	登録番号	機械区分	車名 型式	購入 年月	経過 年数	無線種別	所在地
広幡消防団 第1部	岡崎 800さ454	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H18.2	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	伊賀町
			TC-TRY230				
			トーハツ VC72AM	H18.2	20		
第2部	岡崎 800さ295	積載車	トヨタ	H15.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	六供町
		小型動力ポンプ	トーハツ	H29.1	9		
			VC42AS				
第3部	岡崎 800さ3978	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	R8.2	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	井田町
			3BF-TRY230				
			トーハツ VF63BS-Ti	R8.2	0		
第4部	岡崎 800さ10	積載車	トヨタ	H16.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	真伝町
		小型動力ポンプ	TC-TRY220				
			トーハツ VC42A	H21.11	16		
第5部	岡崎 800さ360	積載車	トヨタ	H18.1	20	受令機 簡易デジタル無線機	伊賀町
		小型動力ポンプ	TC-TRY220				
			トーハツ VC42A	H20.11	17		
第6部	岡崎 800さ583	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H20.1	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	松本町
			ABF-TRY230				
			シバウラ SF756EZ	H20.1	18		
第7部	岡崎 880あ391	軽積載車	ダイハツ	R6.2	2	受令機 簡易デジタル無線機	日名本町
		小型動力ポンプ	3BD-S710W				
			シバウラ SF651MZ	H23.1	15		
連尺消防団 第1部	岡崎 800さ3776	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	R7.3	1	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	康生通西 3丁目
			3BF-TRY230				
			シバウラ FS500RC	R7.3	1		
第2部	岡崎 800さ298	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H17.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	八帖町
			TC-TRY230				
			シバウラ SF755EH	H17.10	20		
第3部	岡崎 800さ12	積載車	トヨタ	H16.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	板屋町
		小型動力ポンプ	TC-TRY220				
			トーハツ VC42A	H19.9	18		
第4部	岡崎 800さ25	積載車	トヨタ	H16.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	八帖北町
		小型動力ポンプ	TC-TRY220				
			トーハツ VC42AS	H25.1	13		
梅園消防団 第1部	岡崎 800さ301	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H17.10	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	稲熊町
			TC-TRY230				
			シバウラ SF755EH	H17.10	20		
第2部	岡崎 800さ471	積載車	トヨタ	H17.3	21	受令機 簡易デジタル無線機	六地藏町 1丁目
		小型動力ポンプ	TC-TRY220				
			トーハツ VC42AS	H30.12	7		
第3部	岡崎 800さ297	積載車	トヨタ	H15.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	稲熊町
		小型動力ポンプ	GE-RZY220				
			トーハツ VC42AS	H30.12	7		

種別 所属	登録番号	機 械 区 分	車 名 型 式	購 入 年 月	経過 年数	無線種別	所 在 地
根石消防団 第 1 部	岡 崎 800さ181	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H19. 1	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	中 町
			TC-TRY230				
			トーハツ	H19. 1	19		
			VC72AM				
			トヨタ	H18. 1	20	受令機 簡易デジタル無線機	欠 町
			TC-TRY220				
第 2 部	岡 崎 800さ359	積 載 車	トヨタ	H21.11	16		
			TC-TRY220				
			VC42A				
第 3 部	岡 崎 800さ19	積 載 車	トヨタ	H16.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	小 呂 町
			TC-TRY220				
			トーハツ	H19. 9	17		
		小型動力ポンプ	VC42A				
三島消防団 第 1 部	岡 崎 800さ3976	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	R8.2	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	明 大 寺 本 町
			3BF-TRY230				
			トーハツ	R8.2	0		
			VF63BS-Ti				
第 2 部	岡 崎 880あ454	軽 積 載 車	ダイハツ	R7.11	0	受令機 簡易デジタル無線機	菅 生 町
			3BD-S710W				
			シバウラ	H24. 1	14		
		小型動力ポンプ	SF651MZ				
第 3 部	岡 崎 800さ300	積 載 車	トヨタ	H17.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	明大寺町
			TC-TRY220				
			トーハツ	H26. 1	12		
		小型動力ポンプ	VC42AS				
第 4 部	岡 崎 800さ2958	積 載 車	ニッサン	R2.12	5	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大 西 1 丁 目
			CBF-SQ1F24				
			トーハツ	R7.3	1		
		小型動力ポンプ	VF53BS				
六名消防団 第 1 部	岡 崎 800さ182	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H19. 1	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	上 六 名 2 丁 目
			TC-TRY230				
			トーハツ	H19. 1	19		
			VC72AM				
第 2 部	岡 崎 800さ311	積 載 車	トヨタ	H17.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	六 名 1 丁 目
			TC-TRY220				
			トーハツ	H18.12	19		
		小型動力ポンプ	VC42A				
第 3 部	岡 崎 800さ306	積 載 車	トヨタ	H15.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	明大寺町
			GE-RZY220				
			トーハツ	H20.11	17		
		小型動力ポンプ	VC42A				
第 4 部	岡 崎 800さ13	積 載 車	トヨタ	H16.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	久後崎町
			TC-TRY220				
			シバウラ	H23. 1	14		
		小型動力ポンプ	SF651MZ				
羽根消防団 第 1 部	岡 崎 800さ584	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H20. 1	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	柱 町
			ABF-TRY230				
			シバウラ	H20. 1	18		
			SF756EZ				
第 2 部	岡 崎 800さ2959	積 載 車	ニッサン	R2.12	5	受令機 簡易デジタル無線機	戸 崎 町
			CBF-SQ1F24				
			トーハツ	H20.11	17		
		小型動力ポンプ	VC42A				
第 3 部	岡 崎 880あ330	軽 積 載 車	ダイハツ	R4.3	4	受令機 簡易デジタル無線機	庄 司 田 1 丁 目
			3BD-S331W				
			トーハツ	R8.2	0		
		小型動力ポンプ	VF53BS				
第 4 部	岡 崎 800さ367	積 載 車	トヨタ	H15.12	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	羽 根 町
			TC-TRY220				
			トーハツ	H29.1	9		
		小型動力ポンプ	VC42AS				

種別 所属	登録番号	機 械 区 分	車 名 型 式	購 入 年 月	経過	無線種別	所 在 地
岡崎消防団 第 1 部	岡 崎 800さ315	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ GE-RZY230	H15.10	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	柱6丁目
			シバウラ SF755EH	H15.10	22		
第 2 部	岡 崎 800さ4	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H16.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	羽 根 西 2 丁 目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.1	8		
第 3 部	岡 崎 800さ1333	積 載 車	トヨタ ABF-TRY220	H23. 1	15	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	城 南 町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	6		
第 4 部	岡 崎 800さ382	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	22	受令機 簡易デジタル無線機	若 松 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H25. 1	13		
第 5 部	岡 崎 880あ389	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S710W	R6.2	2	受令機 簡易デジタル無線機	針 崎 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	9		
美合消防団 第 1 部	岡 崎 800さ1336	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ ABF-TRY230	H23. 1	15	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	美 合 町
			トーハツ VF63AS	H23. 1	15		
第 2 部	岡 崎 800さ383	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H18. 1	20	受令機 簡易デジタル無線機	緑 丘 3 丁 目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27. 2	11		
第 3 部	岡 崎 880あ411	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S710W	R7.2	1	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	岡 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VF53BS	R6.1	2		
第 4 部	岡 崎 880あ359	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	3	受令機 簡易デジタル無線機	保 母 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.1	8		
男川消防団 第 1 部	岡 崎 800さ929	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ ABF-TRY230	H21. 1	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大 平 町
			トーハツ VF63AS	H21. 1	17		
第 2 部	岡 崎 800さ313	積 載 車	トヨタ GE-RZY220	H15.10	22	受令機 簡易デジタル無線機	洞 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H19. 9	18		
第 3 部	岡 崎 800さ861	積 載 車	トヨタ ABF-TRY220	H20.10	17	受令機 簡易デジタル無線機	丸 山 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC52B	H17.10	20		
第 4 部	岡 崎 800さ318	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	小 美 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R2.12	5		
福岡消防団 第 1 部	岡 崎 800さ75	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	福 岡 町
			トーハツ VC72AM	H16.11	21		
第 2 部	岡 崎 800さ293	積 載 車	トヨタ GE-RZY220	H15.10	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	若 松 東 1 丁 目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H20.11	17		

種別 所属	登録番号	機 械 区 分	車 名 型 式	購 入 年 月	経過	無線種別	所 在 地
福岡消防団 第 3 部	岡 崎 800さ412	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H18. 1	20	受令機 簡易デジタル無線機	福 岡 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H20.11	17		
第 4 部	岡 崎 880あ393	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S710W	R6.2	2	受令機 簡易デジタル無線機	福 岡 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VF53BS	R6.1	2		
第 5 部	岡 崎 800さ17	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H16.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	上 地 1 丁 目
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	6		
竜谷消防団 第 1 部	岡 崎 800さ59	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	桑 谷 町
			トーハツ VC72AM	H16.11	21		
第 2 部	岡 崎 800さ47	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H16.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	桑 谷 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27. 11	10		
第 3 部	岡 崎 800さ372	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	22	受令機 簡易デジタル無線機	竜泉寺町
		小型動力ポンプ	トーハツ VF53BS	R8.2	0		
藤川消防団 第 1 部	岡 崎 800さ302	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ GE-RZY230	H15.10	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	藤 川 町
			シバウラ SF755EH	H15.10	22		
第 2 部	岡 崎 880あ331	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	4	受令機 簡易デジタル無線機	蓑 川 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R5.3	3		
第 3 部	岡 崎 880あ453	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S710W	R7.11	0	受令機 簡易デジタル無線機	市 場 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H18.12	19		
山中消防団 第 1 部	岡 崎 800さ307	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H17.10	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	山 綱 町
			シバウラ SF755EH	H17.10	20		
第 2 部	岡 崎 880あ332	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	4	受令機 簡易デジタル無線機	羽 栗 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H26. 1	12		
第 3 部	岡 崎 880あ455	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S710W	R7.11	0	受令機 簡易デジタル無線機	池 金 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R2.12	5		
本宿消防団 第 1 部	岡 崎 800さ1812	小型動力ポンプ 付積載車	ニッサン CBF-SQ2F24	H25.12	12	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	本 宿 町
			シバウラ SF756EZ	H25.12	12		
第 2 部	岡 崎 880あ334	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	4	受令機 簡易デジタル無線機	上 衣 文 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R4.3	4		
第 3 部	岡 崎 880あ360	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	3	受令機 簡易デジタル無線機	鵜 巢 町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R5.3	3		

種別 所属	登録番号	機 械 区 分	車 名 型 式	購 入 年 月	経過	無線種別	所 在 地
河合消防団 第 1 部	岡 崎 800さ3977	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ 3BF-TRY230	R8.2	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	生 平 町
			トーハツ VF63BS-Ti	R8.2	0		
第 2 部	岡 崎 800さ314	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	蓬 生 町
			シバウラ SF651MZ	H24. 1	14		
第 3 部	岡 崎 800さ482	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H19. 9	18	受令機 簡易デジタル無線機	須 淵 町
			トーハツ VF53BS	R6.1	2		
第 4 部	岡 崎 800さ370	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H18. 1	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	秦 梨 町
			トーハツ VC42AS	H30.12	7		
第 5 部	岡 崎 800さ378	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H18. 1	20	受令機 簡易デジタル無線機	才 栗 町
			シバウラ FK400	R2.1	6		
常磐消防団 第 1 部	岡 崎 800さ1813	小型動力ポンプ 付積載車	ニッサン CBF-SQ2F24	H25.12	12	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	滝 町
			シバウラ SF756EZ	H25.12	12		
第 2 部	岡 崎 800さ221	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H17. 3	21	受令機 簡易デジタル無線機	滝 町
			トーハツ VC42A	H21.11	16		
第 3 部	岡 崎 880あ362	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	3	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	米河内町
			トーハツ VC42A	H18.12	19		
第 4 部	岡 崎 800さ296	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	安 戸 町
			トーハツ VC42AS	H29.1	9		
第 5 部	岡 崎 800さ2962	積 載 車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	5	受令機 簡易デジタル無線機	大 柳 町
			トーハツ VC52B	H17.10	20		
第 6 部	岡 崎 800さ321	積 載 車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	大井野町
			トーハツ VC42AS	H30.1	8		
第 7 部	岡 崎 800さ862	積 載 車	トヨタ ABF-TRY220	H20.10	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	田 口 町
			トーハツ VC42AS	H27. 11	10		
岩津消防団 第 1 部	岡 崎 800さ1521	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ ABF-TRY230	H24. 3	14	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	鴨 田 町
			シバウラ SF756EZ	H24. 3	14		
第 2 部	岡 崎 800さ455	"	トヨタ TC-TRY230	H18. 2	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	奥 殿 町
			トーハツ VC72AM	H18. 2	20		
第 3 部	岡 崎 880あ336	軽 積 載 車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	4	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大 門 2 丁 目
			トーハツ VC42AS	H27. 11	10		

種別 所属	登録番号	機械区分	車名 型式	購入 年月	経過	無線種別	所在地
岩津消防団 第4部	岡崎 800さ2963	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	5	受令機 簡易デジタル無線機	百々町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	6		
第5部	岡崎 800さ3600	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ 3BF-TRY230	R6.6	1	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	岩津町
			シバウラ FS500RC	R6.6	1		
第6部	岡崎 880あ361	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	3	受令機 簡易デジタル無線機	宮石町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	7		
第7部	岡崎 800さ384	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	22	受令機 簡易デジタル無線機	真福寺町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	7		
第8部	岡崎 880あ456	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R7.11	0	受令機 簡易デジタル無線機	恵田町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R2.12	5		
第9部	岡崎 800さ368	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	駒立町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	7		
第10部	岡崎 880あ363	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	3	受令機 簡易デジタル無線機	仁木町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27.2	11		
第11部	岡崎 800さ78	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	細川町
			トーハツ VC72AM	H16.11	21		
第12部	岡崎 800さ2965	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	5	受令機 簡易デジタル無線機	日影町
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX	H12.10	25		
第13部	岡崎 800さ380	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	22	受令機 簡易デジタル無線機	桑原町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	9		
矢作消防団 第1部	岡崎 800さ71	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	矢作町
			トーハツ VC72AM	H16.11	21		
第2部	岡崎 800さ3346	〃	トヨタ 3BF-TRY230	R5.2	3	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	宇頭町
			トーハツ VF63AS-Ti	R5.2	3		
第3部	岡崎 800さ183	〃	トヨタ TC-TRY230	H19.1	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大和町
			トーハツ VC72AM	H19.1	19		
第4部	岡崎 800さ1639	〃	ニッサン CBF-SQ2F24	H24.12	13	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	北野町
			トーハツ VF63AS	H24.12	13		
第5部	岡崎 800さ1156	〃	トヨタ ABF-TRY230	H22.2	16	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	橋目町
			シバウラ SF756EZ	H22.2	16		

種別 所属	登録番号	機械区分	車名 型式	購入 年月	経過	無線種別	所在地
六ツ美消防団 第1部	岡崎 800さ1976	小型動力ポンプ 付積載車	ニッサン CBF-SQ2F24	H27.2	11	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	井内町
			シバウラ SF756EZ	H27.2	11		
第2部	岡崎 800さ61	〃	トヨタ TC-TRY230	H16.11	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	下青野町
			トーハツ VC72AM	H16.11	21		
第3部	岡崎 800さ319	〃	トヨタ TC-TRY230	H17.10	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	中島町
			シバウラ SF755EH	H17.10	20		
第4部	岡崎 800さ184	〃	トヨタ TC-TRY230	H19.1	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	赤渋町
			トーハツ VC72AM	H19.1	19		
額田消防団 第1部	岡崎 800さ3347	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ 3BF-TRY230	R5.2	3	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	檜山町
			トーハツ VF63AS-Ti	R5.2	3		
	岡崎 800さ346	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.11	20	受令機 簡易デジタル無線機	
第2部	岡崎 800さ2794	積載車	ニッサン CBF-SQ2F24	R2.1	6	受令機 簡易デジタル無線機	牧平町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	6		
第3部	岡崎 880あ335	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	4	受令機 簡易デジタル無線機	滝尻町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R4.3	4		
第4部	岡崎 880あ412	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R7.2	1	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	夏山町 柿平
		小型動力ポンプ	トーハツ V6201	H13.12	24		
第5部	岡崎 880あ459	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R7.11	0	受令機 簡易デジタル無線機	大代町
		小型動力ポンプ	トーハツ VF53BS	R8.2	0		
第6部	岡崎 800さ1832	積載車	いすゞ TKG-NHS85AN	H26.2	12	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	明見町
		小型動力ポンプ	シバウラ SF756AZi	H26.2	12		
第7部	岡崎 800さ115	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.12	21	受令機 簡易デジタル無線機	石原町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.1	8		
	岡崎 880あ392	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R6.2	2	受令機 簡易デジタル無線機	千万町町
		小型動力ポンプ	トーハツ VF53BS	R7.3	1		
			トーハツ VC6201	H16.11	21		木下町
		〃					

種別 所属	登録番号	機械区分	車名 型式	購入 年月	経過	無線種別	所在地
額田消防団 第8部	岡崎 800さ347	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.11	20	受令機 簡易デジタル無線機	中伊町
			トーハツ V6201	H15.12	22		
	岡崎 880あ79	軽積載車	ダイハツ EBD-S331W	H22.12	15	受令機 簡易デジタル無線機	中伊西町
			トーハツ VF63AS	H22.12	15		
	岡崎 800さ162	積載車	トヨタ GE-RZY220	H15.1	23	受令機 簡易デジタル無線機	外山町
			トーハツ VC42AS	R2.12	5		
第9部	岡崎 800さ3640	積載車	トヨタ 3BF-TRY230	R6.8	1	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	桜形町
			トーハツ VE90AS	R6.8	1		
第10部	岡崎 800さ143	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.12	21	受令機 簡易デジタル無線機	鍛埜町
			トーハツ VC42AS	H30.1	8		
第11部	岡崎 880あ25	軽積載車	ダイハツ LE-S330W	H20.1	18	受令機 簡易デジタル無線機	切山町
			トーハツ VC42AS	H29.1	9		
	岡崎 880あ413	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R7.2	1	受令機 簡易デジタル無線機	毛呂町
			シバウラ FK400	R2.1	6		
第12部	岡崎 880あ414	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R7.2	1	受令機 簡易デジタル無線機	南大須町
			トーハツ VF53BS	R7.3	1		
第13部	岡崎 800さ472	消防ポンプ自動車	いすゞ KR-NKS81GAR	H16.3	22	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	保久町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	9		富尾町
		〃	トーハツ V6201	H16.11	21		小久田町

消 防 水 利

消防活動上不可欠な消防水利は、市街地、密集地域等について計画的に消火栓の設置を推進するとともに、特に防火水槽は、消防水利未整備地域に対して計画的に整備を図っている。

令和8年4月1日

水利表示 区分			消 火 栓			防 火 水 槽							そ の 他					
			双 口	単 口	合 計	20	20	40	60	100	合 計	内耐震性		さ く 泉	プ ー ル	消 防 用 貯 水 池 等	河 川 接 岸 進 入 路	
						m ³ 未 満	m ³ 以 上	m ³ 以 上	m ³ 以 上	m ³ 以 上		40 m ³ 以 上	100 m ³ 以 上					
署別 管区別			口	口	計	満	上	上	上	上	計	以上	以上					
中 消 防 署	本 署	広 幡	6	327	333		2	50		1	52	27	1		4			
		連 尺	3	156	159	3	2	12			17	3		1	2			
		梅 園	4	184	188			28		1	29	13	1		1			
		根 石	4	175	179		2	23		3	28	13	2		2			
		三 島	3	225	228		1	29			29	20			3			
		六 名	3	122	125			16		1	17	9	1	1	1			
		小 計	23	1,189	1,212	3	7	158		6	174	85	5	2	13			
	北 分 署	常 磐	5	93	98			39			39	21			4		8	
		岩 津	2	329	331		5	53	2	1	61	34	1	7	6	2	10	
		小 計	7	422	429		5	92	2	1	100	55	1	7	10	2	18	
	花園出張所	岩 津		180	180	2	1	51	2		56	36			3	9	1	
	合 計		30	1,791	1,821	5	13	301	4	7	330	176	6	9	26	11	19	
	東 消 防 署	本 署	美 合		203	203	1	5	34	6	1	47	17	1		3		1
			男 川		144	144	1	9	27	1		38	15			2		1
竜 谷				44	44		1	10			11	5			1			
藤 川			3	68	71			16			16	11			1		5	
河 合				67	67	1		7			8	6			3		5	
小 計			3	526	529	3	15	94	7	1	120	54	1		10		12	
南 分 署		羽 根	1	234	235			27		1	28	20	1		3			
		岡 崎	4	190	194		1	34	3	2	40	31	2		3			
		福 岡	4	179	183			27			27	21			3			
		六ッ美		96	96	1		14			15	10		2	2			
		小 計	9	699	708	1	1	102	3	3	110	82	3	2	11			
青野出張所		福 岡		32	32		3	10			13	5						
		六ッ美		268	268	5	2	62			69	43		15	4		3	
		小 計		300	300	5	5	72			82	48		15	4		3	
額田出張所		額 田	2	49	51	3	5	57	2		67	5			4		1	
本宿出張所		山 中		80	80		1	20	1		22	13			2		1	
		本 宿	1	83	84		1	37	1		39	26			1		1	
		小 計	1	163	164		2	57	2		61	38			3		2	
	形埜出張所	額 田				1	2	46	4		53	6			2			
合 計		15	1,737	1,752	13	30	428	18	4	493	233	4	17	34		18		
西消防署本署		矢 作		477	477	3	5	73		1	82	44	1	24	7		1	
総 合 計			45	4,005	4,050	21	48	802	22	12	905	453	11	50	67	11	38	

さく泉防火水槽

さく泉防火水槽は、昭和57年度から消防水利整備拡充のため設置している。

概 要

矢作川流域の沖積層を流れる地下水をくみ上げ消防水利として活用するもので、地下40mまで掘削し、硬質塩化ビニール管（直径20cm）を挿入、地下20mから30m付近の帯水層にある地下水を消防ポンプで吸水、毎分約1 m³の連続放水が可能で、国の示す基準に適合し、費用、設置面積等含め、有効な消防水利として岡崎市では現在50基を設置し活用している。

耐震性貯水槽

耐震性貯水槽は、地震による水道断水時の消火用水等を確保するため設置した。

1 構造及び仕様

- (1) プレストレスコンクリート構造等で震度7の地震に耐えられるように設計されている。
- (2) 専用消火栓2基及び小型動力ポンプを設置。
- (3) 水道管を直結し、水が絶えず循環している。
- (4) 水くみ上げ用の手動吸水ポンプ設置。
- (5) 内容量は100m³、これは消防自動車1台で約1時間40分放水することができる。

2 設置場所

- | | | | | |
|------------|-------------|----------------|-----|--------------------|
| (1) 岡崎市籠田町 | 籠田公園内 | (6) // | 朝日町 | 岡崎市役所
東庁舎内 |
| (2) // | 石神町 | (7) // | 矢作町 | 岡崎市西部地域
交流センター内 |
| (3) // | 百々町 | (参考) | | |
| (4) // | 欠町 | 老朽により水道管から切り離し | | |
| (5) 岡崎市羽根町 | 岡崎市ビックセンター内 | (1)六名公園内 | | |
| | | (2)南部市民センター分館内 | | |
| | | (3)南公園内 | | |
| | | (4)美合公園内 | | |

消 防 音 楽 隊

消防音楽隊は、消防の行事及び市の諸式典をはじめ、各種行事に参加するなど、幅広い演奏活動を通じて広く市民に親しまれ、消防PRに貢献するとともに、市民の防災意識高揚に成果をあげている。



1 隊員の編成

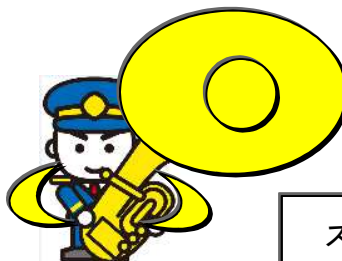
令和8年4月1日

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
隊 長	1							1
副 隊 長			1					1
隊 員				5	10	4	5	24
合 計	1		1	5	10	4	5	26

2 編 成



パーカッション 2



スーザフォン 2



トランペット 7



トロンボーン 4



クラリネット 2



フルート 1



サックス 4



ユーフォニウム 2



隊長 1



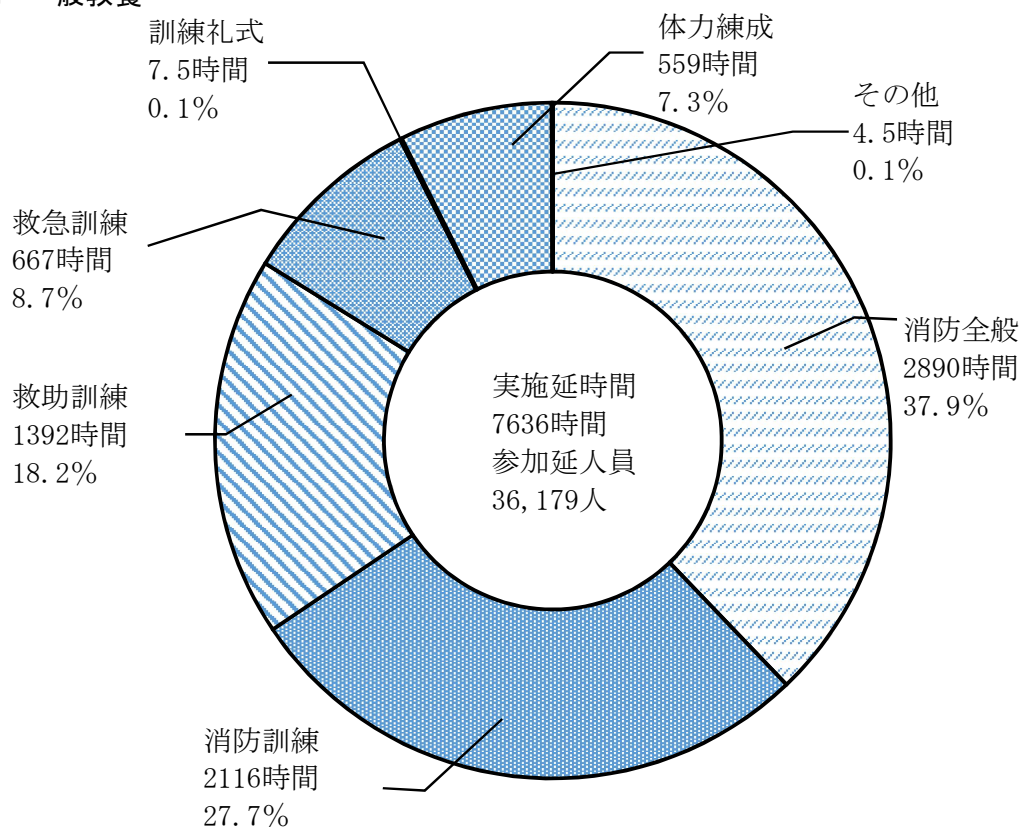
副隊長（指揮者） 1

3 音楽隊参加行事

年 月 日	行 事
令和7年4月6日	家康行列パレード
令和7年5月5日	ファミリーフェスタ
令和7年11月8日	イオンモール防災展
令和8年1月11日	岡崎市消防出初・観閲式

消 防 職 員 教 養 実 施 状 況

1 一般教養



2 委託教養

委 託 機 関	種 別	人 員
消 防 大 学 校	幹 部 科	1 人
	救 助 科	1 人
	高度救助・特別高度救助コース	1 人
	消防団活性化推進コース	1 人
	女性活躍推進コース	1 人
救 急 救 命 東 京 研 修 所	救 急 救 命 士	4 人
救 急 救 命 九 州 研 修 所	指 導 救 命 士	1 人
愛 知 県 消 防 学 校	初 任 科	13 人
	救 急 科	7 人
	救 助 科	3 人
	水 難 救 助 科	1 人
	指 揮 隊 科	1 人
	警 防 科	3 人
	火 災 調 査 科	1 人
	予 防 査 察 科	1 人
	上 級 幹 部 科	1 人
	はしご自動車等運用科	2 人

令和7年度消防訓練状況

(消防職団員)

科	目	実 施 場 所	参加延人員
訓練礼式		消防署各署所訓練場	372人
消防二輪車実技研修		キョウセイ交通大学	6人
潜水基本訓練		中消防署本署	57人
岡崎市消防団初任者・幹部研修		岡崎市福祉会館	243人
消防職員安全運転実技研修		キョウセイ交通大学	20人
小隊長研修		各消防署所	9人
現場指揮官研修		各消防署本署	4人
岡崎市新規採用職員研修		消防本部	89人
警防本部・署隊本部運用訓練		岡崎幸田消防指令センター等	約200人
消防団機関班養成講習		消防本部	80人
第18回消防団員震災・風水害研修		中消防署本署	111人
ファイヤーファイターサバイバル研修		各消防署所	271人
西三河地区合同訓練		岡崎市総合現業事務所	18人
乙川水難救助訓練		康生町 乙川河川緑地	74人
名古屋市消防航空隊合同水難訓練		康生町 乙川河川緑地	16人
消防団安全運転実技研修		キョウセイ交通大学	72人
消防団年間訓練効果確認会		康生町 乙川河川緑地	220人
名古屋市消防航空隊合同訓練		高隆寺町 岡崎中央総合公園 健康の森	19人
緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練 (情報伝達訓練及び部隊集結訓練)		岡崎市消防本部・春日井市内津峠ハニーキングエリア	11人
緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練		岐阜県高山市	9人
名古屋市消防航空隊夜間離着陸訓練		岡崎中央総合公園多目的広場	12人
認定救助隊員育成集合教育		中消防署本署	11人
愛知県ドクターヘリ合同訓練		切山町 デンソー額田研修所跡地	15人
イオンモール岡崎高所救助訓練		イオンモール岡崎	33人
岡崎市消防出初・観閲式		康生町 乙川河川緑地	1,271人

科	目	実 施 場 所	参加延人員
救助隊員再教育 (ロープレスキュー及びNBC災害救助)		各本署	44人
文化財火災防衛訓練		針崎町 勝鬘寺	94人
緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練 (後方支援活動訓練)		名古屋消防学校	4人
第53回消防救助技術東海地区指導会		三重県 鈴鹿市	26人
第53回全国消防救助技術大会		兵庫県 三木市	7人
潜水応用救助訓練		板屋町 乙川右岸河川敷	17人
受援図上訓練		消防本部2階 指揮本部室	13人
部隊運用訓練		宇頭南町 旧西部学校給食センター	83人
消防団ブロック別考案訓練		滝町 常盤学区市民ホーム付近	134人
集団災害訓練 (図上)		各署所	324人
解体予定の市営住宅を使用した火災系救助訓練		市営住宅大平荘	128人
救助隊技術訓練		中央総合公園 健康の森	67人

協定・協約等

市町村が消防の責任を有するのは、当該市町村の区域内とされている。しかし、大規模な地震、火災、風水害等の災害は、個々の市町村の消防力のみでは対処できない場合がある。このような場合市域を越えて消防力の運用を図る必要があり、近隣市町村等との間で資機材の提供、人員の派遣等の協定を結び、万一来備えている。

1 消防相互応援協定

協 定 名	締結年月日	協 定 目 的
愛 知 県 内 広 域 消 防 相 互 応 援 協 定	平成15年 4月1日	愛知県域内における大規模災害等が発生した場合の消防相互応援を図ること。
愛知県下高速道路における 消 防 相 互 応 援 協 定	平成30年 7月31日	愛知県下高速道路における災害が発生した場合の消防相互応援を図ること。
西 三 河 地 域 消 防 相 互 応 援 協 定	昭和43年 4月27日	西三河地域内における大規模災害等が発生した場合の消防相互応援を図ること。
消 防 相 互 応 援 協 定 (蒲 郡 市)	昭和46年 5月1日	蒲郡市との両市区域内における大規模災害等が発生した場合の消防相互応援を図ること。
愛知県における航空機を用いた 市町村等の消防支援協定	令和4年 4月1日	愛知県域内における航空機を用いる災害防止活動等が発生した場合の消防相互応援を図ること。

2 協定

協 定 先	協定年月日	協 定 目 的
西 三 河 ク レ ー ン 組 合	昭和49年 9月25日	火災等の災害によりクレーン車等の必要を認めた場合、協定業者の協力を求め、その被害の軽減を図ること。
龍北スポーツサポート株式会社	令和3年 3月3日	大規模災害発生時に、協定業者に龍北総合運動場の提供の協力を求め、被災者に対する支援体制の充実を図ること。
西三河生コンクリート協同組合	平成29年 9月5日	大規模火災発生時の消火用水及び飲料水を除く生活用水の供給の協力を求め、消防活動支援及び生活用水の確保を図ること。

3 業務協約

協 約 先	協約年月日	協 約 目 的
東 邦 ガ ス 株 式 会 社	平成30年 1月26日	都市ガスの漏えいに起因する火災及び爆発等の事故（以下「災害」という。）を未然に防止するとともに、災害が発生した際これを早期に鎮圧し、被害を最小限度に防止するため。

出 動 状 況

令和7年中の火災は、84件で、火災防御のため消防職員、団員は延べ2,027人、消防自動車等545台が出動している。

消防署、消防団火災出動状況（人員及び機械）

月別	火災 件数	署団別 区分	消防署	広幡	連尺	梅園	根石	三島	六名	羽根	岡崎	美合	男川	福岡	竜谷	藤川	山中	本宿	河合	常磐	岩津	矢作	ハツ美	額田	小計	合計
1月	11	人	222																	9				25	34	256
		消防機械	62																	2				4	6	68
2月	6	人	77											8											8	85
		消防機械	22											1											1	23
3月	10	人	216	17																				14	31	247
		消防機械	60	1																				3	4	64
4月	9	人	145															9	2						9	154
		消防機械	38																						2	40
5月	3	人	97								9									6					15	112
		消防機械	27								2									1					3	30
6月	8	人	310																							310
		消防機械	87																							87
7月	6	人	101																							101
		消防機械	27																							27
8月	12	人	181																			1			1	182
		消防機械	52																							52
9月	5	人	148																							148
		消防機械	43																							43
10月	3	人	69																							69
		消防機械	20																							20
11月	4	人	120																2					7	9	129
		消防機械	33																					1	1	34
12月	7	人	176											44							14				58	234
		消防機械	50											5							2				7	57
合計	84	人	1,862	17							9			52				9	2	15	14	1		46	165	2,027
		消防機械	521	1							2			6				2		3	2			8	24	545

予 防 業 務



火 災 の 実 態

令和 7 年中における岡崎市の火災発生状況は、出火件数84件、建物焼損床面積1,592㎡、林野焼損面積 4 a、損害額 2 億7,671万 8 千円、死者 3 人、負傷者 5 人であった。

1 令和 7 年中の火災状況と前年との比較

年 別 種 別		単位	令 和 7 年	令 和 6 年	増 減 数
出 火 件 数	合 計	件	84	89	△ 5
	建 物		47	53	△ 6
	林 野		2	2	
	車 両		13	10	3
	そ の 他		22	24	△ 2
焼 損 棟 数	合 計	棟	60	76	△ 16
	全 焼		8	12	△ 4
	半 焼		5	3	2
	部 分 焼		17	26	△ 9
	ぼ や		30	35	△ 5
焼 損 面 積	建物床面積	㎡	1,592	1,651	△ 59
	建物表面積		89	197	△ 108
	林 野	a	4	4	
死 傷 者	合 計	人	8	24	△ 16
	死 者		3	7	△ 4
	負 傷 者		5	17	△ 12
り 災 世 帯 数		世帯	37	49	△ 12
り 災 人 員		人	90	99	△ 9
損 害 額	合 計	千円	276,718	159,317	117,401
	建 物		260,413	155,470	104,943
	林 野		0	0	
	車 両		13,333	2,700	10,633
	そ の 他		2,972	1,147	1,825

※ △印は、減を示す。

2 出火率（人口 1 万人あたりの出火件数）

	出 火 件 数 (件)	人 口 (人) (令和 7 年12月 1 日現在)	出 火 率 (件) (人口 1 万人当りの出火件数)
岡 崎 市	84	381,338	2.2

3 月別出火状況

区分 月別	出火件数 (件)				焼損棟数 (棟)				焼 損 面 積			死 者	負 傷 者	り 災 世 帯	り 災 人 員	損 害 額 (千円)						
	計	建 物	林 野	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ば や	建	物	表 面 積 (㎡)	林 野 (a)	(人)	(人)	(世帯)	(人)	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
1 月	11	8		1	2	10	1	1	5	3	205	3		1	1	9	27	42,941	42,609		80	252
2 月	6	2			4	3			1	2	7	3				3	8	1,345	1,345			
3 月	10	6		2	2	9	2	2	3		271	4				6	11	31,396	29,026		210	2,160
4 月	9	2	1	2	4	2	1		1		197		2			1	2	30,557	29,607		950	
5 月	3	3				5	2	1	2		540	13				3	10	40,464	40,439			25
6 月	8	6		1	1	6			6			3				2	6	605	498		100	7
7 月	6	4		1	1	4		1	1	2	43	45				2	2	3,945	3,175		760	10
8 月	12	3		3	6	3			3					1	1	1	2	9,715	56		9,658	1
9 月	5	3	1	1		3			2	1	13	6	2		2	3	6	946	440		504	2
10月	3	2			1	2			1	1	6							611	571			40
11月	4	4				4			1	3		3		1				50,981	50,981			
12月	7	4		2	1	9	2		2	5	310	9		2		7	16	63,212	61,666		1,071	475
合 計	84	47	2	13	22	60	8	5	17	30	1,592	89	4	3	5	37	90	276,718	260,413		13,333	

4 曜日・時間別出火状況

区 分	出 火 件 数 (件)				焼 損 棟 数 (棟)				焼 損 面 積				死 者 (人)	負 傷 者 (人)	り 災 世 帯 (世帯)	り 災 人 員 (人)	損 害 額 (千円)					
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物						林 野	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
											床面積 (㎡)	表面積 (㎡)										
計	84	47	2	13	22	60	8	5	17	30	1,592	89	4	3	5	37	90	276,718	260,413		13,333	2,972
日	15	10	1	1	3	16	2	2	6	6	326	18	2	1		17	44	44,117	43,188		661	268
月	12	6		3	3	6			1	5		3						51,652	50,739		870	43
火	10	3	1	4	2	3		1		2	33	45	2			3	4	4,386	2,709		1,480	197
水	9	5		2	2	7	2	1	2	2	542	13				4	14	48,734	39,853		8,856	25
木	13	7		2	4	8	1	1	2	4	203	1			2	4	7	30,855	28,143		704	2,008
金	15	10			5	10	1		4	5	265	6			2	6	15	32,782	32,778			4
土	10	6		1	3	10	2		2	6	223	3		2	1	3	6	64,192	63,003		762	427
不 明																						
0 時 ～ 2 時	8	6		1	1	6		1	1	4	45	7			2	1	2	13,765	13,005		760	
2 時 ～ 4 時	5	4			1	6	2			4	387	1		1		2	3	75,320	74,838		260	222
4 時 ～ 6 時	3	1			2	1			1		14			1		1	1	1,800	1,793			7
6 時 ～ 8 時	4	3		1		3				3								2,321	121		200	2,000
8 時 ～ 10 時	6	3		3		3	1	1		1	106	45			1	3	4	8,964	7,444		1,502	18
10 時 ～ 12 時	9	4		1	4	8	2	2	3	1	655	3				4	6	40,568	39,943		600	25
12 時 ～ 14 時	9	6	1	1	1	6			4	2	16	6	2			5	16	52,129	52,114		10	5
14 時 ～ 16 時	9	4		3	2	7	2		3	2	112	15				4	14	38,611	29,868		8,486	257
16 時 ～ 18 時	12	4		3	5	7	1		2	4	121	10		1		6	16	19,058	17,148		1,515	395
18 時 ～ 20 時	7	4			3	5		1	2	2	135	2			1	4	12	22,992	22,992			
20 時 ～ 22 時	7	6			1	6			1	5	1				1	4	7	1,119	1,118			1
22 時 ～ 24 時	2				2													40				40
不 明	3	2	1			2				2			2			3	9	31	29			2

5 建物火災火元用途別焼損状況

区 分 建物用途別	件 数 (件)	焼 損 棟 数 (棟)					焼 損 床 面 積 (㎡)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)
		計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や				
専 用 住 宅	17	27	6	1	10	10	625	2		107,667
共 同 住 宅	9	9		1	4	4	100	1	2	8,059
飲 食 店	2	2				2				145
神 社 ・ 寺 院	1	2		1	1		123		1	22,572
工 場	8	9	1	1	1	6	492		1	79,167
倉 庫	1	1	1				197			29,600
事 務 所	3	3		1		2	45			12,636
複 合 用 途 (特 定)	4	4			1	3	10			540
建物火災以外が火元	(2)	(3)				(3)				(27)
合 計	45 (47)	57 (60)	8	5	17	27 (30)	1592	3	4	260,386 (260,413)

※ ()内は種別が建物火災以外で、建物に類焼した数値も含む。

6 原因別出火状況

原因別	出火件数 (件)				焼損棟数 (棟)				焼損面積			死者 (人)	負傷者 (人)	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	損 害 額 (千円)			
	計	建物	林野	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 (㎡)	表面積 (㎡)	林野 (a)				計	建物	林野	その他
たばこ	12	5		7	5		1	4		97	45		1		6	7,757	7,560		197
こんろ	7	7			7			1	6	10	2			2	8	623	623		
かまど																			
風呂かまど																			
炉	1	1			1				1							650	650		
焼却炉	1			1												4			4
ストーブ	2	2			4	1	1	2		142	3			2	6	38,702	38,502		200
こたつ																			
ボイラー																			
煙突・煙道	1	1			1			1			2					50,005	50,005		
排気管	3			3												1,260			1,260
電気機器	4	4			5	1	2		2	537						40,570	40,557		13
電気装置																			
電灯・電話等の配線	1	1			1				1							44	44		
内燃機関																			
配線器具	5	5			5			1	4	12	1				5	743	743		
火あそび																			
マッチ・ライター																			
たき火	6	1	1	4	1	1				73		2			1	4,733	4,723		10
溶接機・切断機	1	1			1				1							272	272		
灯火	2	2			5	1	1	2	1	153	3				5	11,641	11,633		8
衝突の火花																			
取灰																			
火入れ	1		1									2							
放火	8	5		3	6	1		1	4	48	14				3	11,858	11,844		14
放火の疑い	5			1												760			760
その他	14	7		5	11	2		3	6	323	10		1	1	9	50,754	46,677		2,260
不明	10	5		4	7	1		2	4	197	9		1	2	4	56,342	46,580		266
合 計	84	47	2	13	60	8	5	17	30	1,592	89	4	3	5	37	276,718	260,413		2,972

7 最近10年間の推移

種別 年別	出火件数 (件)					焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)				
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)			計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
平成 28年	94	58	1	12	23	3,929	11	4	14	353,006	345,272		6,173	1,561
平成 29年	102	52	3	12	35	1,902	25	3	20	250,583	207,276		35,970	7,337
平成 30年	98	46	6	14	32	1,530	37	1	14	197,794	186,003	23	4,563	7,205
令和 元年	115	71	3	14	27	2,959	6	4	19	396,068	379,257		10,248	6,563
令和 2年	89	51	2	9	27	2,125	15	6	15	188,295	179,054		6,135	3,106
令和 3年	95	47	6	11	31	1,387	32	3	25	121,517	89,361	244	19,741	12,171
令和 4年	88	58	1	12	17	1,680	1	1	13	172,578	140,620		24,909	7,049
令和 5年	100	54	1	17	28	2,110	5	1	15	220,297	212,384	1	3,436	4,476
令和 6年	89	53	2	10	24	1,651	4	7	17	159,317	155,470		2,700	1,147
令和 7年	84	47	2	13	22	1,592	4	3	5	276,718	260,413		13,333	2,972

8 管轄区域別出火状況

区 分 管轄区域別			出 火 件 数 (件)					焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)
			計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)			
中 消 防 署	本 署	広 幡	6	6				169				12,765
		連 尺	3			2	1					1,200
		梅 園	1	1								7
		根 石	3	1		1	1	14		1		2,400
		三 島	5	4		1		79				5,018
		六 名	2				2					
		小 計	20	12		4	4	262		1		21,390
	北 分 署	常 磐	5	5				511				44,001
		岩 津	10	5		3	2	190		1	1	46,845
		小 計	15	10		3	2	701		1	1	90,846
	花園出張所	岩 津	3		1	1	1		2			12
	合 計		38	22	1	8	7	963	2	2	1	112,248
東 消 防 署	本 署	美 合	1	1								2
		男 川	1				1					1
		竜 谷	2	1			1					313
		藤 川	2	1			1					30
		河 合	1	1								50,005
		小 計	7	4			3					50,351
	南 分 署	羽 根	6	3			3	1				123
		岡 崎	1	1				47				11,792
		福 岡	2	2				121		1		17,862
		六ツ美										
		小 計	9	6			3	169		1		29,777
	青野出張所	福 岡	2	1			1	7				1,342
		六ツ美	5	3			2					656
		小 計	7	4			3	7				1,998
	額田出張所	額 田	3	2			1	73				4,785
	本宿出張所	山 中										
		本 宿	1		1				2			
		小 計	1		1				2			
	形埜出張所	額田	2	2				123			2	22,844
	合 計		29	18	1		10	372	2	1	2	109,755
西消防署本署		矢 作	11	7		1	3	257			2	43,605
高 速 道 路			6			4	2					11,110
総 合 計			84	47	2	13	22	1,592	4	3	5	276,718

9 最近5年間の主要火災

損害額 5,000千円以上

区 分 年月日	出火場所	用 途	焼損床面積 (㎡)
2 . 12 . 21	竜美北2丁目	住宅	116
3 . 3 . 11	戸崎町	住宅	212
4 . 15	鳥川町	車両	
5 . 15	合歓木町	住宅	217
5 . 29	小美町	住宅	129
6 . 16	伊賀町	併用住宅	204
7 . 26	中島町	住宅	80
10 . 20	鹿勝川町	車両	
11 . 6	本宿西1丁目	車両	
11 . 20	上地4丁目	住宅	140
12 . 6	明大寺町	旅館	64
4 . 3 . 4	中島中町	住宅	47
9 . 11	茅原沢町	車両	
9 . 22	宮石町	車両	
11 . 4	上地3丁目	住宅	207
11 . 15	西蔵前町	共同住宅	33
11 . 17	大樹寺1丁目	工場	503
11 . 27	細川町	住宅	378
5 . 1 . 26	明大寺町	工場	182
4 . 3	大和町	住宅	107
4 . 13	羽根町	住宅	117
5 . 25	美合町	住宅	133
5 . 27	小針町	併用住宅	33
6 . 17	東本郷町	住宅	99
7 . 14	鴨田南町	飲食店	126
10 . 8	上里1丁目	住宅	47

区 分 年月日	出火場所	用 途	焼損床面積 (㎡)
10 . 12	岩津町	学校	485
11 . 29	小針町	共同住宅	32
12 . 12	羽根町	共同住宅	
6 . 1 . 15	洞町	共同住宅	26
3 . 6	宇頭町	住宅	104
6 . 4	箱柳町	住宅	151
6 . 11	百々町	住宅	82
6 . 27	大柳町	住宅	227
8 . 4	上地町	住宅	145
8 . 17	伊賀町	共同住宅	25
8 . 30	北本郷町	住宅	16
11 . 16	藪田1丁目	共同住宅	30
11 . 16	柱町	住宅	153
11 . 23	小呂町	倉庫	240
12 . 24	生平町	住宅	152
7 . 1 . 2	南大須町	寺院	123
1 . 11	大井野町	車庫	19
3 . 2	橋目町	美容所	45
3 . 2	松本町	住宅	153
4 . 11	渡町	倉庫	197
5 . 28	岩中町	工場	492
5 . 28	針崎町	住宅	46
8 . 20	本宿町	車両	
11 . 3	須淵町	工場	
12 . 13	鴨田町	住宅	190
12 . 14	福岡町	住宅	120

10 高速道路火災

(1) 東名高速道路

ア 区間別火災状況

区 分	K P 件 数	豊田市 豊田ジャンクション～ 302.6	岡崎市 302.6～ 293.4	岡崎市 岡崎インター 293.4	岡崎市 293.4～ 283.9	豊川市 283.9～ 音羽蒲郡インター	計
		出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数
上り線					1		1
下り線					1		1
その他					2		2
計					4		4

※ 「その他」とは、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア、中央分離帯等をいう。

イ 月別火災状況

種 別	月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物														
車両				1					1					2
その他					1		1							2
計				1	1		1		1					4
焼損面積 (㎡)														
損害額 (千円)				2,200					8,256					10,456

ウ 原因別等状況

区 分 種 別	出 火 件 数	原 因							出火車両区分								その他の火災 発生箇所区分			死傷者		
		た ば こ	排 気 管	内 燃 機 関	衝 突 の 火 花	高 温 の 固 体	交 通 機 関 内 配 線	そ の 他	不 明	大 型 バ ス	マ イ ク ロ バ ス	普 通 乗 用 車	軽 乗 用 車	大 型 ト ラ ッ ク	中 型 ト ラ ッ ク	小 型 ト ラ ッ ク	そ の 他	中 央 分 離 帯	法 面	そ の 他 ラ ン プ ウ ェ ー 等	死 者	負 傷 者
建 物																						
車 両	2					1		1			1					1						
そ の 他	2	2															2					
計	4	2				1		1			1					1	2					

(2) 新東名高速道路

ア 区間別火災状況

区 分	K P 件 数	豊田市 豊田東ジャンクション～ 251.4	岡崎市 251.4～ 236.5	岡崎市 岡崎東インター 236.5	岡崎市 236.5～ 230.1	豊川市 230.1～ 新城インター	計
		出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数
上り線							
下り線			1		1		2
その他							
計			1		1		2

※ 「その他」とは、東海環状自動車道、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア、中央分離帯等をいう。

イ 月別火災状況

種 別	月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物														
車両										1			1	2
その他														
計										1			1	2
焼損面積 (㎡)														
損害額 (千円)										504			150	654

ウ 原因別等状況

区 分 種 別	出 火 件 数	原 因							出火車両区分								その他の火災 発生箇所区分			死傷者		
		た ば こ	排 気 管	内 燃 機 関	衝 突 の 火 花	高 温 の 固 体	交 通 機 関 内 配 線	そ の 他	不 明	大 型 バ ス	マ イ ク ロ バ ス	普 通 乗 用 車	軽 乗 用 車	大 型 ト ラ ッ ク	中 型 ト ラ ッ ク	小 型 ト ラ ッ ク	そ の 他	中 央 分 離 帯	法 面	そ の 他 ラ ン プ ウ ェ ー 等	死 者	負 傷 者
建 物																						
車 両	2					2					1		1									
そ の 他																						
計	2					2					1		1									

予 防

1 防火管理

(1) 防火対象物の状況

150㎡以上（17項を除く） 令和7年1月1日～令和7年12月31日

区 分	1項		2項				3項		4項		5項		6項						7項	8項	9項	10項	11項	12項	13項	14項	15項	16項		17項
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	ロ	ロ
管轄区域別	映観	公集	キナ	遊ダ	性特	カイ	待料	飲	百マ	旅ホ	寄共	病診	有養知	老保	小各	図美	蒸	公	車	神教	工作	車駐	倉	前し	複特	複非	文	計		
	画覧	会会	ヤイ	ン	風殊	ランタビ	理	食	一	一	同	療	老老	人老	・中	・書	・熱	・衆	の	・社	・業	車	庫	項い	合	合	特		化	
	堂場	レ	バ	技	俗	ケネ	合店	店	貨ケ	テ	宿	院所	ホホ	人老	・高学	・術	気	浴	停	・寺	庫	庫	該業	途定	途定	財				
	館場	場	場	場	場	場	場	場	店ト	館ル	舎宅	院所	ムム	ト等	園校	館館	場場	場場	場場	院会	場場	庫場	庫	当場	途定	途定	財			
中消防署	本	5	68	2	9	1	2	119	158	18	1,451	69	23	80	19	130	7	1	6	84	282	61	227	469	475	259	9	4,034		
	北		30		6		4	36	89	1	476	23	17	27	13	46	2			36	289	9	155	198	86	91	13	1,647		
	花園出張所		9					3	8		37	4	2	3	1	12	2			8	27	3	25	22	12	7		185		
	合	5	107	2	15	1	6	158	255	19	1,964	96	42	110	33	188	11	1	6	128	598	73	407	689	573	357	22	5,866		
	本	3	43		4				24	60	5	469	29	28	38	13	78	2	1		54	266	23	210	242	70	64		1,726	
東消防署	南	1	42		6		2	71	141	4	1,166	55	18	37	5	59	1	2	1	31	160	29	102	262	195	123		2,513		
	青野出張所		27					15	29		221	14	7	30	1	15				25	224	3	127	83	36	22		879		
	額田出張所		11					14	2	2	5	2	4	4		19	1			25	73	7	43	42	10	4		268		
	本宿出張所	1	11		1			2	8	1	80	7	3	14	1	14	1		1	20	74	7	37	40	18	19		360		
	形埜出張所		4					2	1	1		2		2		5				10	51	5	28	41	4	5	2	163		
合	5	138		11		2		128	241	13	1,941	109	60	125	20	190	5	3	2	165	848	74	547	710	333	237	2	5,909		
西消防署		32		4		1		21	49		810	20	26	26	5	50			1	2	36	392	18	166	251	82	71	1	2,064	
総	10	277	2	30	1	9		307	545	32	4,715	225	128	261	58	428	16	4	1	10	329	1,838	165	1,120	1,650	988	665	25	13,839	

(2) 管轄区域別予防査察等状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区分	1項		2項			3項		4項		5項		6項			7項		8項		9項		10項		11項		12項		13項		14項		15項		16項			17項		計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	二	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	ハ	二	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ		ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ

(3) 防火管理者を必要とする防火対象物の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区分	1項		2項			3項		4項		5項		6項				7項	8項	9項		10項	11項	12項	13項	14項	15項	16項		17項	計			
	イ	ロ	イ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ロ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ				
管轄区域別	映観	公集	キナ	遊ダ	性特	カイン	待料	飲食	百マ	旅ホ	寄共	病診	有養知	老老	老人	老老	小中	図美	蒸・熱	両の	神社・寺	工作	車駐	倉	前し	複特	複非	文				
	画覧	会会	ヤイ	ン	風殊	ラン	理	食	一	テ	同	療	料護的	老人	人	稚	学学	・大	・書術	・熱気	の停	業	庫	号い	合用	合用	特	財				
	会	会	バ	ス	店	ポツ	合	店	ケ	館	宿	院所	ホホ	人	所等	園校	校校	校校	館館	場場	の停	院会	庫庫	業	車	庫	合用			定		
	堂	場	ラ	場	場	場	場	場	店	店	舍宅	院所	ムム	ムム	所等	園校	校校	校校	館館	場場	の停	院会	庫庫	庫	業	車	庫				合用	定
	場	場	場	場	場	場	場	場	店	店	舍宅	院所	ムム	ムム	所等	園校	校校	校校	館館	場場	の停	院会	庫庫	庫	業	車	庫				合用	
本	署	3	85	3	8	1	2		112	121	14	150	21	23	34	8	39	5	1		20	10			97	232	24		1		1,014	
北	署		52		3		4		38	73	1	28	6	16	14	4	13			12	14			1	23	42	7	3	354			
花園出張所			21					2	5		2	2	2	2	2	1	3			4	2		1	1	1	5	1		54			
合	計	3	158	3	11	1	6		152	199	15	180	29	41	50	13	55	5	1		36	26		2	121	279	32	4	1,422			
本	署	2	44		4				23	43	5	17	14	20	20	5	18	1			19	15		7	18	44	7		326			
南	署		48		5		2		73	107	4	95	23	17	17	2	19	1	2	1	9	11	1		42	115	15	1	610			
青野出張所			28						14	18		9	7	7	11	1	4				8	13		3	6	24			153			
額田出張所			22						5	1	1	1		4	3		2	1		3	7				2	8	2	1	63			
本宿出張所			14		1				2	5	1	7	2	3	10	1	4	1			5	14			3	12	1		86			
形埜出張所			6												2		2				2	4		1	1	2		1	21			
合	計	2	162		10		2		117	174	11	129	46	51	63	9	49	4	2	1	46	64	1	11	72	205	25	3	1,259			
西消防署本署			38		3				28	43		55	4	22	14	3	11				9	17		1	11	52	7	1	319			
総合計		5	358	3	24	1	8		297	416	26	364	79	114	127	25	115	9	3	1	91	107	1	14	204	536	64	8	3,000			

(4) 防火管理講習等の状況

学校、病院、工場、事業場、興行場、百貨店、複合用途その他多数の者が出入し、勤務し、又は居住する防火対象物の管理について権原を有する者は、防火管理者を定め、消防計画の作成、消防用設備等の点検及び整備、火気の取扱いに関する監督、消火、通報及び避難の訓練その他防火管理上必要な業務を行わせなければならない。

令和7年度防火管理講習等実施状況

区 分	実 施 日	講習会場
防 火 管 理 講 習 (甲 種 の み)	令和7年4月15日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
防 火 管 理 講 習 (甲 種 の み)	令和7年6月3日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
防 火 管 理 講 習 (甲 種 の み)	令和7年9月10日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
防 火 管 理 講 習 (乙 種 の み)	令和7年9月24日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
防火・防災管理講習	令和7年11月5日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
甲種防火管理再講習	令和7年11月26日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
防 火 管 理 講 習 (乙 種 の み)	令和7年12月24日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
防 火 管 理 講 習 (甲 種 の み)	令和8年2月11日	岡崎市竜美丘会館 501会議室

- ※ 昭和36年度～防火管理講習を開催
- ※ 昭和62年度～甲種・乙種の2区分で開催
- ※ 平成17年度～甲種防火管理再講習を開催
- ※ 平成21年度～防災管理新規講習を開催
- ※ 平成26年度～防災管理再講習を開催
- ※ 平成30年度～一般財団法人日本防火・防災協会に依頼

(5) 消防用設備等の点検報告の状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区分 項別		点検を要する防火対象物			報告済防火対象物		
		総 数	1,000 m ² 未 満	1,000 m ² 以 上	総 数	1,000 m ² 未 満	1,000 m ² 以 上
1 項	イ	10	4	6	5	1	4
	ロ	300	274	26	132	115	17
2 項	イ	4	4				
	ロ	32	19	13	23	13	10
	ハ	1	1		1	1	
	ニ	9	4	5	6	3	3
3 項	イ						
	ロ	478	476	2	243	241	2
4 項		638	512	126	425	339	86
5 項	イ	46	20	26	33	12	21
	ロ	4,628	3,893	735	3,504	2,918	586
6 項	イ	254	225	29	182	159	23
	ロ	131	76	55	98	56	42
	ハ	340	303	37	210	188	22
	ニ	59	34	25	49	29	20
7 項		413	168	245	378	137	241
8 項		17	11	6	10	7	3
9 項	イ	4	2	2	3	2	1
	ロ	1	1				
10 項		9	8	1	6	5	1
11 項		267	242	25	154	131	23
12 項	イ	1,859	1,413	446	1,112	757	355
13 項	イ	170	107	63	108	56	52
14 項		1,187	1,030	157	721	585	136
15 項		1,536	1,265	271	958	750	208
16 項	イ	968	822	146	565	467	98
	ロ	484	405	79	287	223	64
17 項		25	24	1	21	20	1
合計		13,870	11,343	2,527	9,234	7,215	2,019

(6) 階別防火対象物状況（3階建以上）

令和7年1月1日～令和7年12月31日

階別 項別	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	16 階以上	計
1 項	12	2	3	1											18
2 項	5	5	1												11
3 項	32	3	1	1											37
4 項	37	11	6	1											55
5 項	974	456	226	771	57	63	36	36	35	15	16	25	25	6	2,041
6 項	87	21	6	7		2	1	1							125
7 項	117	62	10	8	2	3									202
8 項	1		1												2
9 項															
10 項	3														3
11 項	15	2	2												19
12 項	136	23	13	2	1	1									176
13 項	16	12	1	2											31
14 項	47	9	4												60
15 項	266	74	32	18	11	11	4	3							419
16 項	514	153	62	29	19	15	4	2		1				1	800
17 項															
計	2,262	833	368	140	90	95	45	42	35	16	16	25	25	7	3,999

(7) 高さ31mをこえる建築物又は11階以上の建築物

令和7年1月1日～令和7年12月31日

1	岡崎タワーレジデンス	(99.4m・31F)	80	セントラルガーデン・レジデンス岡崎（住居棟）	(38.8m・13F)
2	シビックタワー岡崎	(59.5m・20F)	81	フェリカーサ明大寺	(38.4m・11F)
3	Tステージ岡崎ウィングタワー	(59.4m・20F)	82	ミッドシティコート竜美丘	(38.3m・13F)
4	岡崎ウィズスクエア	(59.4m・20F)	83	Tステージ鴨田	(38.3m・13F)
5	リコッタワー岡崎康生	(59.2m・20F)	84	サンシティ岡崎駅前	(37.9m・12F)
6	アルバックスタワー岡崎康生	(59.2m・20F)	85	リコッタ岡崎羽根	(37.9m・13F)
7	リコッタ岡崎公園タワーパーキング	(52.8m・2F)	86	S-RESIDENCE岡崎公園aureate	(37.9m・13F)
8	岡崎信用金庫本店	(49.4m・10F)	87	第2マルワビル	(37.9m・9F)
9	ミッドシティレジデンス岡崎康生 タワーパーキング	(46.1m・1F)	88	アーバンライフ栄	(37.6m・13F)
10	レゾンシティ岡崎駅前プレミアムコート駐車場	(45.8m・2F)	89	藤田学園岡崎医療センター	(37.5m・8F)
11	ジャパンレンタカー岡崎店	(45.3m・3F)	90	アストル竜美ヶ丘	(37.3m・12F)
12	サンクレーア梅園	(44.6m・15F)	91	ライオンズマンション東岡崎	(37.2m・12F)
13	ロイヤルシティ岡崎公園	(44.5m・15F)	92	B E L I S T A岡崎戸崎	(37.2m・11F)
14	S A キャッスル岡崎パークタワー	(44.3m・16F)	93	ロイヤルマンション緑丘	(37.0m・13F)
15	ファミール東岡崎スカイフォーラム	(44.3m・15F)	94	シャルマンコーポ大樹寺	(36.9m・13F)
16	カーサビアンカ東岡崎	(44.3m・15F)	95	株式会社マルヤス 事務本館	(36.6m・8F)
17	藤和康生町ホームズ	(44.2m・15F)	96	シティライフ岡崎パークウェイ	(36.6m・12F)
18	グリーンゲートレジデンス イーストウイング	(44.2m・15F)	97	シティライフ岡崎マークス	(36.4m・12F)
19	グリーンゲートレジデンス ガーデンウイング	(44.2m・15F)	98	リコッタ東岡崎	(36.4m・12F)
20	岡崎オーワホテル	(44.2m・14F)	99	スーパーホテル岡崎	(36.3m・12F)
21	リコッタ岡崎駅南	(44.2m・15F)	100	ミッドシティセントラル東岡崎	(36.1m・11F)
22	サンクレーア岡崎大門	(44.1m・15F)	101	ミッドシティプレミアム北岡崎	(35.9m・12F)
23	アルバックスタワー岡崎康生 タワーパーキング	(44.0m・2F)	102	キングスコート南天白	(35.8m・13F)
24	リコッタ岡崎城	(44.0m・15F)	103	ミッドシティレジデンス岡崎康生 マンション棟	(35.7m・12F)
25	岡崎市中央クリーンセンター 工場棟	(44.0m・8F)	104	五万石家具総本店 茶臼山ハイツ	(35.6m・12F)
26	ボレスター竜美ヶ丘プレミアムレジデンス	(43.9m・15F)	105	日本エステル(株)岡崎工場	(35.4m・7F)
27	リコッタ岡崎公園	(43.9m・15F)	106	サンアメニティ朝日	(35.0m・12F)
28	ミッドシティガーデン東岡崎 マンション棟	(43.7m・15F)	107	モアグレース末広町	(34.7m・11F)
29	グリーンゲートレジデンス ブライトウイング	(43.6m・15F)	108	リパブル北野	(34.4m・12F)
30	グリーンゲートレジデンス ウェストウイング	(43.6m・15F)	109	キャッスルハイツ美合駅前	(34.2m・12F)
31	グリーンゲートレジデンス セントラルウイング	(43.6m・15F)	110	県営鴨田住宅2号棟	(34.0m・7F)
32	三菱自動車 開発本館	(43.5m・9F)	111	ブラウド東岡崎	(33.9m・11F)
33	愛知県西三河総合庁舎	(43.5m・10F)	112	サンライズ康生	(33.9m・10F)
34	レーブルタワー岡崎北	(43.4m・15F)	113	岡崎市役所東庁舎・福祉会館	(33.8m・7F)
35	リフローレ東岡崎駅	(43.4m・14F)	114	中部電力岡崎ビル	(33.7m・8F)
36	ライオンズガーデン岡崎公園	(43.2m・14F)	115	サンアメニティ岡崎駅Ⅱ	(33.6m・12F)
37	インペリアルシティ岡崎公園	(43.0m・13F)	116	ビューフォート岡崎	(33.6m・12F)
38	メーブルタワー竜美ヶ丘	(42.9m・15F)	117	シャトー岡崎Ⅲ番館	(33.3m・12F)
39	レゾンシティ岡崎駅前プレミアムコート	(42.9m・14F)	118	岡崎女子短期大学 2号館	(32.9m・8F)
40	シティライフ岡崎駅北	(42.8m・14F)	119	岡崎地方合同庁舎	(32.9m・7F)
41	藤和シティホームズ岡崎公園	(42.6m・15F)	120	サンアメニティ美合ステーション	(32.8m・11F)
42	リコッタタワー岡崎康生 パーキング	(42.4m・2F)	121	リコッタ岡崎駅東	(32.8m・11F)
43	ライオンズガーデン東岡崎式番館	(42.2m・14F)	122	サンシティウエストパーク天白	(32.7m・11F)
44	レゾンシティ南岡崎	(42.2m・14F)	123	サンアメニティ石神式番館	(32.6m・11F)
45	ノステルコート岡崎共同住宅棟	(42.1m・14F)	124	ハートヒルズ日名	(32.5m・11F)
46	A R I A 3 3	(42.1m・14F)	125	ダイアパレス岡崎南公園	(32.3m・11F)
47	アルバックス岡崎駅東	(42.1m・13F)	126	第一生命・三井住友海上岡崎ビル駐車場	(32.3m・1F)
48	エスポアクレメント光ヶ丘	(42.0m・15F)	127	ホテルリブマックス	(32.2m・10F)
49	自然科学研究機構 山手1～5号館	(42.0m・10F)	128	株式会社マキタ岡崎工場J棟	(32.2m・5F)
50	岡崎市民病院	(42.0m・9F)	129	モデルノ矢作	(32.1m・11F)
51	エスポア岡崎	(41.9m・15F)	130	セリジェ伊賀	(32.0m・11F)
52	リコッタ岡崎駅北	(41.9m・14F)	131	岡崎センタービル	(31.8m・9F)
53	グローリアス岡崎Ⅰ	(41.8m・15F)	132	ユニーブル東岡崎	(31.5m・11F)
54	ネオシティ岡崎南	(41.8m・15F)	133	スペクトルティアラ宇頭	(31.5m・11F)
55	グローリアス岡崎戸崎町	(41.6m・15F)	134	㈱和光地所本社ビル	(31.5m・8F)
56	レゾンシティ岡崎駅前	(41.3m・14F)	135	ノスタルコート タワーパーキング	(31.5m・3F)
57	レゾンシティ竜美ヶ丘	(41.3m・14F)	136	岡崎市役所西庁舎	(31.4m・8F)
58	H e a r t H i l l s 城北	(41.1m・14F)	137	フタバ産業(株)岡崎工場	(31.2m・7F)
59	藤和シティホームズ東岡崎	(41.1m・14F)	138	グレースメゾン光ヶ丘	(31.1m・11F)
60	ネオシティ岡崎	(41.0m・15F)	139	エスポワール舞木	(31.0m・11F)
61	モアグレース城北	(41.0m・14F)	140	コメルスファイブマンション	(31.0m・11F)
62	シャンボール康生	(40.7m・14F)	141	グラード岡崎	(30.9m・11F)
63	シャイニングヒルズ	(40.7m・13F)	142	フレストスクエア岡崎井田南町	(30.9m・11F)
64	A R I A 2 2	(40.5m・14F)	143	サンシティ矢作パーク	(30.9m・11F)
65	サンシティ岡崎駅西	(40.4m・13F)	144	サンシティ矢作橋ガーデン	(30.9m・11F)
66	藤和シティコーポ伝馬通	(40.4m・14F)	145	シャルマンコーポ戸崎	(30.7m・11F)
67	ミッドシティセントラル東岡崎 立体駐車場	(40.1m・1F)	146	シャトラー中岡崎	(30.7m・11F)
68	シャトラー康生ツインズ北館	(40.0m・14F)	147	サンシティ美合ガーデン	(30.7m・11F)
69	メーブルタワー竜美ヶ丘アネックス	(40.0m・14F)	148	サウラシティ大樹寺	(30.4m・11F)
70	レインボー城北	(39.9m・13F)	149	キングスコート久後崎	(30.4m・11F)
71	ザ・パークハウス岡崎	(39.9m・13F)	150	グランドステージ岡崎	(30.4m・11F)
72	岡崎信用金庫 第2本部	(39.8m・8F)	151	グローリアス岡崎大和町	(30.4m・11F)
73	リフローレ岡崎駅WEST	(39.6m・13F)	152	キングスコート岡崎公園	(30.4m・11F)
74	サンシティガーデンヒルズ光ヶ丘	(39.5m・14F)	153	シャンボール岡崎	(30.3m・11F)
75	藤和シティコーポ東岡崎	(39.4m・14F)	154	ユーハウス第2岡崎	(30.1m・11F)
76	ユニーブル矢作	(39.3m・14F)	155	シャトー岡崎Ⅱ番館	(30.0m・11F)
77	藤和シティコーポ岡崎	(39.3m・14F)	156	シャンボール西岡崎	(29.7m・11F)
78	ライオンズマンション西岡崎	(39.1m・14F)	157	ユートピア小豆坂老番館・式番館	(29.6m・11F)
79	第一生命・三井住友海上岡崎ビル	(38.8m・10F)			

(8) 火災予防条例諸届出状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

月 別 区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
喫煙、裸火使用 又は危険物品持込み 承認申請書	1	1	4	15	2	3	1		2		2	2	33
防火対象物届 使用開始	21	13	23	19	14	28	20	17	13	15	26	19	228
消防訓練実施届	204	211	236	258	354	271	187	209	386	397	306	221	3,240
炉等設置届	2	9	1	3			1	1		4	1	2	24
発電設備等設置届	13	7	3	15	16	6	8	10	13	14	6	7	118
ネオン管灯設備 設置届													
火災と紛らわしい煙又 は火炎を発するおそれ のある行為届	34	19	13	10	8	13	6	6	14	25	44	92	284
煙火打上げ (仕掛け)届	2	4	5	2	1	6	2	15	32	12	1	2	84
溶接(溶断) 作業届	7	6	3	8	4	5	3	5	3	8		22	74
催物開催届			2	1			1	1	2	3	2		12
道路工事届	103	73	78	84	60	74	80	87	93	106	88	123	1,049
露店等の開設届出書	8	13	17	20	14	9	28	12	15	47	23	23	229
危険物貯蔵 (取扱い)開始届	6	6	2	4	2	6	3	4	3	3	2		41
危険物貯蔵 (取扱い)変更届		1		3	2	1	2	4	2	1	1	3	20
危険物貯蔵 (取扱い)廃止届	3	2	3	1	2	3	3		6	1			24
タンク検査申請書	1			1						1			3
消防用設備等 工事計画届	36	35	51	50	34	54	55	34	48	65	44	38	544
計	441	400	441	494	513	479	400	405	632	702	546	554	6,007

(9) 消防訓練等実施状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区 分	消防訓練	出前講座				合計
		起震車試乗	初期消火訓練	車両見学	小計	
	回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員
事業所等	2,943	3	10	12	25	2,968
	109,312	63	296	222	581	109,893
学 校	88	3	4	3	10	98
	39,795	188	442	276	906	40,701
幼稚園 保育園	175			2	2	177
	27,000			83	83	27,083
防災防犯 協会		4			4	4
		180			180	180
そ の 他 (子供会等)		10	3	4	17	17
		521	72	129	722	722
合 計	3,206	20	17	21	58	3,264
	回数/人員	176,107	952	810	710	2,472
						178,579

※ 消防訓練とは、消防法施行令第3条の2第3項の規定に基づき、学校、幼稚園・保育園、事業所等において実施する消火、通報及び避難の訓練をいう。

※ 出前講座とは、一般市民、自主防災組織等を対象に、災害予防、防災啓発等を目的として実施する講習会をいう。

(10) 起震車稼働状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区分	稼働回数	搭乗人員	区分	稼働回数	搭乗人員
1月	5	440	7月	7	334
2月	9	664	8月	7	294
3月	11	768	9月	21	1,394
4月	3	215	10月	15	1,230
5月	6	867	11月	16	1,583
6月	18	2,012	12月	6	282
			合計	124	10,083

(11) 月別消防訓練等実施状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区 分	消防訓練 回数/人員	出前講座				合計 回数/人員
		起震車試乗	初期消火訓練	車両見学	小計	
		回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員	
1 月	169 10,921	4 160		2 179	6 339	175 11,260
2 月	228 9,036	7 434	1 20		8 454	236 9,490
3 月	248 6,581	9 358	3 58	2 72	14 488	262 7,069
4 月	229 25,734			3 45	3 45	232 25,779
5 月	276 11,462		1 43	2 52	3 95	279 11,557
6 月	321 16,194		5 497	1 40	6 537	327 16,731
7 月	187 9,909			1 10	1 10	188 9,919
8 月	149 7,536			1 30	1 30	150 7,566
9 月	363 17,197		2 35	4 153	6 188	369 17,385
10月	405 34,006		2 45	3 40	5 85	410 34,091
11月	368 17,890		2 102	2 89	4 191	372 18,081
12月	263 9,641		1 10		1 10	264 9,651
合 計	3,206	20	17	21	58	3,264
回数/人員	176,107	952	810	710	2,472	178,579

2 消 防 同 意

(1) 管轄区域別建築物同意状況（敷地別）

令和7年1月1日～令和7年12月31日

区分	居 住 用		事 業 場											複 合 用 途 対 象 物		そ の 他	計	前 年 比 較
	住 宅	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	観 覧 場 ・ 集 会 場	キ ャ バ レ ー 遊 技 場	料 理 店 ・ 飲 食 店	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	旅 館 ・ ホ テ ル	病 院 ・ 保 護 施 設	学 校	美 術 館 ・ 博 物 館	公 衆 浴 場	神 社 ・ 寺 院	工 場 ・ 作 業 場	車 庫 ・ 駐 車 場	倉 庫	事 務 所		
管轄区域別 中 消 防 署	本 署	141	20	1		1	7	1	6					5	9	11	7	209 △ 39
	北 分 署	14	4				2					1	5		2	2	1	36 △ 3
	花園出張所	1					1									1		3 △ 2
	合 計	156	24	1		1	10	1	6			1	5	5	11	14	8	248 △ 44
東 消 防 署	本 署	12	4	4	1	1	3		3				5		7	8	3	53 △ 2
	南 分 署	75	16			2	6		6				1		3	10	8	127 18
	青野出張所	16	3				2						3		7	1	1	33 △ 10
	額田出張所	1											2					3
	本宿出張所	1		2					1				2	1		2	2	11 1
	形埜出張所												1					1 1
	合 計	105	23	6	1	3	11		10				14	1	17	21	14	228 8
西消防署本署		28	7				2		7			1	3	2	4	6	1	63 2
総 合 計		289	54	7	1	4	23	1	23			2	22	8	32	41	23	539 △ 34

※ △印は、減を示す。

(2) 建築物構造別同意状況（棟別）

令和7年1月1日～令和7年12月31日

管轄区域別		耐火	準耐火	その他	計
中消防署	本 署	15	18	201	234
	北 分 署	7	8	23	38
	花園出張所	1		2	3
	合 計	23	26	226	275
東消防署	本 署	4	12	39	55
	南 分 署	9	21	100	130
	青野出張所		6	32	38
	額田出張所		1	4	5
	本宿出張所	8	1	18	27
	形埜出張所			1	1
	合 計	21	41	194	256
西 消 防 署 本 署		4	9	118	131
総 合 計		48	76	538	662

(3) 建築物工事別同意状況（棟別）

令和7年1月1日～令和7年12月31日

管轄区域別		新 築	増 築	改 築	用 途 変 更	その他	計
中消防署	本 署	224	7		2	1	234
	北 分 署	33	4		1		38
	花 園 出 張 所	3					3
	合 計	260	11		3	1	275
東消防署	本 署	51	2	1		1	55
	南 分 署	127	1		2		130
	青 野 出 張 所	37	1				38
	額 田 出 張 所	5					5
	本 宿 出 張 所	26	1				27
	形 埜 出 張 所	1					1
	合 計	247	5	1	2	1	256
西消防署本署		127	1	3			131
総 合 計		634	17	4	5	2	662

3 危険物規制

(1) 管轄区域別危険物施設状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日

管轄区域別		施設	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	計
中消防署	本 署		2	14	26	1	20		7	2	18 (5)	6		20	116
	北 分 署			18	1	2	5		1	1	14 (8)			14	56
	花園出張所			1	0		3		7		3 (1)			2	16
	合 計		2	33	27	3	28		15	3	35 (14)	6		36	188
東消防署	本 署			25	9	4	19		14	3	22 (13)	1		23	120
	南 分 署		2	6	4		9		5		17 (4)			7	50
	青野出張所		1	11	1		5		4	1	16 (9)			6	45
	額田出張所			6	2	1	4		2		7 (5)			4	26
	本宿出張所			13	9	3	6		1	1	8 (7)			12	53
	形埜出張所			6	2		1		1		3 (3)			3	16
	合 計		3	67	27	8	44		27	5	73 (41)	1		55	310
西消防署本署				32	5	3	36		4	3	26 (19)		1	36	146
総 合 計			5	132	59	14	108		46	11	134 (74)	7	1	127	644

※ () 内は、自家用を示す。

(2) 危険物施設の推移

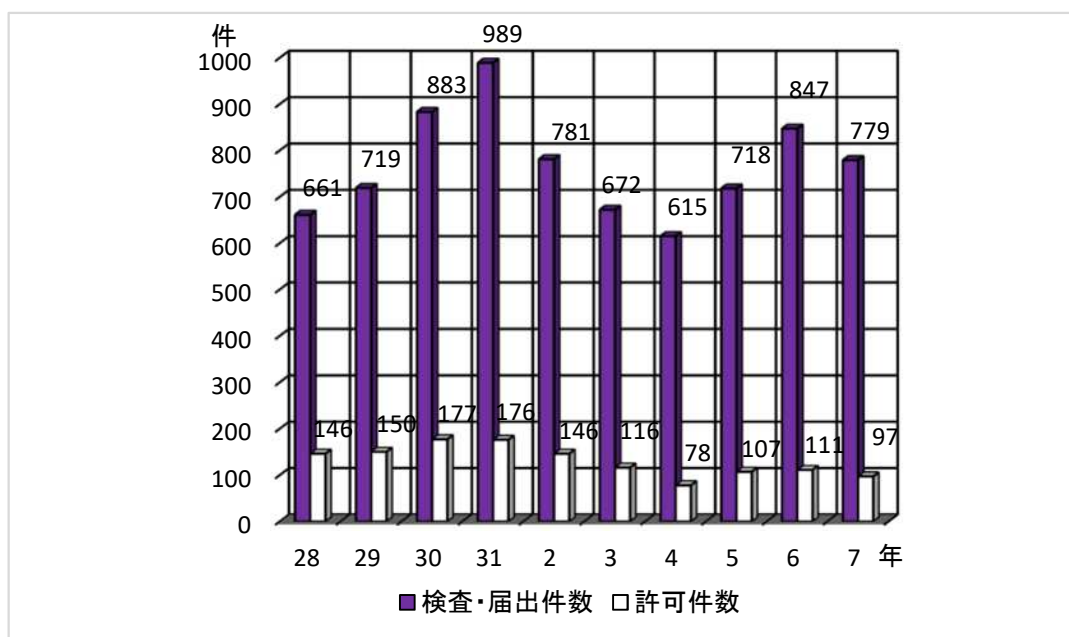
施設 \ 年別	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
総 数	707	695	697	698	694	676	671	668	655	644
製 造 所	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
屋内貯蔵所	119	120	122	126	127	126	128	130	133	132
屋外タンク 貯 蔵 所	70	72	72	70	69	68	67	66	61	59
屋内タンク 貯 蔵 所	17	17	16	16	16	15	15	15	14	14
地下タンク 貯 蔵 所	138	133	130	128	126	118	115	117	116	108
簡易タンク 貯 蔵 所										
移動タンク 貯 蔵 所	40	39	44	43	47	46	45	43	43	46
屋外貯蔵所	15	15	15	14	14	13	13	13	11	11
給油取扱所	152 (83)	151 (83)	149 (82)	146 (80)	146 (80)	144 (80)	142 (79)	140 (78)	137 (76)	134 (74)
第 一 種 販売取扱所	11	10	9	9	8	8	8	8	7	7
第 二 種 販売取扱所	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
一般取扱所	138	131	134	140	135	132	132	130	127	127

※ () 内は、自家用を示す。

(3) 月別危険物施設許可・検査状況

月 別			1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
施 設															
設 置 ・ 変 更 許 可	製 造 所	設 置													
		変 更													
	屋 内 貯 蔵 所	設 置													
		変 更													
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置													
		変 更											1		1
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置													
		変 更							1						1
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置													
		変 更													
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置													
		変 更													
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	設 置				1									1
		変 更				1						2			3
	屋 外 貯 蔵 所	設 置			1										1
		変 更													
	給 油 取 扱 所	設 置													
		変 更		3	1	2			1	2	3		3	2	17
	第 一 種 販 売 取 扱 所	設 置													
		変 更													
	第 二 種 販 売 取 扱 所	設 置													
		変 更													
	一 般 取 扱 所	設 置			1		1								2
		変 更	10	8	4	2	1	1	9	7	4	5	8	12	71
小 計			10	11	7	6	2	1	11	9	7	7	12	14	97
検 査	完 成	製 造 所													
		貯 蔵 所	2		1	4	1			2		1	2		13
		取 扱 所	4	18	10	7	3	3	5	9	6	6	5	10	86
	完成検査前	水張・水圧	3	1		1	1	1		1	4	5		3	20
小 計			9	19	11	12	5	4	5	12	10	12	7	13	119
合 計			19	30	18	18	7	5	16	21	17	19	19	27	216

(4) 危険物施設許可件数等の推移状況



(5) 危険物施設等届出状況

区 分 \ 月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
仮使用承認申請書	14	14	2	4	1	5	13	7	5	8	14	18	105
予防規程制定変更認可申請書				1			1	1				2	5
譲渡引渡届出書		1									1		2
品名、数量又は指定数量の 倍数変更届出書	5	1	1	2	1	3	3	2		1	4	3	26
廃止届出書	1	2	2	3	2	3	1		1	1		2	18
資料提出書	19	15	18	5	5	9	18	8	13	11	14	10	145
変更届出書	3	2	3	14	2	10	6	3	2	2		4	51
事故発生届出書			1	1									2
休止・再開届出書					1				1				2
完成検査済証再交付申請書													
仮貯蔵・仮取扱承認申請書	1			2		1	1	1	1	1	1		9
保安監督者選任・解任届出書	9	6	9	32	11	5	10	2	5	10	3	5	107
液化石油ガス設備工事届出書			3	1		1							5
圧縮アセチレンガス等の貯蔵 又は取扱の開始（廃止）届出	7	4	7	21	4	10	8	4	4	4	8	2	83
計	59	45	46	86	27	47	61	28	32	38	45	46	560

外 郭 団 体

1 岡崎市危険物保安連絡協議会

昭和32年に「危険物災害の絶無と防災思想の普及徹底」を目的として、危険物施設を有する事業所及び目的に賛同する事業所をもって発足した岡崎市危険物安全協会は、平成10年4月に目的を同じくする岡崎市防火協力会と合併、名称を岡崎市危険物防火安全協会と改めるとともに岡崎市に隣接する旧額田町の消防事務を受託したことに伴い、旧額田町から危険物施設を有する会員が加入した。平成15年4月には、防災への万全を期するために、趣旨を同じくする岡崎市自衛消防隊連絡協議会と合併し、名称を「岡崎市危険物保安連絡協議会」と改める。

平成29年には創立60周年を記念して、災害の絶無と地域社会の安全確保への貢献を目的とし、消防広報車を寄贈するなどの記念事業を実施し、地域社会の安全にも寄与している。

現在、217会員（内12団体会員含む）を数え、目的達成のため活動している。



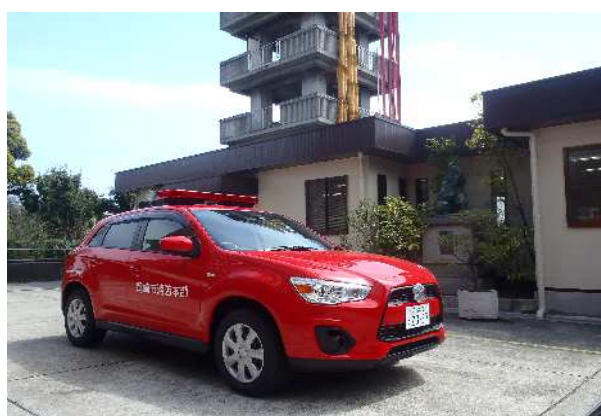
機械器具取扱講習会



初期消火技術発表会



研修会



消防広報車
(60周年記念事業)

岡崎市危険物保安連絡協議会構成表

令和8年4月1日

区 分	事業所数	団 体 名
ガソリンスタンド	28	愛知県自動車整備振興会岡崎支部
その他の工場	40	岡崎建設協会
その他の事業所	22	(一社)岡崎市医師会
運輸・通信	19	(一社)岡崎歯科医師会
化学	3	岡崎資源回収協同組合
各種団体	12	岡崎市消防設備士会
学校等	6	岡崎燃料商業協同組合
官公署	1	岡崎ホテル旅館業組合
機械製造	20	岡崎麺類工業組合
金融・保険	2	岡崎木材組合
鉱業	8	岡崎遊技業協同組合
晒・染色	1	中部反毛工業協同組合
自動車整備	5	
食品	11	
電気・ガス	6	
電気機器	4	
塗料販売	9	
燃料販売	16	
病院・診療所	1	
紡績・化繊	3	
計 217 会員		計 12 団体

岡崎市危険物保安連絡協議会

自衛消防力業態別消防機械現有表

令和8年4月1日

業 態 別	運 輸 ・ 通 信	化 学 校 等	機 械 製 造	自 動 車 整 備	食 品	電 気 ・ ガ ス	電 気 機 器	塗 料 販 売	紡 績 ・ 化 繊	そ の 他 の 工 場	そ の 他 事 業 所	総 計
会 員	2		18		6	1	4	1	3	20	1	56
消 防 ポ ンプ 自 動 車									1	2		3
化 学 消 防 車			2						1	2		5
小 型 動 力 ポ ンプ			9		5		1	1	1	16		33

2 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会

令和6年度より、「岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会」から「岡崎市女性防災クラブ」に名称を変更。

本協議会は、家庭内防火、家庭内救急を目的とした自主防災づくりに昭和56年から着手し、現在、市内全域にわたって28クラブ519人のクラブ員で編成されている。

クラブ員は、家庭からの出火防止や、いざという時のために消火器の取扱い訓練を行っているほか、予期せぬけがや急病に備えて、心肺蘇生法や止血法などの技術を身につける普通救命講習を積極的に受講している。

また、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されていることから、従来の家庭内防火・救急に加え、防災面の強化を重点目標に掲げ、炊き出し訓練をはじめとして、地域の防災リーダーとして活躍している。



定 期 総 会



クラブ活動研修会



新クラブ員消防教室



防 災 訓 練

岡崎市女性防災クラブ連絡協議会

令和8年4月1日

名 称 (女性防災クラブ)	地 区
広 幡 地 区	岡崎市 広幡学区
井 田 地 区	〃 井田学区
愛 宕 地 区	〃 愛宕学区
連 尺 地 区	〃 連尺学区
梅 園 地 区	〃 梅園学区
根 石 地 区	〃 根石学区
竜 美 丘 地 区	〃 竜美丘学区
六 名 地 区	〃 六名学区
小 豆 坂 地 区	〃 小豆坂学区
岡 崎 地 区	〃 岡崎学区、城南学区
緑 丘 地 区	〃 緑丘学区
美 合 地 区	〃 美合学区
男 川 地 区	〃 男川学区
上 地 地 区	〃 上地1丁目～6丁目
竜 谷 地 区	〃 竜谷学区
藤 川 地 区	〃 藤川学区
山 中 地 区	〃 山中学区
岩 津 地 区	〃 岩津学区
大 樹 寺 地 区	〃 大樹寺学区
細 川 地 区	〃 細川学区
大 門 地 区	〃 大門学区
矢 作 東 地 区	〃 矢作東学区
矢 作 南 地 区	〃 矢作南学区
北 野 地 区	〃 北野学区
六 ツ 美 北 部	〃 六ツ美北部学区
六 ツ 美 西 部	〃 六ツ美西部学区
六 ツ 美 南 部	〃 六ツ美南部学区
額 田 地 区	〃 豊富学区、夏山学区、宮崎学区、形埜学区、下山学区
クラブ数 28クラブ	

3 岡崎市少年消防クラブ運営指導協議会

少年消防クラブ（ＢＦＣ）は、昭和26年、各町単位として自主的に結成し、火の用心、夜回り、防火ポスター、習字等の展示など火災予防活動を行っていたが、昭和43年3月、各クラブの連絡協調を図るため、各小中学校単位に連合クラブを組織し、町単位の連絡協調を図るため、町単位の活動に併せた学区単位による防火活動が展開され、大きな成果を収めている。

現在69連合クラブ、単位クラブが学校教育の一環として、火に対する知識を養い、火災予防への関心を高めるとともに、地域住民に対し防災意識の高揚と防火思想の普及に努めている。



少年消防クラブ

令和8年4月1日

区 分	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
中 学 校	21	10,829人
小 学 校	48	7,095人

表 彰

全国少年消防クラブ
運営指導協議会長表彰（平成26年度まで）

表彰旗	楯	記念品	指導者
16	17	7	14

優良少年消防クラブ・指導者表彰
（総務省消防庁 平成27年度から）

表彰旗	楯	指導者
	4	

愛知県少年消防クラブ運営指導協議会表彰

表彰旗	竿頭綬(表彰楯)		指導者
	連合クラブ	単位クラブ	
39	48	6	67

岡崎市少年消防クラブ
運営指導協議会長表彰

指導委員会	市制記念日	出初式	指導者
80	21	27	125

財団法人 日本防火協会会長表彰

優良クラブ	優良指導者
3	2

4 岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、津波により多くの方々が犠牲となったが、岩手県釜石市では、市内約3,000人の児童生徒のほとんどが津波から逃れ無事であったことから「釜石の奇跡」と呼ばれている。これを契機に、「鉄は熱いうちに打て」とのことわざもあるように、防災に関する教育も幼年期から始め、火に対するしつけや地震に対する対応力などを身につけることが必要である。

そうしたことから、本市においても幼年期から、正しい火の取扱いや消防の仕事を学ぶことで、火遊び等による火災の減少を図るとともに将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的に、平成26年4月1日、岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会並びに各保育園・幼稚園において幼年消防クラブが結成され、平成26年5月16日には78幼年消防クラブを結集した岡崎市幼年消防クラブ（C F C）が発足した。

現在、防火作品作成、消防庁舎見学及びその他の活動を通じて火災予防への関心を高めるとともに、実災害に対応できるクラブ員を育成している。



幼年消防クラブ

令和8年4月1日

区 分	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
公立保育園	32	2,464人
私立保育園	20	1,926人
公立こども園	3	268人
私立幼稚園	20	3,001人
私立こども園	2	262人
合計	77	7,921人

通 信



消 防 通 信

通信業務は、市民からの119番通報の受付や各署所への出動指令、災害情報の収集と伝達、気象情報の収集等を行う消防機関の中核である。

近年では情報通信メディアの発達に伴い、一般固定電話からの通報だけではなく、携帯電話やIP電話等からの通報も増加の一途をたどっている。また、都市構造と同じく複雑多様化した災害に対応すべく、共同通信課では最新のコンピュータ技術を駆使したシステムにより、市民生活の安全確保に努めている。

その他にテレホンガイドによる災害情報及び火災予防の広報を実施し、市民の防災意識の高揚を図り、また、救急要請の通報時の内容によっては、傷病者等に対する応急手当の口頭指導を行い、救命率の向上に努めている。

災害通報の**受付**から**出動**までの流れ

災害現場



通
報



固定、携帯、IP電話・FAX・メール119・Net119等による緊急通報

受
付



緊急通報を受け付けます。

出
動
指
令



出動指令により、災害発生場所へ出動します。

種
別
判
定



通報内容から火災・救急等を判定します。

出
動
隊
編
成



災害状況に応じた出動隊を自動的に編成します。

災
害
地
点
の
決
定



通報された住所や付近の目標で地図表示し、災害発生地点を決定します。

1 通信施設状況

令和8年4月1日

基地局・固定局概要						
名称	種 別	呼 出 名 称	送受信波種類	設置又は常置場所	空中線電力	適 用
市役所東庁舎基地局	基地局	おかざきしょうぼう第1装置	活動波1（消防波1）	朝日町3丁目1番地	10W	
		おかざきしょうぼう第2装置	活動波2（消防波2）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第3装置	主運用波3（県運用波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第4装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第5装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第6装置	活動波3（消防波3）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第7装置	活動波4（救急波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第8装置	活動波予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第9装置	統制波1	〃	5W	
		おかざきしょうぼう第10装置	統制波2	〃	5W	
		おかざきしょうぼう第11装置	統制波3	〃	5W	
		おかざきしょうぼう第12装置	統制波予備	〃	5W	
	固定局	ぼうさいおかざき	桑谷中継局向け	十王町2丁目9番地	13mW	防災課所管
桑谷中継局	基地局	おかざきしょうぼうくわがい第1装置	活動波1（消防波1）	桑谷町字雨山2番地332	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第2装置	活動波2（消防波2）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第3装置	主運用波3（県運用波）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第4装置	共通予備	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第5装置	共通予備	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第6装置	活動波3（消防波3）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第7装置	活動波4（救急波）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第8装置	活動波予備	〃	5W	
	固定局	ぼうさいくわがい	市役所向け	〃	13mW	防災課所管
		ぼうさいくわがい	桜形中継局向け	〃	13mW	防災課所管
		おかざきしょうぼうくわがい第1装置（装置は基地局と兼用）	岡崎東IC局向け活動波3（消防波3）	〃	5W	新東名本宮山トンネル用
		おかざきしょうぼうくわがい第2装置（装置は基地局と兼用）	岡崎東IC局向け活動波予備	〃	5W	新東名本宮山トンネル用

基地局・固定局概要						
桜形中継局	基地局	おかざきしょうぼうさくらがた第1装置	活動波1（消防波1）	桜形町字柿本28番地	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第2装置	活動波2（消防波2）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第3装置	主運用波3（県運用波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第4装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第5装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第6装置	活動波3（消防波3）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第7装置	活動波4（救急波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第8装置	活動波予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第9装置	統制波1/2/3	〃	1W	周波数切り替え方式
		おかざきしょうぼうさくらがた第10装置	統制波予備	〃	1W	
	固定局	ぼうさいさくらがた	桑谷中継局向け	〃	13mW	防災課所管
村積山中継局	基地局	おかざきしょうぼうむらづみやま第1装置	活動波3（消防波3）	奥山田町字山田53番地16	5W	
		おかざきしょうぼうむらづみやま第2装置	活動波4（救急波）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうむらづみやま第3装置	活動波予備	〃	5W	
雨山中継局	基地局	おかざきしょうぼうあめやま第1装置	活動波3（消防波3）	雨山町字越タワ道東1番地5	10W	
		おかざきしょうぼうあめやま第2装置	活動波4（救急波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうあめやま第3装置	活動波予備	〃	10W	
岡崎東IC局	固定局	おかざきしょうぼうとんねるちゅうけい第1装置	桑谷中継局向け活動波3（消防波3）	檜山町字半木沢6番地2	5W	新東名本宮山トンネル用
本宮山基地局	基地局	しょうぼうほんぐうさんとんねる第1装置	主運用波3（県運用波）	豊川市千両町鞍狭間33番地133	10W 1W 0.01W	新東名本宮山トンネル用
		しょうぼうほんぐうさんとんねる第2装置	主運用波3（県運用波）	〃	10W 1W 0.01W	新東名本宮山トンネル用

所 属 別 区 分		消 防 本 部				中 消 防 署			東 消 防 署						西 消 防 署 本 署	消 防 団	岡 崎 市 民 病 院	合 計
		総 務 課	予 防 課	消 防 救 急 課	共 同 通 信 課	本 署	北 分 署	花 園 出 張 所	本 署	南 分 署	青 野 出 張 所	額 田 出 張 所	本 宿 出 張 所	形 埜 出 張 所				
無 線 電 話	高度情報通信ネットワーク				1													1
	岡崎市デジタル地域防災無線 (副統制台)				1													1
	岡崎市デジタル地域防災無線 (半固定局)				1													1
	可搬型衛星地球局 (VSAT)					1												1
	卓上					2	1	1	1	1	1	1	1	1	1			11
	車載	1	4	5		17	5	3	10	6	3	4	3	3	9	47	1	121
	携帯				2	7	3	2	6	4	2	2	2	2	5			37
	可搬			1	1	1			1									4
	署活無線				18	20	7	5	15	10	7	7	5	4	11			109
	受令機				5											64		69
有 線 電 話	電話(火災報知専用回線)																	
	119番回線				16													16
	衛星回線				2													2
	高速道路専用回線				1													1
	東邦ガス専用回線				1													1
	一般加入回線				11		3	2	3	3	3	3	2	2	3			35
	庁内 (VSAT用内線)				1													1
	署所間内線数						2	2	3	2	2	2	2	2	3			20
	指令回線					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10
	災害状況等自動案内回線				32													32
車両運用端末装置						12	4	2	8	5	2	3	2	2	8		1	49
携帯電話		2	1	1		6	2	2	4	4	2	2	2	2	3			33
衛星携帯電話		1				1			1						1			4
FAX (災害・事務用)			1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			13
メール119用タブレット型端末					1													1
タブレット型端末		1				1			1									3
Net119兼災害現場映像通報システム用端末					2													2

※ 火災報知専用電話(回線)の内訳は消防防災・震災対策現況調査の入力要領に準ずる。

※ 有線電話については、アナログ回線1契約につき1回線、デジタル回線1契約につき2回線で計上する。

※ 指令回線は内線も併用する。

2 緊急通報覚知別月別状況

令和7年中

月 別 覚 知 別			1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
火 災	119 番通報	固定電話		2	2		1	1		2			1		9
		携帯電話	10	3	5	8	1	5	5	7	4	3	2	3	56
		I P電話	1		1	1	1	1						1	6
	加 入 電 話												1	2	3
	警 察 電 話														
	駆け付け通報			1	1										2
	事後聞知				1					3				1	5
	そ の 他							1	1		1				3
	計		11	6	10	9	3	8	6	12	5	3	4	7	84
救 急	119 番通報	固定電話	250	174	187	183	171	183	179	199	195	194	172	183	2,270
		携帯電話	1,001	818	843	871	830	895	1,085	1,093	979	949	982	1,019	11,365
		I P電話	573	446	440	412	413	425	466	463	402	449	456	518	5,463
	加 入 電 話		8	7	9	9	16	9	18	11	14	9	8	12	130
	駆け付け通報		1			2	2	2	4	5	2	3	4	1	26
	そ の 他		11	11	10	11	10	6	10	13	8	6	13	21	130
	計		1,844	1,456	1,489	1,488	1,442	1,520	1,762	1,784	1,600	1,610	1,635	1,754	19,384
救 助	119 番通報	固定電話		1		1		1	1		1	4	1	1	11
		携帯電話	17	11	16	21	10	13	28	17	18	21	21	27	220
		I P電話	1	2		1	1	1		2	1	3		4	16
	加 入 電 話		1	2		1		3	2	2	3		1	4	19
	駆け付け通報														
	そ の 他						2		1					1	4
	計		19	16	16	24	13	18	32	21	23	28	23	37	270

※ その他の東名専用・無線・Net119・メール119等を含む。

3 119番月別受信状況

(1) 指令台

令和7年中

内 訳		月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
火災通報	固定			2	3	1	1	1		2			2	3	15
	携帯		18	15	17	12	31	12	7	13	5	6	5	18	159
	IP		3	1	2	1	2	1		1		2		3	16
	小計		21	18	22	14	34	14	7	16	5	8	7	24	190
救急通報	固定		246	175	174	180	166	180	180	199	195	188	163	178	2,224
	携帯		997	814	836	886	822	905	1,067	1,098	957	948	966	1,011	11,307
	IP		575	446	444	412	415	426	471	466	405	450	468	519	5,497
	小計		1,818	1,435	1,454	1,478	1,403	1,511	1,718	1,763	1,557	1,586	1,597	1,708	19,028
救助通報	固定			1								1	1	1	4
	携帯		14	14	14	15	10	7	24	15	16	18	19	22	188
	IP		1	1			1			1	1	2	1	4	12
	小計		15	16	14	15	11	7	24	16	17	21	21	27	204
その他の 災害通報	固定			1		1		2				1	10	1	16
	携帯		18	11	10	15	20	11	16	15	17	15	14	23	185
	IP		2		3	4			2	2	1	3	1	2	20
	小計		20	12	13	20	20	13	18	17	18	19	25	26	221
通報訓練	固定		30	38	17	9	33	43	17	12	43	32	25	15	314
	携帯		9	21	13	28	16	31	18	23	28	27	40	36	290
	IP		21	33	33	34	44	50	14	24	46	59	46	34	438
	小計		60	92	63	71	93	124	49	59	117	118	111	85	1,042
医療機関 問合せ	固定		1		1							1			3
	携帯		5	3	2			1		1	1	1	4	4	22
	IP							1	2				1		4
	小計		6	3	3			2	2	1	1	2	5	4	29
各種問合せ 間違い 等	固定		33	61	28	74	32	26	38	53	31	35	30	28	469
	携帯		290	219	245	267	262	246	327	305	275	234	263	317	3,250
	IP		37	32	38	28	29	28	25	34	41	31	24	36	383
	小計		360	312	311	369	323	300	390	392	347	300	317	381	4,102
他都市へ 転送	固定										2				2
	携帯		23	24	22	27	25	19	31	30	24	32	32	36	325
	IP			3					1		3		1		8
	小計		23	27	22	27	25	19	32	30	29	32	33	36	335
火通呼返 予約	固定		129	50	67	91	68	100	109	64	80	110	80	67	1,015
	携帯		2		1	1	5	2	4	4	4		4	2	29
	IP		2			2		1	3		1	2	5		16
	小計		133	50	68	94	73	103	116	68	85	112	89	69	1,060
計	固定		439	328	290	356	300	352	344	330	351	368	311	293	4,062
	携帯		1,376	1,121	1,160	1,251	1,191	1,234	1,494	1,504	1,327	1,281	1,347	1,469	15,755
	IP		641	516	520	481	491	507	518	528	498	549	547	598	6,394
合 計			2,456	1,965	1,970	2,088	1,982	2,093	2,356	2,362	2,176	2,198	2,205	2,360	26,211

※ 東名専用・無線・Net119・メール119は含まない。

※ 他都市へ転送は幸田町の通報を含む。

(2) 他都市転送

令和7年中

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
内 訳		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災通報	固定													
	携帯		4		2				2					8
	I P													
	小計		4		2				2					8
救急通報	固定		1											1
	携帯	21	18	20	25	24	19	31	27	29	32	33	36	315
	I P		1					1						2
	小計	21	20	20	25	24	19	32	27	29	32	33	36	318
救助通報	固定													
	携帯	1	1											2
	I P													
	小計	1	1											2
その他の災害通報	固定													
	携帯	1	1			1								3
	I P													
	小計	1	1			1								3
医療機関 問合せ	固定													
	携帯													
	I P													
	小計													
相談等	固定													
	携帯		1	2					1					4
	I P													
	小計		1	2					1					4
計	固定		1											1
	携帯	23	25	22	27	25	19	31	30	29	32	33	36	332
	I P		1					1						2
合 計		23	27	22	27	25	19	32	30	29	32	33	36	335

4 緊急通報装置月別受信状況

令和7年中

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数		6	2	3	3		4	4	6	1		5	6	40

※ 緊急通報装置による通報は全て救急要請

5 第三者緊急通報月別受信状況

令和7年中

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数			4	3		5	2		3	2	4	2	3	28

6 聴覚・言語機能障がい者用緊急通報 各通報月別受信状況

(1) メール119・FAX119月別受信状況

令和7年中

月別 内訳	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
火災通報													
救急通報													
救助通報													
その他の災害通報													
問合せ等													
合計													

(2) Net119 (令和元年10月1日運用開始)

令和7年中

月別 内訳	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
火災通報													
救急通報	1												1
救助通報													
その他の災害通報													
問合せ等													
合計	1												1

(3) 最近5年間の聴覚・言語機能障がい者用緊急通報システムの通報件数の推移

区分 年別	火災	救急	救助	その他	計
令和3年	メール				
	FAX				
	Net	1			1
令和4年	メール				
	FAX	1			1
	Net	3			3
令和5年	メール				
	FAX				
	Net	1			1
令和6年	メール				
	FAX				
	Net	2			2
令和7年	メール				
	FAX				
	Net	1			1

7 最近5年間119番通報件数の推移

(1) 固定電話

年 別 \ 区 分	火 災	救 急	救 助	その他	計
令 和 3 年	28	2,858	14	1,715	4,615
令 和 4 年	15	2,938	14	1,720	4,687
令 和 5 年	12	2,749	14	1,859	4,634
令 和 6 年	16	2,599	7	1,820	4,442
令 和 7 年	15	2,224	4	1,819	4,062

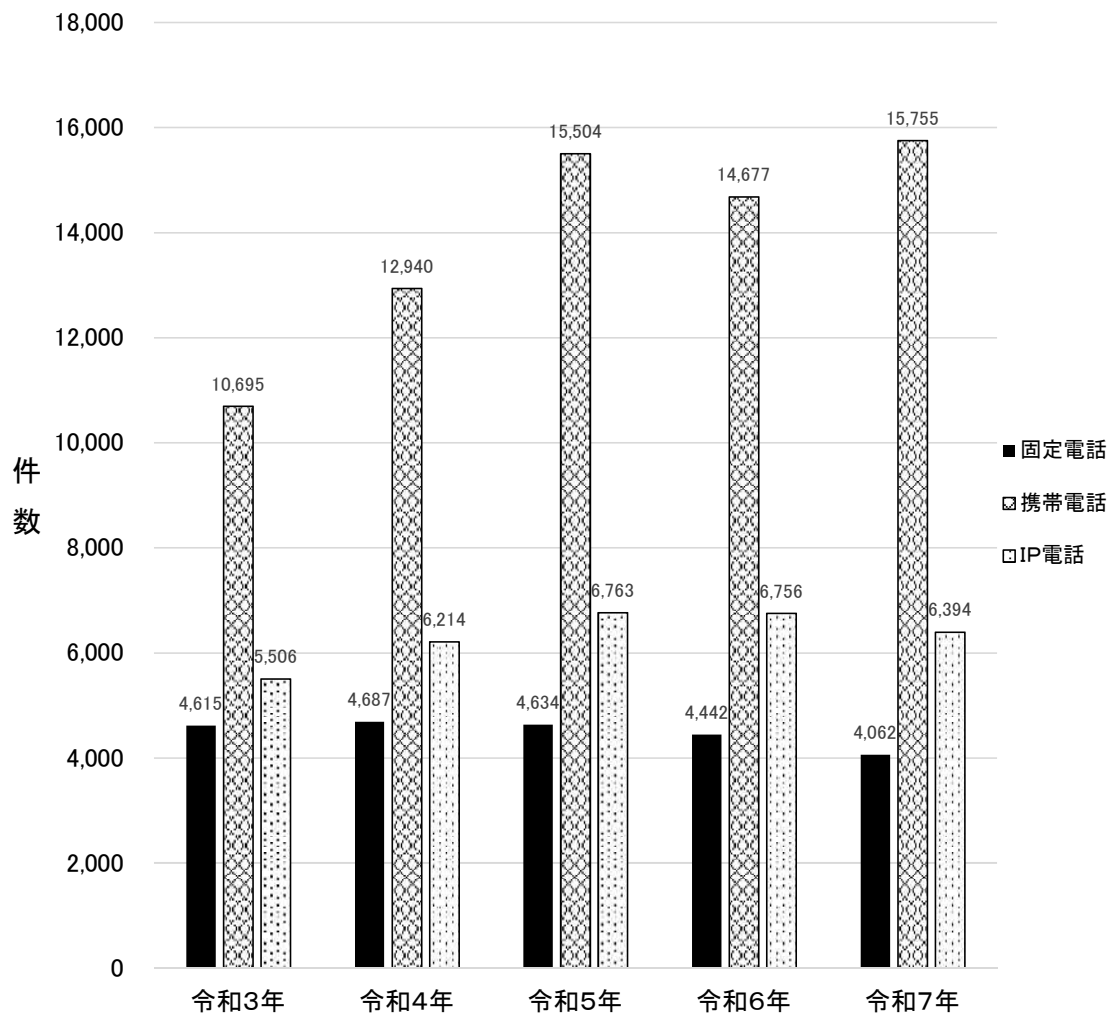
(2) 携帯電話

年 別 \ 区 分	火 災	救 急	救 助	その他	計
令 和 3 年	126	7,342	156	3,071	10,695
令 和 4 年	133	8,756	183	3,868	12,940
令 和 5 年	188	10,133	215	4,968	15,504
令 和 6 年	167	10,417	165	3,928	14,677
令 和 7 年	159	11,307	188	4,101	15,755

※ 携帯電話はPHS含む。

(3) IP電話

年 別 \ 区 分	火 災	救 急	救 助	その他	計
令 和 3 年	22	4,658	20	806	5,506
令 和 4 年	26	5,238	27	923	6,214
令 和 5 年	38	5,719	23	983	6,763
令 和 6 年	21	5,804	13	918	6,756
令 和 7 年	16	5,497	12	869	6,394



気 象

1 月別気象状況

令和7年中

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
区 分		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
風 速 (m/s)	平 均	1.2	1.5	1.5	1.8	1.7	1.6	1.9	1.6	1.4	1.0	0.9	1.0
	最 大	16.1	18.4	16.2	18.0	17.9	14.2	17.2	15.1	22.4	14.8	15.0	17.2
湿 度 (%)	平 均	61.1	58.8	63.1	62.6	70.0	75.5	74.5	71.4	73.1	77.3	69.8	68.9
	最 低	23.0	21.6	12.4	12.4	20.2	21.6	37.7	32.2	38.8	30.2	24.9	32.5
気 温 (℃)	平 均	5.3	4.6	10.3	15.5	19.5	24.6	28.8	29.9	27.1	20.1	12.1	8.0
	最 高	14.5	14.6	24.0	28.7	30.1	36.1	37.4	38.9	36.5	31.5	22.6	20.0
	最 低	-1.3	-3.5	0.0	3.7	8.1	12.9	22.0	23.9	18.0	7.9	1.5	-0.7

2 月別降水量

令和7年中

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
区 分		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
日 数 (日)		2	4	10	11	14	9	9	7	8	13	6	5	98
降 水 量 (mm)		16.0	8.0	90.5	110.5	124.0	178.5	180.5	23.5	271.5	72.0	24.0	39.0	1,138.0
時 間 最 大 (mm)		6.0	2.0	8.0	19.5	9.5	30.0	41.0	9.5	78.5	10.0	4.0	6.0	

3 最近5年間の気象状況

年 別	気 温 (℃)			風 速 (m/s)		降 水 量 (mm)		湿度 (%)
	平均	最高	最低	最大	風向	降水量	最大日量	平均
令 和 3 年	16.7	38.5	-4.6	23.9	南南西	1,620.5	7月2日 87.0	69.5
令 和 4 年	16.6	38.2	-2.9	22.2	南	1,525.5	9月23日 156.5	69.3
令 和 5 年	17.2	38.5	-4.2	21.3	南南西	1,508.5	6月2日 206.0	68.9
令 和 6 年	17.7	38.9	-2.6	22.7	北西	1,548.5	8月25日 72.0	69.5
令 和 7 年	17.2	38.9	-3.5	22.4	東北東	1,138.0	9月5日 208.0	68.8

救 急 ・ 救 助



救 急 出 場

令和 7 年中の救急出場件数は19,384件で、搬送人員は17,943人であった。
前年と比較すると出場件数で180件増加し、搬送人員では212人増加している。
種別内訳では、急病13,579件(約70%)で、続いて一般負傷2,507件(約13%)、
その他1,676件(約9%)、交通事故1,074件(約6%)の順となっている。
増加したものは、急病、交通事故、自損行為で、それ以外は減少している。



1 事故種別出場状況（前年との比較）

事故種別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
年別	災	害	故	故	害	技	傷		為		他	
令和 6 年	41	1	5	1,052	186	101	2,579	52	167	13,212	1,808	19,204
令和 7 年	37		4	1,074	158	95	2,507	27	227	13,579	1,676	19,384
増 減 数	△ 4	△ 1	△ 1	22	△ 28	△ 6	△ 72	△ 25	60	367	△ 132	180

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等を含む。 △は減を示す。

2 管内、管外別出場状況

区 分 署所別		出 場 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別 出 場 件 数										
					火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
中 消 防 署	本 署	5,640	5,097	5,121	(10) 11		(1) 1	(45) 318	(2) 34	(2) 37	(50) 735	(2) 9	(12) 60	(314) 3,957	(105) 478
	北分署	2,063	1,885	1,894	(5) 5			(16) 113	(1) 15		(22) 270		(14) 38	(88) 1,532	(32) 80
	花 園 出張所	645	605	607	(1) 1			(2) 23			(4) 80	(1) 2	(4) 6	(23) 375	(5) 153
	合 計	8,348	7,587	7,622	(16) 17		(1) 1	(63) 454	(3) 54	(2) 45	(76) 1,085	(3) 13	(30) 104	(425) 5,864	(142) 711
東 消 防 署	本 署	2,274	2,154	2,169	(2) 2			(6) 114			(10) 310	(1) 1	(8) 24	(69) 1,579	(24) 193
	南分署	3,800	3,508	3,518	(6) 6			(26) 192			(33) 494	(1) 7	(5) 37	(175) 2,588	(46) 446
	青 野 出張所	1,229	1,152	1,159	(2) 2			(7) 80			(9) 181		(3) 21	(45) 832	(11) 92
	額 田 出張所	350	317	325	(2) 2			(5) 19			(1) 48		(3) 3	(13) 238	(9) 37
	本 宿 出張所	745	687	688				(2) 25			(5) 93		(2) 12	(44) 510	(5) 93
	形 埜 出張所	113	102	106							(1) 20			(8) 84	(2) 2
	合 計	8,511	7,920	7,965	(12) 14			(46) 431			(59) 1,146	(2) 9	(21) 97	(354) 5,831	(97) 863
	西消防署 本 署	2,488	2,308	2,316	(4) 6		(2) 2	(16) 158			(18) 275		(4) 26	(105) 1,880	(31) 101
管 外		37	30	40				(6) 31			1			4	(1) 1
総 合 計		(1,539) 19,384			(32) 37		(3) 4	(131) 1,074	(3) 158	(2) 95	(153) 2,507	(5) 27	(55) 227	(884) 13,579	(271) 1,676

※（ ）内は、不搬送件数を示す。

3 管外出場状況

区 分 市町村別	出 場 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別 出 場 件 数											
				火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
豊 川 市	(1) 18	17	24				(1) 17							1	
豊 田 市	(1) 3	2	2				(1) 2							1	
安 城 市															
西 尾 市															
新 城 市	(4) 11	7	10				(4) 10							1	
幸 田 町	(1) 5	4	4				2			1				1	(1) 1
合 計	(7) 37	30	40				(6) 31			1				4	(1) 1

※（ ）内は、不搬送件数を示す。

4 事故種別不搬送理由

事故種別 不搬送理由	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
辞退（到着前）				3			4			16	3	26
辞退（到着後）	4			91	1	2	101	3	4	447	61	714
拒否	1			20	2		42	1	10	120	12	208
明らかな死亡	2		2	1			3		39	284	1	332
他車（隊）搬送				6			1			8		15
傷病者なし	25			8			1			2	71	107
誤報・いたずら											89	89
その他			1	2			1	1	2	7	34	48
合計	32		3	131	3	2	153	5	55	884	271	1,539

5 時間帯別出場状況

事故種別 時間帯別内訳	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～2	4			22			71	6	20	687	44	854
2～4	3			19	1	1	81	2	15	600	32	754
4～6	1		1	24	5		89	1	8	604	27	760
6～8	3		1	96	5		158	1	8	1162	29	1,463
8～10	1		1	154	21	5	317	2	10	1,533	136	2,180
10～12	5			133	37	25	307		21	1,493	369	2,390
12～14	6			141	21	16	304	2	15	1,352	298	2,155
14～16	5		1	121	27	22	287	1	15	1,373	168	2,020
16～18	3			148	23	12	305	2	37	1,261	278	2,069
18～20	3			119	9	9	268	1	26	1,414	154	2,003
20～22	2			65	3	5	203	3	26	1,169	75	1,551
22～24	1			32	6		117	6	26	931	66	1,185
合計	37		4	1,074	158	95	2,507	27	227	13,579	1,676	19,384

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等を含む。

6 最近10年間にける管轄区域別救急出場状況

年別 署所別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
中 消 防 署	本 署	4,716	5,115	5,378	5,164	4,406	4,416	5,258	5,559	5,686	5,640
	北 分 署	1,646	1,630	1,819	1,662	1,587	1,766	1,866	2,083	2,010	2,063
	花園出張所	468	473	523	520	425	437	518	651	690	645
東 消 防 署	本 署	1,840	1,803	1,841	1,915	1,749	1,792	2,097	2,265	2,230	2,274
	南 分 署	2,958	2,972	3,151	2,979	2,679	2,896	3,420	3,705	3,756	3,800
	青野出張所	885	977	1,008	1,027	864	900	1,022	1,191	1,221	1,229
	額田出張所	273	303	320	318	318	327	335	397	381	350
	本宿出張所	611	604	654	638	634	590	703	680	667	745
	形埜出張所	103	101	92	102	93	109	97	95	133	113
西消防署本署		2,068	2,008	2,258	2,110	1,850	1,947	2,332	2,429	2,408	2,488
市 外		25	16	10	20	11	21	17	26	22	37
合 計		15,593	16,002	17,054	16,455	14,616	15,201	17,665	19,081	19,204	19,384

傷病者の搬送

令和7年中に救急車で搬送された傷病者数は、前年より212人増加の17,943人であった。

年齢別でみると高齢者（65歳以上）の搬送が10,935人（約61%）と最も多く、次いで成人（18歳～64歳）の搬送が5,422人（約30%）である。

高齢者の占める割合が特に多く、超高齢社会を象徴していると考えられる。

1 年齢別搬送人員

事故種別 年齢・性別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児 (生後28日以内)	男										5	11	16
	女										4	3	7
乳幼児 (生後29日～6歳)	男				8		2	82			369	19	480
	女				8			47			263	17	335
少年 (7歳～17歳)	男				86		46	64	2	1	212	17	428
	女				46	1	10	29		10	209	15	320
成人 (18歳～64歳)	男	1			390	99	23	212	6	40	1,995	202	2,968
	女	1			224	28	8	168	9	105	1,697	214	2,454
高齢者 (65歳以上)	男	2			134	23	2	720	4	5	4,148	491	5,529
	女	1		1	112	4	4	1,041	2	11	3,813	417	5,406
小計	男	3			618	122	73	1,078	12	46	6,729	740	9,421
	女	2		1	390	33	22	1,285	11	126	5,986	666	8,522
合計		5		1	1,008	155	95	2,363	23	172	12,715	1,406	17,943

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等をいう。

2 収容所要時間

区分 事故種別	覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間別搬送人員					合計
	10分未満	10分～19分	20分～29分	30分～59分	60分以上	
急 病		80	3,092	9,291	252	12,715
交通事故		6	182	739	81	1,008
一般負傷		10	517	1,766	70	2,363
そ の 他		74	666	1,042	75	1,857
合 計		170	4,457	12,838	478	17,943

※ 「その他」とは、火災、自然災害、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送等をいう。

3 医療機関別搬送状況

区分 事故種別	医 療 機 関										そ の 他 の 場 所	合 計
	救 急 医 療 機 関					そ の 他 の 医 療 機 関						
	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計		
			病 院	診 療 所				病 院	診 療 所			
急 病	6,180	592	5,776		12,548	3		65	99	167		12,715
交通事故	344	29	600		973			1	34	35		1,008
一般負傷	856	68	1,400		2,324			7	32	39		2,363
そ の 他	1,120	155	559		1,834	3		17	3	23		1,857
合 計	8,500	844	8,335		17,679	6		90	168	264		17,943

※ 「その他」とは、火災、自然災害、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送等をいう。

4 傷病程度別搬送状況

事故種別 傷病程度	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡	1		1	1			10		13	259	3	288
重 症	1			47	5	1	169	1	58	1,631	245	2,158
中等症	2			129	30	10	641	2	11	3,912	930	5,667
軽 症	1			831	120	84	1,543	20	90	6,913	228	9,830
その他												
合 計	5		1	1,008	155	95	2,363	23	172	12,715	1,406	17,943

※ 事故種別の「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等をいう。

死 亡 初診時において死亡が確認されたもの。

重 症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症 傷病の程度が重症又は軽症以外のもの。

軽 症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

その他 医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの。

5 時間帯別搬送状況

事故種別 時間別内訳	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～2	2			18			67	6	19	641	23	776
2～4				20	1	1	75	2	13	555	13	680
4～6				25	4		85	1	6	567	9	697
6～8	1		1	92	5		154	1	7	1,085	12	1,358
8～10				143	21	5	306	3	8	1,447	111	2,044
10～12				128	37	26	286		14	1,416	336	2,243
12～14				131	20	16	279	2	9	1,255	274	1,986
14～16				115	27	21	276	1	11	1,283	148	1,882
16～18				133	22	12	291	1	22	1,182	251	1,914
18～20	1			108	9	9	250	1	20	1,335	130	1,863
20～22				65	3	5	188	2	21	1,080	60	1,424
22～24	1			30	6		106	3	22	869	39	1,076
合 計	5		1	1,008	155	95	2,363	23	172	12,715	1,406	17,943

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等をいう。

6 救急隊員の行った応急処置

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
処置項目	12,715	1,008	2,363	1,857	17,943
止血	48	33	157	38	276
固定	89	227	365	70	751
人工呼吸	159	1	6	10	176
心肺蘇生	316	2	11	22	351
うち自動式	205		7	15	227
酸素吸入	2,723	73	143	408	3,347
気道確保	541	8	25	42	616
うち1	40		2	2	44
うち2	38	1	6	2	47
うち3	222		5	11	238
うち4	3		2	2	7
保温	299	23	32	43	397
被覆	49	114	482	92	737
在宅療法継続	47		2		49
I	6				6
II	41		2		43
除細動	36			1	37
静脈路確保	258	3	9	7	277
A	94		8	3	105
B	165	3	1	3	172
薬剤投与	126		8	3	137
a	88		8	2	98
b	38			1	39
血糖測定	202	3	2	5	212
エピペン投与	3				3
血圧測定	12,044	993	2,275	1,795	17,107
聴診器による心音・呼吸音等の聴取	3,930	354	293	291	4,868
血中酸素飽和度の測定	12,419	1,004	2,332	1,832	17,587
心電図	11,788	722	1,887	1,609	16,006
その他の応急処置	12,554	991	2,330	1,802	17,677
合計	57,631	4,551	10,359	8,070	80,611

- 気道確保
- 1 経鼻エアウェイを使用した件数
 - 2 喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数
 - 3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用した件数
 - 4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数
- 在宅療法
- I 気管切開孔又は外瘻が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数
 - II I以外の在宅療法継続中の傷病者に対し応急処置等を行った件数
- 静脈路確保
- A 救急救命士が心肺停止傷病者に対し行った件数
 - B 救急救命士が心肺停止前傷病者に対し行った件数
- 薬剤投与
- a 救急救命士が心肺停止傷病者に対しアドレナリンを投与した件数
 - b 救急救命士が低血糖傷病者に対しブドウ糖を投与した件数

救 助 出 動

令和7年中における救助出動件数は、270件で救助人員は104人であった。

火災、交通事故をはじめ、各種災害事象が複雑多様化しており、これら救助事案に対応するため、救助体制の高度化及び充実強化を図り万全を期している。



1 管内、管外事故種別出動状況

事 故 種 別 所 属 等		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数		8		50	3		2	106	7		94	270
活 動 件 数		8		25	3		1	99	7		50	193
救 助 人 員		3		29	3		1	49			19	104
中 消 防 署	本 署	4 (4)		9 (4)	1 (1)		1 (1)	34 (30)	1 (1)		28 (13)	78 (54)
	北 分 署	1 (1)		6 (3)				10 (10)	1 (1)		10 (9)	28 (24)
	花園出張所			2				3 (3)	1 (1)		4 (2)	10 (6)
	小 計	5 (5)		17 (7)	1 (1)		1 (1)	47 (43)	3 (3)		42 (24)	116 (84)
東 消 防 署	本 署			7 (5)			1	11 (10)	3 (3)		14 (6)	36 (24)
	南 分 署	1 (1)		6 (4)				25 (24)			17 (7)	49 (36)
	青野出張所			5 (2)	1 (1)			8 (7)			4 (2)	18 (12)
	額田出張所			3 (1)					1 (1)		3 (3)	7 (5)
	本宿出張所			1 (1)				5 (5)			4 (2)	10 (8)
	型埜出張所											
	小 計	1 (1)		22 (13)	1 (1)		1	49 (46)	4 (4)		42 (20)	120 (85)
西 消 防 署 本 署		2 (2)		8 (3)	1 (1)			10 (10)			10 (6)	31 (22)
管 外				3 (2)								(3) (2)
合 計		8 (8)		50 (25)	3 (3)		2 (1)	106 (99)	7 (7)		94 (50)	270 (193)

火災の件数については救助活動を行った事案のみ計上

※()内は、活動件数を示す。

2 発生場所別出動状況

事故種別 発生場所		火	災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住居	8						101	1		14	124
	その他の屋内						2	5			2	9
屋 外	道	高速自動車 国 道		6								6
	路	その他の 道 路		39								39
	内	水面 (湖川沼等)			3						1	4
	山	岳									3	3
	その他の屋外			5					6		22	33
そ の 他											52	52
合 計		8		50	3		2	106	7		94	270

3 発生場所別活動状況

事故種別 発生場所		火	災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住居	8						96	1		9	114
	その他の屋内						1	3			1	5
屋 外	道	高速自動車 国 道		3								3
	路	その他の 道 路		20								20
	内	水面 (湖川沼等)			3						1	4
	山	岳									1	1
	その他の屋外			2					6		13	21
そ の 他											25	25
合 計		8		25	3		1	99	7		50	193

4 発生場所別救助人員

事故種別 発生場所		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居	3						46			4	53
	そ の 他 の 屋 内						1	3				4
屋 外	道 路	高速自動車 国 道		3								3
		そ の 他 の 道 路		24								24
	内 水 面 (湖川沼等)				3						1	4
	山 岳										1	1
	そ の 他 の 屋 外			2							13	15
そ の 他												
合 計		3		29	3		1	49			19	104

5 最近10年間における出動状況

事故種別 発生年		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
平 成 28 年		8		50	3		4	45	4		47	161
平 成 29 年		3		42	4		8	56	1		56	170
平 成 30 年		5		63	2	2	2	49	2		53	178
令 和 元 年		3		46	1		3	63	2		34	152
令 和 2 年		5	1	37	6	1	2	73	3		40	168
令 和 3 年		6		43	5		2	78	6		95	235
令 和 4 年		3		50	16	1	7	97	4		108	286
令 和 5 年		2	1	60	8	9	2	103	5		99	289
令 和 6 年		6		39	6		1	86	3		87	228
令 和 7 年		8		50	3		2	106	7		94	270

6 時間帯別出動状況

事故種別 時間帯別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
0 ～ 2	2		3				1			4	10
2 ～ 4	1		1				2			3	7
4 ～ 6	1		2	1		1	2			3	10
6 ～ 8			6	1			8			3	18
8 ～ 10	1		9				13			8	31
10 ～ 12	1		5			1	20	3		27	57
12 ～ 14			4				12			15	31
14 ～ 16	1		6	1			16			3	27
16 ～ 18	1		7				15	2		9	34
18 ～ 20			3				7			8	18
20 ～ 22			1				7			6	14
22 ～ 24			3				3	2		5	13
合 計	8		50	3		2	106	7		94	270

7 救助工作車事故種別出動件数

区分 出動車両	事 故 種 別 救 助 出 動 件 数											そ の 他 出 動	※ 火 災 出 動	総 合 計
	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計			
	建 物	建 物 以 外												
中救助工作車	7		24	4		1	56	3		48	143	23	26	192
東救助工作車	1		16	1		1	31	4		34	88	12	10	110
西救助工作車			11	3			19			23	56	4	4	64
合 計	8		51	8		2	106	7		105	287	39	40	366

※火災出動は救助活動を行っていない事案のみ計上。

高速道路救急救助出場

1 東名高速道路

令和 7 年中の東名高速道路における救急出場件数は32件で、前年と比較すると 8 件の増加、また救助出動件数は 1 件で、前年と比較して 1 件の増加となった。

(1) 救急出場状況（前年との比較）

区分 年別	出 場 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	種 別 (件)		
					交 通 事 故	急 病	そ の 他
令和 6 年	24	20	4	25	(1) 10	(3) 12	2
令和 7 年	32	27	5	28	(4) 18	(1) 12	2
増 減 数	8	7	1	3	8		

※ () 内は、不搬送件数、△は、減を示す。

(2) 区間別救急出場状況

区分	区 間 K P	豊田市 豊田ジャンクション ～ 302.6		岡崎市 302.6～ 293.4		岡崎市 岡崎インター 293.4 293.4		岡崎市 293.4～ 283.9		豊川市 283.9～ 音羽蒲郡インター		合 計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
上 り 線								4	4	4	3	8	7
下 り 線		1	1	8	5							9	6
そ の 他				2	2	6	6	7	7			15	15
合 計		1	1	10	7	6	6	11	11	4	3	32	28

※ 「その他」とは、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア等をいう。

(3) 最近10年間の救急、救助出場件数

年 別	区 分	救 急 件 数	救 助 件 数
平 成 28 年	上 り 線	13	
	下 り 線	11	
	そ の 他	13	
	合 計	37	
平 成 29 年	上 り 線	7	1
	下 り 線	11	
	そ の 他	16	
	合 計	34	1
平 成 30 年	上 り 線	5	1
	下 り 線	9	
	そ の 他	6	
	合 計	20	1
令 和 元 年	上 り 線	2	
	下 り 線	10	1
	そ の 他	15	
	合 計	27	1
令 和 2 年	上 り 線	4	
	下 り 線	5	
	そ の 他	9	
	合 計	18	
令 和 3 年	上 り 線	4	1
	下 り 線	7	1
	そ の 他	14	
	合 計	25	2
令 和 4 年	上 り 線	8	2
	下 り 線	16	1
	そ の 他	16	
	合 計	40	3
令 和 5 年	上 り 線	6	1
	下 り 線	8	1
	そ の 他	13	
	合 計	27	2
令 和 6 年	上 り 線		
	下 り 線	9	
	そ の 他	15	
	合 計	24	
令 和 7 年	上 り 線	8	
	下 り 線	9	1
	そ の 他	15	
	合 計	32	1

2 新東名高速道路

令和7年中の新東名高速道路における救急出場件数は81件で、前年と比較すると26件の増加、また救助出動件数は5件で、前年と比較して2件の増加となった。

(1) 救急出場状況（前年との比較）

区分 年別	出 場 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	種 別 (件)		
					交 通 事 故	急 病	そ の 他
令和6年	55	48	7	61	(4) 26	(2) 25	(1) 4
令和7年	81	66	15	80	(7) 41	(6) 33	(2) 7
増 減 数	26	18	8	19	15	8	3

※ () 内は、不搬送件数、△は、減を示す。

(2) 区間別救急出場状況

区分 件数 人員	区間 K P		豊田市 253.1～ 251.4		岡崎市 251.4～ 236.5		岡崎市 岡崎東イン ター 236.5		岡崎市 236.5～ 230.1		豊川市 230.1～ 210.3		合 計	
			件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
上 り 線									8	8	22	30	30	38
下 り 線					13	13			2	1	2		17	14
そ の 他					30	25	3	2			1	1	34	28
合 計					43	38	3	2	10	9	25	31	81	80

※ 「その他」とは、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア等をいう。

(3) 最近5年間の救急、救助出場件数

年 別	区 分	救 急 件 数	救 助 件 数
令和3年	上 り 線	20	3
	下 り 線	6	1
	そ の 他	11	
	合 計	37	4
令和4年	上 り 線	14	3
	下 り 線	6	1
	そ の 他	17	
	合 計	37	4
令和5年	上 り 線	19	2
	下 り 線	13	2
	そ の 他	35	
	合 計	67	4
令和6年	上 り 線	18	3
	下 り 線	11	
	そ の 他	26	
	合 計	55	3
令和7年	上 り 線	30	4
	下 り 線	17	1
	そ の 他	34	
	合 計	81	5

救急法の講習会

令和7年中に、普通救命講習、上級救命講習及び救命入門コースを合わせて443回開催し、4673人が参加され、職場、家庭、学校などでの心肺蘇生法やAEDの使用法等について理解と認識を深めることができた。

今後も、市民等に対する応急手当の普及啓発を積極的に行いたい。

講習区分	講習内容	回数	人数
普通救命講習Ⅰ (講習時間180分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に成人）、AEDの使用法、異物除去法、止血法	207	1,099
普通救命講習Ⅱ (講習時間240分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に成人）、AEDの使用法、異物除去法、止血法、心肺蘇生法に関する知識の確認及び実技の評価		
普通救命講習Ⅲ (講習時間180分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に小児、乳児、新生児）、AEDの使用法、異物除去法、止血法	55	368
上級救命講習 (講習時間480分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（成人、小児、乳児、新生児）、AEDの使用法、異物除去法、止血法、傷病者管理法、外傷の手当要領、搬送法、心肺蘇生法に関する知識の確認及び実技の評価	14	112
救命入門コース (講習時間45分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に成人）、AEDの使用法	157	2,990
救命入門コース (講習時間90分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に成人）、AEDの使用法	10	104
合計		443	4,673



消 防 団



消 防 団

本市の消防団は多団制で、21消防団、106部、1,464人で編成し、消防ポンプ車（A-2級）1台、小型動力ポンプ付積載車（B-2級）34台、小型動力ポンプ 積載車50台、軽積載車26台、小型動力ポンプ79台をもって編成している。

1 消防団現勢

令和8年4月1日

種別 団別	面 積 (k m ²)	定 員	人 員							機 械				
			実 員	団 長	副 団 長	部 長	副 部 長	班 長	消 防 員	ポン プ 自 動 車	付 積 載 車	積 載 車	軽 積 載 車	小型 動力 ポン プ
広 幡	6.235	96	94	1	1	7	7	17	61		3	3	1	4
連 尺	2.081	58	51	1	1	4	4	10	31		2	2		2
梅 園	6.243	40	36	1	1	3	3	7	21		1	2		2
根 石	4.465	40	32	1	1	3	3	7	17		1	2		2
三 島	3.307	50	50	1	1	4	4	9	31		1	2	1	3
六 名	2.705	50	49	1	1	4	4	9	30		1	3		3
羽 根	2.754	50	46	1	1	4	4	9	27		1	2	1	3
岡 崎	3.259	60	47	1	1	5	5	11	24		1	3	1	4
美 合	9.700	50	50	1	1	4	4	9	31		1	1	2	3
男 川	11.838	58	56	1	1	4	4	9	37		1	3		3
福 岡	5.200	60	60	1	1	5	5	11	37		1	3	1	4
竜 谷	9.580	40	40	1	1	3	3	7	25		1	2		2
藤 川	4.610	40	40	1	1	3	3	7	25		1		2	2
山 中	15.420	40	40	1	1	3	3	7	25		1		2	2
本 宿	14.640	40	40	1	1	3	3	7	25		1		2	2
河 合	20.912	60	60	1	1	5	5	11	37		1	4		4
常 磐	29.898	86	86	1	1	7	7	15	55		1	5	1	6
岩 津	36.731	169	168	1	1	13	13	30	110		4	5	4	9
矢 作	20.091	105	101	1	1	5	5	15	74		5			
六ツ美	17.301	84	83	1	1	4	4	12	61		4			
額 田	160.270	241	235	1	1	13	13	30	177	1	1	8	8	19
合 計	387.200	1,517	1,464	21	21	106	106	249	961	1	34	50	26	79
※機能別団員は消防員の階級に含む														

2 消防団員階級別勤務年数調

令和8年4月1日

階 級 年 数	団 長	副 団 長	部 長	副 部 長	班 長	消 防 員	合 計
1 年 未 満					1	83	84
1 年以上 5 年未満			4	19	52	231	306
5 " 10 "			35	40	106	182	363
10 " 15 "	1	5	34	23	45	169	277
15 " 20 "	5	6	19	17	26	135	208
20 " 25 "	3	4	6	3	10	71	97
25 " 30 "	4	3	4	2	5	56	74
30 " 35 "	4	3	3	1	3	20	34
35 " 40 "	2					8	10
40 年 以 上	2		1	1	1	6	11
合 計	21	21	106	106	249	961	1,464

※機能別団員は消防員の階級に含む

3 消防団員階級別年齢調

令和8年4月1日

階 級 年 齢	団 長	副 団 長	部 長	副 部 長	班 長	消 防 員	合 計
20 歳 未 満					1	1	2
20 歳以上 25 歳未満					4	29	33
25 " 30 "			2	3	15	53	73
30 " 35 "			6	9	36	101	152
35 " 40 "			25	18	57	186	286
40 " 45 "	1	6	31	40	57	172	307
45 " 50 "	3	7	21	21	41	167	260
50 " 55 "	4	3	10	8	18	119	162
55 " 60 "	7	2	8	4	13	70	104
60 歳 以 上	6	3	3	3	7	63	85
合 計	21	21	106	106	249	961	1,464
平 均 年 齢	56.1	50.0	43.8	42.8	40.9	43.2	43.1

※機能別団員は消防員の階級に含む

消防団員報酬

令和8年4月1日

区 分	団 長	副団長	部 長	副部長	班 長	消防員	消防員 (機能別団員)
報酬の額	82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	36,500円	12,000円

出 動 報 酬

令和8年4月1日

区 分			区 分		
種 別	回数等	金 額	種 別	回数等	金 額
地震、水害その他の自然災害	1 日	8,000円	警戒	1 日	2,500円
	4 時間未満	4,000円	訓練等	1 日	2,500円
火災又は上記以外の災害	1 回	8,000円	広報	1 日	1,200円
	4 時間未満	4,000円	消防ポンプ整備	1 日	1,200円

消防団員退職報償金

令和8年4月1日

階 級	勤 務 年 数						
	5 年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上	35年以上
	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満		
団 長	239,000円	344,000円	459,000円	594,000円	779,000円	979,000円	1,079,000円
副 団 長	229,000円	329,000円	429,000円	534,000円	709,000円	909,000円	1,009,000円
部 長	219,000円	318,000円	413,000円	513,000円	659,000円	849,000円	949,000円
副 部 長	214,000円	303,000円	388,000円	478,000円	624,000円	809,000円	909,000円
班 長	204,000円	283,000円	358,000円	438,000円	564,000円	734,000円	834,000円
消 防 員	200,000円	264,000円	334,000円	409,000円	519,000円	689,000円	789,000円

公務災害補償基礎額

令和8年4月1日

階 級	勤 務 年 数		
	10 年 未 満	10年以上20年未満	20 年 以 上
団長及び副団長	13,340円	14,170円	15,000円
部長及び副部長	11,670円	12,500円	13,340円
班長及び消防員	10,000円	10,840円	11,670円

消防団員等救慰金

1 障害者救慰金

令和8年4月1日

障 害 の 程 度	抜群の功労があり他の模範となると認められるもの	特に著しい功労があると認められるもの	著しい功労があると認められるもの	功労があると認められるもの
第1級	25,200,000円	18,700,000円	13,600,000円 ～ 9,000,000円	7,000,000円 ～ 4,500,000円
第2級	23,300,000円	15,500,000円	12,100,000円 ～ 7,900,000円	6,200,000円 ～ 4,000,000円
第3級	20,200,000円	13,600,000円	10,700,000円 ～ 7,100,000円	5,500,000円 ～ 3,600,000円
第4級	17,600,000円	12,100,000円	9,500,000円 ～ 6,400,000円	4,900,000円 ～ 3,300,000円
第5級	15,100,000円	10,300,000円	8,200,000円 ～ 5,500,000円	4,200,000円 ～ 2,800,000円
第6級	12,600,000円	9,000,000円	7,000,000円 ～ 4,700,000円	3,600,000円 ～ 2,400,000円
第7級	11,400,000円	7,600,000円	5,900,000円 ～ 4,100,000円	3,000,000円 ～ 2,100,000円
第8級	10,100,000円	6,400,000円	4,900,000円 ～ 3,400,000円	2,500,000円 ～ 1,700,000円
第9級	8,900,000円	5,700,000円	4,400,000円 ～ 3,000,000円	2,200,000円 ～ 1,500,000円
第10級	8,400,000円	5,100,000円	4,100,000円 ～ 2,800,000円	2,100,000円 ～ 1,400,000円
第11級	8,000,000円	4,700,000円	3,600,000円 ～ 2,400,000円	1,800,000円 ～ 1,200,000円
第12級	7,400,000円	4,200,000円	3,000,000円 ～ 2,100,000円	1,500,000円 ～ 1,100,000円
第13級	6,800,000円	4,000,000円	2,500,000円 ～ 1,700,000円	1,300,000円 ～ 900,000円
第14級	6,400,000円	3,400,000円	2,000,000円 ～ 1,300,000円	1,000,000円 ～ 700,000円

2 負傷者等救慰金

令和8年4月1日

療養期間が4箇月未満のもの	500,000円以内で市長が定める額
療養期間が4箇月以上のもの	1,260,000円以内で市長が定める額

3 殉職者救慰金

令和8年4月1日

抜群の功労があり他の模範となると認められるもの	25,200,000円
特に著しい功労があると認められるもの	18,700,000円
著しい功労があると認められるもの	13,600,000円～9,000,000円
功労があると認められるもの	7,000,000円～4,500,000円

4 殉職者特別救慰金

令和8年4月1日

消防団員が災害に際し、命を受け、特に生命の危険が予想される現場へ出動し、生命の危険を顧みることなくその職務を遂行し、そのため死亡し、その功労が特に抜群と認められる場合	30,000,000円
---	-------------



岡崎消防 令和 7 年 消防年報

令和 8 年 7 月刊行

編集・刊行 岡崎市消防本部

〒444-0022 岡崎市朝日町 3 丁目 4 番地

問合せ先 消防本部 総務課 総務係

TEL0564-21-9836 / FAX0564-21-9821

E-mail shobohonbu@city.okazaki.lg.jp

この資料の内容は、以下の岡崎市ホームページからも御覧いただけます。

<https://www.city.okazaki.lg.jp/kurashi/kyukyu/1002503.html>

